

# びわ町老人福祉センター改修工事

設計 平成17年5月

図面符号	図面内訳	図面符号	図面内訳
1	建築工事特記仕様書 1	16	鉄筋コンクリート配筋基準図 1
2	建築工事特記仕様書 2	17	鉄筋コンクリート配筋基準図 2
3	建築工事特記仕様書 3	18	鉄筋コンクリート配筋基準図 3
4	建築工事特記仕様書 4	19	鉄骨構造基準図
5	建築改修工事特記仕様書 1	20	倉庫構造図
6	建築改修工事特記仕様書 2	21	電気設備工事特記仕様書
7	仕上表	22	各種盤移設図
8	配置図	23	改修電気設備図
9	現況平面図	24	機械設備工事特記仕様書
10	防火区画図	25	給水管移設図
11	平面図・立面図	26	空調・換気設備図
12	屋根伏図・天井伏図		
13	平面詳細図		
14	矩計図・建具リスト		
15	展開図		



高山設計

設計・構造・監理 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (a) 第1519号

〒526-0113 滋賀県東浅井郡びわ町南浜818  
Tel 0749-72-3357  
一級建築士登録第220834号 高山 高広

工事名称 びわ町老人福祉センター改修工事  
図面名称 表紙

縮尺 1/1

図番 0 / 26  
日付 2005 (H17). 5

建 築 工 事 特 記 仕 様 書																
Ⅰ 工 事 概 要	工 事 名 称		びわ町老人福祉センター改修工事													
	工 事 場 所		滋賀県東浅井郡びわ町難波483番地													
	用 途 規 制		第1種低層 第2種低層 第1種中高層 第2種中高層 第1種住居 第2種住居 準住居 近隣商業 商業 準工業 工業 工業専用 (指定なし)													
	防 火 規 制		防火地域 準防火地域 第2.2条指定地域 (指定なし)													
	そ の 他 の 規 制		風致地区 自然公園 宅造規制区域 市街化区域 市街化調整区域 国定公園													
	工 事 期 間 ・ 期 限		日間 平成 年 月 日 期限													
	工 事 理 由															
	No		名 称		工 種		構 造		各 階 床 面 積 (㎡)		延床面積(㎡)		備 考			
	1		倉庫増築		増築		S				1F 9.76		9.76			
	2		事務所改修		改修											
3		電気設備工事		改修												
4		機械設備工事		改修												
		計										9.76				
概 要 説 明		本工事は廊下南側に倉庫を増築し、現在の物入の物品を移動後 事務所、理事長室の改修をする工事														
別 途 工 事																
Ⅱ 建 築 工 事 仕 様	1 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 平成16年版」及び「建築改修工事標準仕様書 平成16年版」による。(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事監理指針 平成13年版」を参考とする。)															
	2 特 記 仕 様		1 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。 2 特記事項は ○ 印の付いたものを適用する。 ○ 印のない場合は*印のあるものを適用する。 ○ 印と ⊕ 印のある場合は共に適用する。 3 特記事項に記載の( ) 内表示番号は共仕の該当項目、該当表、該当図を表す。													
Ⅲ 一 般 共 通 事 項	項 目		特 記 事 項													
	1 ① 施 工 基 準		本工事は工事請負契約及び同約款を遵守し、本特記仕様、図面 29 葉、共仕により完全に施工する。 (1. 1. 1)													
	② 完 成 図		完成図の種類、記入内容及び様式は共仕により作成し、焼付け製本 (1. 7. 1～1. 7. 3) (縮小版A4サイズ) 2 部及び原図を提出するものとする。													
	③ 工 事 写 真		区 分		分 類 ・ 規 格		撮 影 枚 数		部数(ネガ1枚に付)		備 考					
			着 工 前		カラー・サービス版		○ 6 ・ 9 ・ 30		1		状況によりつなぎ写真					
			工 事 中		カラー・サービス版				1		必要に応じ撮影する					
			完 成 時		カラー・サービス版		・ 6 ○ 9 ・ 12		3		完了届提出用					
			定期提出		カラー・サービス版		* 3 ・ 6 ・ 9		1		工事月報用					
			竣工写真		カラー・キャビネット版		・ ・ 5 ・ 7		2		主として外観(ネガ共提出)					
					カラー・サービス版		・ 10 ○ 20 ・ 30		2		主として内観(ネガ共提出)					
				デジタルカメラ撮影 (総画素数:80万画素以上 記録画素数: 640×480画素以上)		・ ・ 20 ・ 30		1		ファイル形式:JPEG (FD、MO、CD-ROM にて提出)						
④ 技 術 検 査		工事写真の撮影要領は、「工事写真の撮り方・建築構」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。 (1. 6. 2)														
⑤ 現 場 代 理 人		完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。工事写真キャビネットはアルバム台紙に、サービス版は工事写真帳に貼り付けて提出する。														
技 術 管 理		工事施工途中において、適宜中間技術検査を実施する。 原則として、現場代理人は他の工事と重複して従事することは出来ない。 現場代理人は、監督員に請負人との直接的な雇用関係の確認出来るものを提示し確認を受けること。 請負人は、建設業法に定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し技術管理にあたらせること。														
⑥ 技 能 士		適用工事理別 ○ 鉄筋工事 ・ コンクリート工事 ○ 鉄骨工事 ○ ブロック及びALCパネル工事 ・ 防水工事 ・ 石工事 ・ タイル工事 ・ 木工事 ・ 屋根及びとい工事 ・ 金網工事 ・ 左官工事 ・ 塗装工事 ・ 建具工事 ・ 内装工事 ・ 植栽工事														
		(1. 5. 2)														

仮設工事	① 監督員事務所	・設ける 監督員事務所の規模      ・1号      ・2号      ・3号      ・4号      ・5号      (表2.3.1) 備品      机、いす、書棚、黒板、製図板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、衣類ロッカー、 請負人加入電話の予備、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示による。 図示による他鉄板棚、金網棚、板棚等の仮設計画を立案し、監督職員と協議すること。 施設側の意向を十分取り入れる事															
	② 仮囲い																
	③ 工事用水	構内既存の施設      ○利用できる      ○有償      ・無償      ・利用できない															
	④ 工事用電力	構内既存の施設      ○利用できる      ○有償      ・無償      ・利用できない															
土工事	① 埋め戻し及び盛土	種別      ・A種      ・B種      ・C種      ・D種      不足分は良土搬入する。      (3.2.3)															
	② 建設発生土の処理	・構内指示場所敷きならし      ・構外指示場所敷きならし      ○構外搬出適切な処理      (3.2.5)															
	③ 山留め	・自立鋼矢板      ・切梁腹起鋼矢板      ・松矢板      (3.3.1)															
地業工事	① 既製コンクリート杭及び鋼杭地業	<table border="1"> <tr> <td></td><td>杭の種類</td><td>規格・材質</td></tr> <tr> <td></td><td>*高強度プレストレストコンクリート杭</td><td>*JIS A5373 (*A種      ・B種      ・C種) ・建築基準法の認定品</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>長期設計支持力</td><td>kN/本</td></tr> </table>		杭の種類	規格・材質		*高強度プレストレストコンクリート杭	*JIS A5373 (*A種      ・B種      ・C種) ・建築基準法の認定品					長期設計支持力	kN/本			
	杭の種類	規格・材質															
	*高強度プレストレストコンクリート杭	*JIS A5373 (*A種      ・B種      ・C種) ・建築基準法の認定品															
	長期設計支持力	kN/本															
② 杭先端の形状	*開放型      ・半開放型      ・閉そく型																
③ 杭の施工法	・打撃工法      ・オーガー併用打撃工法 ・プレボーリング工法 (*セメントミルク工法) ・プレボーリング拡大根固め工法 (大臣認定工法) (杭周固定液注入方式) 試験固削      *最初の1本      ・図示      カ所																
④ 杭打機械	やぐら      *3点支持式クローラークレーン      ・ブーム式クローラークレーン ・トラッククレーン ハンマー      ・ディーゼルハンマー (無騒音型)      ・油圧ハンマー																
⑤ 場所打コンクリート杭地業	鉄筋の種類      *異形鉄筋      ・丸鋼 コンクリートの種別      ・A種      ・B種      (表4.5.1) 掘削工法      ・アースドリル工法      ・リバース工法      ・オールケーシング工法      (4.5.4)																
⑥ 杭打試験	くいの本数      *最初の1本      ・図示      カ所 支持力の算定方法      *昭和46年1月29日建設省告示第111号による。																
⑦ 杭頭の処理	*ダイヤモンドカッター      ・外圧方式      ・手ばつり      (4.3.7)																
⑧ 杭頭補強	補強の方法      ・A形      *B形      (別図1.1)																
⑨ ラップルコンクリート	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )      ・16      ・18      スランブ      *15 粗骨材の最大寸法      *4.0mm ラップルコンクリート下の砕石      *なし      ・あり																
⑩ 床下防湿層	ポリエチレン系シート数      厚さ      0.15mm以上      重ね      ・のみ込み寸法      250mm以上																
⑪ 載荷試験	・抗載荷試験      カ所      (4.2.3) ・平板載荷試験      カ所      (4.2.4)																
⑫ 砂利地業	種別      再生クラッシュラン RC40																
鉄筋工事	① 鉄筋の種類	<table border="1"> <tr> <td>鉄筋</td><td>規格</td><td>種類</td><td>径</td></tr> <tr> <td rowspan="9">*異形鉄筋</td><td rowspan="2">*JIS G3112</td><td>*SD295A</td><td>○D10      ○D13      ・D16</td></tr> <tr> <td>・SD345</td><td>・D19      ・D22      ・D25      ・D29</td></tr> <tr> <td rowspan="2">・JIS G3117</td><td>・SDR295</td><td></td></tr> <tr> <td>・SDR345</td><td></td></tr> </table>	鉄筋	規格	種類	径	*異形鉄筋	*JIS G3112	*SD295A	○D10      ○D13      ・D16	・SD345	・D19      ・D22      ・D25      ・D29	・JIS G3117	・SDR295		・SDR345	
鉄筋	規格	種類	径														
*異形鉄筋	*JIS G3112	*SD295A	○D10      ○D13      ・D16														
		・SD345	・D19      ・D22      ・D25      ・D29														
	・JIS G3117	・SDR295															
		・SDR345															
	② 鉄筋の加工及び組立	・構造配筋基準図による      ○共仕による															
	③ 溶接金網	網目形状      寸法      100 × 100      径      6 mm      (5.2.2)															
	④ 鉄筋の継手	・ガス圧接継手 (柱及び梁主筋) ○重ね継      (その他)      (5.3.4)															
	⑤ 圧接完了後の検査	・引張試験による検査      *超音波探傷試験による検査															
	⑥ 土間コンクリート補強	・入れない      *入れる (共仕別図 5.11による)      (5.4.9)															

6 コンクリート工事	①コンクリートの強度	普通コンクリート（発注強度＝Fc＋T＋ΔF） 設計基準強度の換算強度 Fc（N/mm2） ・18・21・24 ＊18 温度補正 T 強度割増 ΔF（N/mm2） 3 施工箇所 基礎 土間 立上り部 柱根巻	8 ブロック・ALCパネル工事	1 空洞コンクリート ブロックの種類	種 別 ・A種（08） ・B種（12） ＊C種（16） ・C種防水（16W） 厚 さ（mm） ・10 ・12 ・15 （8.2.2）	11 タイル工事	1 材 料				
	②レディーミクスト コンクリート	種 類 ＊Ⅰ 類 ・Ⅱ 類 （6.1.5）		2 各 部 の 配 筋	耐 力 壁 ＊構造図による（交差部、端部（開口部）は共仕による） （8.2.5） 傾 壁・塀 ＊構造図による （8.3.3） （8.4.2）						
	③セメントの種類	＊普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・早強ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 （使用ヶ所： ） （6.3.2）		③ALCパネル	種 類 単位荷重（N/m <sup>2</sup> ） 外 壁 用 ・1,176.8 ・1,961.3 間仕切用 ・837.4 屋 根 用 ・980.7 床 用 ・2,353.6 ・3,530.4 厚 さ（mm） ○100 ○100・150						
	④混 和 材 料	混和剤の種類 ＊AE剤、AE減水剤 ・高性能AE減水剤 施工箇所 （6.3.5）		④外壁パネル工法	種 別 ・A種 ＊B種 ・C種 ・D種 ・E種 出隅・入隅目地幅 （mm） （8.4.4）						
	5 軽量コンクリート	種 別 ＊1種 ・2種 設計基準強度（N/mm2） ＊18 気乾単位容積質量（ton/m3） ＊1.8 施工箇所 （6.11.1）		5 間仕切壁パネル工法	種 別 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 ・G種 （8.4.5）		2 工 法	外装タイル ＊密着張り ・内装タイル ＊積み上げ張り ・接着張り			
	⑥コンクリート打放し 仕上	打放しの種別 ・A 種 ＊B 種 ・C 種 （表6.2.3）		6 押出成形セメント板	パネル製造所： （8.5.2） 外壁パネル工法 ・A種 ・B種 （8.5.4） 間仕切パネル工法 ・B種 ・C種 （8.5.5）		3 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地	＊入れる 位 置 ＊共仕による ・立面図による （表11.1.1）			
	⑦せき板の材料種別	＊合 板 材 質 ＊複合 ・針葉材 ・南洋材 （施工箇所 壁 ） ・塗装 ＊なし ・あり （施工箇所 ） 打放し仕上部 ・特殊型枠 （6.9.3）					4 接 着 力 試 験	＊行う ・行わない			
	7 鉄骨工事	①施工管理技術者		＊適用する ・適用しない （7.1.4）	9 防水工事		1 アスファルト防水	（表9.2.3～表9.2.8） 防水層の種類 種 別 ・保護防水 ・A-2 ・A1-1 ・B-2 ・露出防水 ・D-2 ・屋内防水 ・E-1 ・E-2	12 木 工 事	①木材の断面寸法	表示寸法で板材・造作材は仕上がり寸法、構造材はひき立て寸法とする。
		②鋼 材 の 種 類		材 質 ○SS400 ○SSC400 ○STKR400 ・BCR295 ・SM490 ・SN400 ・SN490 規 格 ＊JIS規格 ・7.2.10（a）の試験に合格するもの （7.2.1）			2 材 料	アスファルト ・1種 ・2種 ＊3種 ・4種 （9.2.2） アスファルトルーフィング ・940 ＊1500 端部押え金物 ＊L-30×15×2.0（アルミ） ・L-40×70×2.0（アルミ） 断熱材の材質 ＊押出法ポリスチレンフォーム3種bスキン層付き 厚さ（mm） （9.2.2）		②表面の仕上げ	・A種 ＊B種 ・C種 （12.1.4）
		③高力ボルトの種類		種 類 ＊トルシア形高力ボルト（建築基準法認定品） ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト（建築基準法認定品） （7.2.2）			3 改質アスファルト シート防水	種 類 ・AS-1 ・AS-2 （表9.4.1）		③木 材	木材の含水率 ＊A種 ・B種 （表12.2.1） 造作材の等級 ＊A種 ・B種 （表12.2.2） 樹 種 代用樹種を適用しない箇所 （12.2.1）
④ターンバックル		胴の種類 ＊割枠式 ・パイプ式 ボルトの種類 ＊羽子板ボルト ・両ねじボルト ・アイボルト （7.2.6）	4 合成高分子系ルー フィングシート防水	種 別 シートの種類 シートの厚さ（mm） 施工箇所 ・S-F1 ・S-F2 ・S-F3 ＊露出防水 （表9.4.1）		4 集 成 材	造作用集成材（F☆☆☆☆） 等 級 ＊見掛け1等、その他2等 （12.2.2） 単材の樹種及び厚さ 樹 種 厚さ（mm） 施 工 箇 所				
⑤工 作 図		床書き現寸図 ＊作成しない ・作成する （7.3.2）	5 塗 膜 防 水	＊露出防水 （表9.5.1～表9.5.2） 種 別 ・X-1 ・X-2 ・Y-1 ・Y-2		5 床 張 り 用 合 板	12mm合板 接着程度 ＊1 類 表面品質 ＊2 等				
⑥溶 接 部 の 試 験		・超音波探傷試験（30％） ・放射線試験 ・マクロ試験 （7.6.11）	6 脱 気 装 置	材 質： 設置数量： （9.6.2）		6 防 ぎ 処 理	施工箇所：				
⑦錆 止 め 塗 装		塗料の種類 ＊共仕18.3.2 ・A種 ・B種 （7.8.3）	7 施 工 票	工事完了後に監督員の指示する場所に取り付ける。		7 防 腐 処 理	施工箇所：				
⑧アンカーボルト等の 設置		種 別 ・A 種 ＊B 種 ・C 種 （7.10.3）	8 責任施工及び保証 期間	防水工事は責任施工とし、保証期間は次のとおりとする。 ・アスファルト防水 10年間 ・合成高分子ルーフィング防水 10年間 ・塗膜防水 年間 ・FRP防水 年間							
⑨柱底均しモルタル （グラウト）		工 法 ＊A 種 ・B 種 （表7.10.2）	⑨シーリング	材 料 ＊共仕による （9.6.2） 接着性試験 ＊行う（＊簡易接着性試験 ・引張接着性試験） ・行わない （9.6.5）							
⑩耐 火 被 覆		種 別 材料及び工法 材料及び工法 ・ラス張りモルタル塗り 共仕15章2節による 所定の耐火性能を有するもの ・耐火材吹付け ロックウール ・半乾式 建築基準法の認定を受けたもの 梁1時間耐火 ・耐火板張り ・無石棉ケイ酸カルシウム板 ・強化石膏板t2l 建築基準法の認定を受けたもの 柱1時間耐火 （7.9.2）	10 石 工 事	1 石 材		（表10.2.1 表10.2.2） 施 工 箇 所 石 材 の 種 類・品 質 産 地 ・ 名 称 仕 上 の 種 類 品 質 床 用 ・1等 ＊2等 その他 ＊1等 ・2等 （10.2.1）					
⑪鉄骨製作工場	＊国土交通大臣による認定を受けた工場で認定グレード＊R・M・H以上で極力県内に所在する工場とし、 監督員の承諾を受ける。工場加工は認定工場における自主検査を行い報告書を提出すること。 ○監督職員の承諾する工場	2 テラソブロック		種石の種類・大きさ ＊大理石の類（12mm以下） ・花こう岩の類（6mm以下） （10.2.1）							
		3 テラソタイル	種 類 形状・寸法 ・花こう岩類 ・大理石 ・300×300 ・400×400 （10.6.1）								

15  
左  
官  
工  
事

1 モルタル塗り

2 セルフレベリング  
材塗り

吸水調整材 ・製造所： (15. 2. 2)  
・ひび割れおよび剥がれがなく、付着強さが0.98N/mm<sup>2</sup>以上で界面破断が50%以下のもの

既製目地材 ・適用する 形 状 (15. 2. 2)  
・適用しない

床 目 地 ・設置する 目地工法 \*押し目地 (15. 2. 5)  
・設置しない

種 類 ・せつこう系 ・セメント系 (表15. 4. 1)  
施工箇所

③仕上げ塗材仕上げ

(表15. 5. 1)

種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	施 工 箇 所 ・ 備 考
薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 E	・砂壁状	吹付け	
		・着色骨材砂壁状	吹付け	
	・内装薄塗材 E	・砂壁状じゅらく	吹付け	
	・可とう形外装薄塗材 E	・砂壁状	吹付け	
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー	
	・防水形外装薄塗材 E	・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー	
		・凹凸状	吹付け	
	・外装薄塗材 S	・砂壁状	吹付け	
厚付け仕上塗材	・内装薄塗材 W	・京壁状じゅらく	吹付け	
	・外装厚塗材 C	スタッコ状 ・吹放し ・凸部処理 ・ひき起し ・凸部処理	吹付け	
			こて塗り	
	・内装厚塗材 C	スタッコ状 ・吹放し ・凸部処理 ・ひき起し ・凸部処理	吹付け	
こて塗り				
厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 E	スタッコ状 ・吹放し ・凸部処理	吹付け	
複層仕上塗材	・複層塗材 CE	・ゆず肌状	ローラー	
		・凸部処理	吹付け	
		・凹凸模様		
	・可とう形複層塗材 CE	・ゆず肌状	ローラー	
		・凸部処理	吹付け	
		・凹凸模様		
	・複層塗材 Si	・ゆず肌状	ローラー	
			吹付け	外壁
	・複層塗材 E	・凸部処理	吹付け	
	・複層塗材 RE	・凹凸模様		
	・複層塗材 RS	・ゆず肌状	ローラー	
		・凸部処理	吹付け	
	・凹凸模様			
・防水形複層塗材 CE	・ゆず肌状	ローラー		
	・凸部処理	吹付け	理事長室内壁	
	・凹凸模様			
軽量骨材仕上塗材	・吹付け軽量塗材	・砂壁状	吹付け	
材	・こて塗用軽量塗材	・平たん状	こて塗り	

4 ロックウール吹付け

厚 さ (mm) ・ 10 ・ 15 ・ 20 (15. 7. 1)

16  
建  
具  
工  
事

①見本の製作等

②アルミニウム製建具

建具見本の製作 \*製作しない  
・製作する (仮組 ・実施する ・実施しない) (16. 1. 4)

(16. 2. 2)

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠 見 込
*A 類	S-4	A-3	W-4	*70mm
・B 類	S-5			
・C 類	S-6	A-4	W-5	*100mm

表面処理の種別 外 部 ○B-1種 ・B-2種  
屋 内 ・C-1種 ・C-2種

網 戸 形 式 \*外面可動式 ・固定式

防虫網 ・合成樹脂製 \*ステンレス製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製

網 目 \*16 ・18 ・20

3 鋼製建具

(16. 3. 2)

4 鋼製軽量建具

(16. 4. 2)

<div> <div>17</div> <div>カーテンウォール</div> <div>工事</div> </div>	5 ステンレス製建具		(16. 5. 2)
	6 自動ドア開閉装置	センサの種類 ・マットスイッチ ・光線（反射）スイッチ ・音波スイッチ ・熱線スイッチ ・光電スイッチ 補助センサ *併用する	(16. 8. 3)
	7 木製建具	材 料 合板および接着剤等全てF☆☆☆☆とする。 加工組立時の含水率 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 表面材の種類・品質 *共仕による マスターキー ・制作する（*3 個） ・制作しない ・製作しないが装置は既存合わせ 鍵 箱 ・設ける（*釣下式 ・差込式） ・設けない ・30組用 個 ・60組用 個 ・組用 個 鍵はプラスチック製の名札を取り付けて引き渡すものとする。	(表16. 6. 1)
	8 建具用金物		
	9 ガラス留め材		(16. 13. 2)
		建具の種類	ガラス留め材の種類
		アルミニウム製	・シーリング ・ガスケット
		鋼製	・シーリング
		熱線吸収ガラス、網入ガラス及びF i x 窓の留め材はすべてシーリングとする。	
	10 重量シャッター	種 類 ・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能 *上部電動式（手動併用） ・上部手動式 シャッターケース（防火、防煙以外） ・設ける ・設けない ・耐風圧性能の区分 ・50 ・80 ・120 危険防止機構 *障害物感知装置 ・二段階降下方式	(16. 10. 2)
	11 軽量シャッター	開閉機能 ・上部電動式（手動併用） *手動式	(16. 11. 2)
	12 オーバーヘッドドア	セクション材料 *スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ 開閉方式 *バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	(16. 12. 2)
	17 カーテンウォール		(17. 2. 2)
<div> <div>18</div> <div>塗装工事</div> </div>	2 P Cカーテンウォール		(17. 3. 2)
	1 炭地ごしらえ	木 部 * A 種（透明塗料の場合は B 種） ・ B 種 鉄 面（鉄骨工事は除く） ・ A 種 ・ B 種 * C 種 亜鉛メッキ面 ・ A 種 * B 種 ・ C 種 モルタル・プラスター面 ・ A 種 * B 種 コンクリート・ALCパネル面 ・ A 種 * B 種 コンクリート・押出成形セメント板面 ・ A 種 ・ B 種 せっこうボード面 ・ A 種 * B 種（根目処理工法の場合は A 種）	(表18. 2. 1) (表18. 2. 2) (表18. 2. 3) (表18. 2. 4) (表18. 2. 5) (表18. 2. 6) (表18. 2. 7)
	2 錆止め塗料塗り	塗料種類 鉄面屋外 * A 種 ・ B 種 鉄面屋内 ・ A 種 * B 種 塗料塗り 鉄 面 *見掛け A 種、見隠れ B 種 亜鉛メッキ面 *陽性建具 A 種、その他 B 種	(18. 3. 2)
	3 一般塗料	J I S の規格品	
	4 特殊塗料		
	5 環境対応型塗料	・塗料種別は J I S 規格品とするも極力環境対応型塗料を使用すること。 （参 考） ・モルタル壁対応 : 特殊架橋型アクリルエマルション樹脂塗料（J I S K5680） ・プラスター壁対応 : 特殊水性エマルション樹脂塗料（J I S K5663 1 種相当品）	
	6 室内環境汚染対策	居室内に面する全ての塗料はF☆☆☆☆製品とする。	



19 内装工事	①ビニル床シート張り	シートの種類 *織布積層床シート（NO） 厚さ（mm） 2.0 *2.5 *3.0 *2.8 縫目 *熱溶接 *突きつけ	（19.2.2）	20 ユニット及びその他工事	1階段滑り止め	外部 ステンレス製 幅（mm） 30 *35 *40 工法 *埋込工法 *接着工法	（20.2.6）	21 排水工事	1排水溝	種類 *U字溝 *現場打削溝		
	2ビニル床タイル張り	タイルの種類 *半硬質コンポジション床タイル 厚さ（mm） 2.0 *2.5 *3.0	（19.2.2）		②フリーアクセスフロア	内部 ステンレス製（ビニルタイヤ又はゴム練込み） 幅（mm） 30 *35 *40 工法 *埋込工法 *接着工法	（20.2.2）		②溝ふた	CHPL-6 SOP		
	③ビニル巾木の種別	厚さ（mm） 2.0 高さ（mm） 60 *75 *100 *ササrah巾木	（19.2.2）		3トイレブース	製造所： タジマ UP-50 同等品 仕上り高さ： （mm） 寸法： （mm）×（mm） 材質等： 積載荷重： kg/m <sup>2</sup>	（20.2.5）		3排水ます	種類 *既製品 *現場施工 現場施工であっても、まずは、工場製品でもよい。この場合、環境に配慮した材料として一般廃棄物の溶融固化等を極力使用すること。ただし、工場製品を使用する場合、製品はJIS製品とし、JISに規定のない製品は原則としてJIS工場または、JIS工場品と同等品とする。 ふたの種類 *コンクリート製 *細目グレーチング蓋 T-2	（表21.2.1）	
	4合成樹脂塗り床	弾性ウレタン塗り床 仕上の種類 *平滑仕上 *防滑仕上 *つや消し仕上 エポキシ樹脂塗り床 仕上の種類 *薄膜流し膜べ仕上 *厚膜流し膜べ仕上 *樹脂モルタル仕上 *防滑仕上	（表19.4.3） （表19.4.4～7）		4フラインド	製造所： *ポリ合板フラッシュ *メラミン化粧合板フラッシュ 形式 *横形ブラインド *縦形ブラインド スラットの成型幅 横形 *25 縦形 *80 *100	（20.2.12）		4排水管			
	5防塵塗料	塗料の種類 *アクリル系 *ウレタン系 *エポキシ系 仕上の種類 *平滑仕上 *防滑仕上			5カーテン	材質 *アルミ合金製 *クロス 開閉方式 *キヤー式 *コード式 *操作棒式 昇降テープの材質 *ポリエステル繊維 形式 *片引き *引分け 引分け装置 *ひも引き *電動 ひだの種類 *フランスひだ *箱ひだ *つまひだ *ブレンひだ *片ひだ きれ地の品質等	（20.2.14）		5透水管			
	⑥せつこうボード張り	JIS規格 厚さ（mm） 9.5 12.5 *15			6カーテンレール	材質 *ステンレス製 *アルミ合金製 一般+暗幕用			22 舗装工事	1路床	遮断層 *設ける（*川砂 *山砂） *設けない OBR試験 *行わない *行う 締固め試験 *行わない *行う	（22.2.2）
	⑦化粧せつこうボード張り	JIS規格 トラバーチン模様 9.5 *木目模様 9.5 *押入用 12.5			7黒板及びホワイトボード	材質 *ステンレス製 *アルミ合金製 黒板 種類 *焼付け黒板 *研き出し黒板 *アルミニウム製 *木製 ホワイトボード 種類 *アルミニウム製 *スポンジシート *無し *有り 厚さ（mm） *5	（20.2.8） （20.2.9）			2路盤	種別 *クラッシュラン C-40 厚さ（mm）100 *再生クラッシュラン RC-40 厚さ（mm）	（22.3.2）
	8石綿セメント板	種類 *無石棉 *石棉 厚さ（mm） 4 *5 *6			8鏡	材質 *ステンレス製 *アルミニウム製				3アスファルト舗装	舗装の構成 *基層なし *基層あり 厚さ（mm） 表層 *50 基層 *50 アスファルト *ストレートアスファルト *再生アスファルト 加熱アスファルト混合物の種類： 混合物の抽出試験 *行わない *行う	（22.4.2） （22.4.3） （22.4.4） （22.4.6）
	9無石棉ケイ酸カルシウム板	厚さ（mm） 5 *6 *8 *10 *12	（19.3.4）		9コーナービート	材質 *ステンレス製 *アルミニウム製				4コンクリート舗装	種類 *コンクリート平板舗装 *インターロッキングブロック舗装 基層 *コンクリート舗装 *アスファルト舗装 インターロッキングブロック 厚さ： （mm） 製造所：	（22.8.3）
	⑩ロックウール吸音板	厚さ（mm） 9 *12			10プレキャストコンクリート工事	天井 *アルミ既製品 *300角 450角 *600角 床 *アルミ既製品 *350角 *450角 *600角 マット *塩ビ製エントラップマット *既設再利用 *ゴム製 *ステンレス製 受枠 *ステンレス製 *硬質アルミ合金製 *優良住宅部品 *優良住宅部品 *優良住宅部品 形式 *テーパー式 材質 *アルミ合金製 半受金物 *ステンレス製 材質 *ステンレス製 形式 *傾斜式 *垂直式 室名札 面付型 アルミ製 2ヶ所 *持出型 *点字型 ピクトグラフ *便所標識 *車椅子標識 *階段標識 製造所： 表示板： 誘導標識（プラスチック製） *市販品 建物案内板 *アクリル製 *ステンレス製 *アルミ製				6透水性アスファルト舗装	形状寸法：	
11フローリング張り	種類 *FLOORING BOARD *FLOORING BOARD *FLOORING BOARD 複合 （Fco） *複合1種FLOORING *複合2種FLOORING *複合3種FLOORING		⑪点検口	天井 *アルミ既製品 *300角 450角 *600角 床 *アルミ既製品 *350角 *450角 *600角 マット *塩ビ製エントラップマット *既設再利用 *ゴム製 *ステンレス製 受枠 *ステンレス製 *硬質アルミ合金製 *優良住宅部品 *優良住宅部品 *優良住宅部品 形式 *テーパー式 材質 *アルミ合金製 半受金物 *ステンレス製 材質 *ステンレス製 形式 *傾斜式 *垂直式 室名札 面付型 アルミ製 2ヶ所 *持出型 *点字型 ピクトグラフ *便所標識 *車椅子標識 *階段標識 製造所： 表示板： 誘導標識（プラスチック製） *市販品 建物案内板 *アクリル製 *ステンレス製 *アルミ製		7縁石						
20 断熱材	⑫壁紙張り	品質 エコロジー壁紙 防火性能 *1級 *2級 ホルムアルデヒドの放出量が「インテリア材料の品質と生活環境の安全に関する規格（ISM）」あるいは、それと同等の基準、性能に適合するもの。 量の種類 *A種 *B種 *C種 *D種（Ⅱ・Ⅲ） *縦じゅうたん 種別 *A種 *B種 *C種 下敷き *麻黄フェルトt8 *タフテッドカーベット 品質 JIS規格 工法 *全面接着工法 *グリッパ-工法 下敷き *麻黄フェルトt8 *ニードルパンチカーベット 厚さ（mm） *6 ⑬タイルカーベット 製造所：	（19.8.2） （表19.6.1） （表19.3.1） （表19.3.2） （19.3.4）	21 植栽工事	13ステンレス流し台	材質 *アルミ既製品 *300角 450角 *600角 床 *アルミ既製品 *350角 *450角 *600角 マット *塩ビ製エントラップマット *既設再利用 *ゴム製 *ステンレス製 受枠 *ステンレス製 *硬質アルミ合金製 *優良住宅部品 *優良住宅部品 *優良住宅部品 形式 *テーパー式 材質 *アルミ合金製 半受金物 *ステンレス製 材質 *ステンレス製 形式 *傾斜式 *垂直式 室名札 面付型 アルミ製 2ヶ所 *持出型 *点字型 ピクトグラフ *便所標識 *車椅子標識 *階段標識 製造所： 表示板： 誘導標識（プラスチック製） *市販品 建物案内板 *アクリル製 *ステンレス製 *アルミ製		22 その他	2植栽基盤	*引渡しの日から1年 *引渡しの日から 年 *新植（同等以上のものを再植栽） *移植（良土で埋め戻し整地）	（23.3.4） （23.3.6）	
	13畳敷き	品質 エコロジー壁紙 防火性能 *1級 *2級 ホルムアルデヒドの放出量が「インテリア材料の品質と生活環境の安全に関する規格（ISM）」あるいは、それと同等の基準、性能に適合するもの。 量の種類 *A種 *B種 *C種 *D種（Ⅱ・Ⅲ） *縦じゅうたん 種別 *A種 *B種 *C種 下敷き *麻黄フェルトt8 *タフテッドカーベット 品質 JIS規格 工法 *全面接着工法 *グリッパ-工法 下敷き *麻黄フェルトt8 *ニードルパンチカーベット 厚さ（mm） *6 ⑬タイルカーベット 製造所：	（19.8.2） （表19.6.1） （表19.3.1） （表19.3.2） （19.3.4）		14コンロ台	材質 *アルミ既製品 *300角 450角 *600角 床 *アルミ既製品 *350角 *450角 *600角 マット *塩ビ製エントラップマット *既設再利用 *ゴム製 *ステンレス製 受枠 *ステンレス製 *硬質アルミ合金製 *優良住宅部品 *優良住宅部品 *優良住宅部品 形式 *テーパー式 材質 *アルミ合金製 半受金物 *ステンレス製 材質 *ステンレス製 形式 *傾斜式 *垂直式 室名札 面付型 アルミ製 2ヶ所 *持出型 *点字型 ピクトグラフ *便所標識 *車椅子標識 *階段標識 製造所： 表示板： 誘導標識（プラスチック製） *市販品 建物案内板 *アクリル製 *ステンレス製 *アルミ製			3植込み用土	*現場発生の良土 *客土	（23.3.3）	
	⑭カーペット敷き	品質 エコロジー壁紙 防火性能 *1級 *2級 ホルムアルデヒドの放出量が「インテリア材料の品質と生活環境の安全に関する規格（ISM）」あるいは、それと同等の基準、性能に適合するもの。 量の種類 *A種 *B種 *C種 *D種（Ⅱ・Ⅲ） *縦じゅうたん 種別 *A種 *B種 *C種 下敷き *麻黄フェルトt8 *タフテッドカーベット 品質 JIS規格 工法 *全面接着工法 *グリッパ-工法 下敷き *麻黄フェルトt8 *ニードルパンチカーベット 厚さ（mm） *6 ⑬タイルカーベット 製造所：	（19.8.2） （表19.6.1） （表19.3.1） （表19.3.2） （19.3.4）		15つり戸だな	材質 *アルミ既製品 *300角 450角 *600角 床 *アルミ既製品 *350角 *450角 *600角 マット *塩ビ製エントラップマット *既設再利用 *ゴム製 *ステンレス製 受枠 *ステンレス製 *硬質アルミ合金製 *優良住宅部品 *優良住宅部品 *優良住宅部品 形式 *テーパー式 材質 *アルミ合金製 半受金物 *ステンレス製 材質 *ステンレス製 形式 *傾斜式 *垂直式 室名札 面付型 アルミ製 2ヶ所 *持出型 *点字型 ピクトグラフ *便所標識 *車椅子標識 *階段標識 製造所： 表示板： 誘導標識（プラスチック製） *市販品 建物案内板 *アクリル製 *ステンレス製 *アルミ製			4支柱及び添木	支柱 *鳥居形 *三脚 *四脚 *布掛け	（23.3.3）	
	⑮断熱材	品質 エコロジー壁紙 防火性能 *1級 *2級 ホルムアルデヒドの放出量が「インテリア材料の品質と生活環境の安全に関する規格（ISM）」あるいは、それと同等の基準、性能に適合するもの。 量の種類 *A種 *B種 *C種 *D種（Ⅱ・Ⅲ） *縦じゅうたん 種別 *A種 *B種 *C種 下敷き *麻黄フェルトt8 *タフテッドカーベット 品質 JIS規格 工法 *全面接着工法 *グリッパ-工法 下敷き *麻黄フェルトt8 *ニードルパンチカーベット 厚さ（mm） *6 ⑬タイルカーベット 製造所：	（19.8.2） （表19.6.1） （表19.3.1） （表19.3.2） （19.3.4）		16水切りだな	材質 *アルミ既製品 *300角 450角 *600角 床 *アルミ既製品 *350角 *450角 *600角 マット *塩ビ製エントラップマット *既設再利用 *ゴム製 *ステンレス製 受枠 *ステンレス製 *硬質アルミ合金製 *優良住宅部品 *優良住宅部品 *優良住宅部品 形式 *テーパー式 材質 *アルミ合金製 半受金物 *ステンレス製 材質 *ステンレス製 形式 *傾斜式 *垂直式 室名札 面付型 アルミ製 2ヶ所 *持出型 *点字型 ピクトグラフ *便所標識 *車椅子標識 *階段標識 製造所： 表示板： 誘導標識（プラスチック製） *市販品 建物案内板 *アクリル製 *ステンレス製 *アルミ製			5芝張り	種別 *こらうい芝 *野芝の類 密土 *行う *行わない	（23.4.2）	
	⑯グラスウール	品質 エコロジー壁紙 防火性能 *1級 *2級 ホルムアルデヒドの放出量が「インテリア材料の品質と生活環境の安全に関する規格（ISM）」あるいは、それと同等の基準、性能に適合するもの。 量の種類 *A種 *B種 *C種 *D種（Ⅱ・Ⅲ） *縦じゅうたん 種別 *A種 *B種 *C種 下敷き *麻黄フェルトt8 *タフテッドカーベット 品質 JIS規格 工法 *全面接着工法 *グリッパ-工法 下敷き *麻黄フェルトt8 *ニードルパンチカーベット 厚さ（mm） *6 ⑬タイルカーベット 製造所：	（19.8.2） （表19.6.1） （表19.3.1） （表19.3.2） （19.3.4）		17旗ポール	材質 *アルミ既製品 *300角 450角 *600角 床 *アルミ既製品 *350角 *450角 *600角 マット *塩ビ製エントラップマット *既設再利用 *ゴム製 *ステンレス製 受枠 *ステンレス製 *硬質アルミ合金製 *優良住宅部品 *優良住宅部品 *優良住宅部品 形式 *テーパー式 材質 *アルミ合金製 半受金物 *ステンレス製 材質 *ステンレス製 形式 *傾斜式 *垂直式 室名札 面付型 アルミ製 2ヶ所 *持出型 *点字型 ピクトグラフ *便所標識 *車椅子標識 *階段標識 製造所： 表示板： 誘導標識（プラスチック製） *市販品 建物案内板 *アクリル製 *ステンレス製 *アルミ製						
	16天然木化粧合板	品質 エコロジー壁紙 防火性能 *1級 *2級 ホルムアルデヒドの放出量が「インテリア材料の品質と生活環境の安全に関する規格（ISM）」あるいは、それと同等の基準、性能に適合するもの。 量の種類 *A種 *B種 *C種 *D種（Ⅱ・Ⅲ） *縦じゅうたん 種別 *A種 *B種 *C種 下敷き *麻黄フェルトt8 *タフテッドカーベット 品質 JIS規格 工法 *全面接着工法 *グリッパ-工法 下敷き *麻黄フェルトt8 *ニードルパンチカーベット 厚さ（mm） *6 ⑬タイルカーベット 製造所：	（19.8.2） （表19.6.1） （表19.3.1） （表19.3.2） （19.3.4）		18屋上丸環	材質 *アルミ既製品 *300角 450角 *600角 床 *アルミ既製品 *350角 *450角 *600角 マット *塩ビ製エントラップマット *既設再利用 *ゴム製 *ステンレス製 受枠 *ステンレス製 *硬質アルミ合金製 *優良住宅部品 *優良住宅部品 *優良住宅部品 形式 *テーパー式 材質 *アルミ合金製 半受金物 *ステンレス製 材質 *ステンレス製 形式 *傾斜式 *垂直式 室名札 面付型 アルミ製 2ヶ所 *持出型 *点字型 ピクトグラフ *便所標識 *車椅子標識 *階段標識 製造所： 表示板： 誘導標識（プラスチック製） *市販品 建物案内板 *アクリル製 *ステンレス製 *アルミ製						
	17化装キイム板	品質 エコロジー壁紙 防火性能 *1級 *2級 ホルムアルデヒドの放出量が「インテリア材料の品質と生活環境の安全に関する規格（ISM）」あるいは、それと同等の基準、性能に適合するもの。 量の種類 *A種 *B種 *C種 *D種（Ⅱ・Ⅲ） *縦じゅうたん 種別 *A種 *B種 *C種 下敷き *麻黄フェルトt8 *タフテッドカーベット 品質 JIS規格 工法 *全面接着工法 *グリッパ-工法 下敷き *麻黄フェルトt8 *ニードルパンチカーベット 厚さ（mm） *6 ⑬タイルカーベット 製造所：	（19.8.2） （表19.6.1） （表19.3.1） （表19.3.2） （19.3.4）		19非常用救助袋	材質 *アルミ既製品 *300角 450角 *600角 床 *アルミ既製品 *350角 *450角 *600角 マット *塩ビ製エントラップマット *既設再利用 *ゴム製 *ステンレス製 受枠 *ステンレス製 *硬質アルミ合金製 *優良住宅部品 *優良住宅部品 *優良住宅部品 形式 *テーパー式 材質 *アルミ合金製 半受金物 *ステンレス製 材質 *ステンレス製 形式 *傾斜式 *垂直式 室名札 面付型 アルミ製 2ヶ所 *持出型 *点字型 ピクトグラフ *便所標識 *車椅子標識 *階段標識 製造所： 表示板： 誘導標識（プラスチック製） *市販品 建物案内板 *アクリル製 *ステンレス製 *アルミ製						
	⑰シカケ対策	品質 エコロジー壁紙 防火性能 *1級 *2級 ホルムアルデヒドの放出量が「インテリア材料の品質と生活環境の安全に関する規格（ISM）」あるいは、それと同等の基準、性能に適合するもの。 量の種類 *A種 *B種 *C種 *D種（Ⅱ・Ⅲ） *縦じゅうたん 種別 *A種 *B種 *C種 下敷き *麻黄フェルトt8 *タフテッドカーベット 品質 JIS規格 工法 *全面接着工法 *グリッパ-工法 下敷き *麻黄フェルトt8 *ニードルパンチカーベット 厚さ（mm） *6 ⑬タイルカーベット 製造所：	（19.8.2） （表19.6.1） （表19.3.1） （表19.3.2） （19.3.4）		20室名表示等	材質 *アルミ既製品 *300角 450角 *600角 床 *アルミ既製品 *350角 *450角 *600角 マット *塩ビ製エントラップマット *既設再利用 *ゴム製 *ステンレス製 受枠 *ステンレス製 *硬質アルミ合金製 *優良住宅部品 *優良住宅部品 *優良住宅部品 形式 *テーパー式 材質 *アルミ合金製 半受金物 *ステンレス製 材質 *ステンレス製 形式 *傾斜式 *垂直式 室名札 面付型 アルミ製 2ヶ所 *持出型 *点字型 ピクトグラフ *便所標識 *車椅子標識 *階段標識 製造所： 表示板： 誘導標識（プラスチック製） *市販品 建物案内板 *アクリル製 *ステンレス製 *アルミ製						
	21 断熱材	⑱断熱材	品質 エコロジー壁紙 防火性能 *1級 *2級 ホルムアルデヒドの放出量が「インテリア材料の品質と生活環境の安全に関する規格（ISM）」あるいは、それと同等の基準、性能に適合するもの。 量の種類 *A種 *B種 *C種 *D種（Ⅱ・Ⅲ） *縦じゅうたん 種別 *A種 *B種 *C種 下敷き *麻黄フェルトt8 *タフテッドカーベット 品質 JIS規格 工法 *全面接着工法 *グリッパ-工法 下敷き *麻黄フェルトt8 *ニードルパンチカーベット 厚さ（mm） *6 ⑬タイルカーベット 製造所：		（19.8.2） （表19.6.1） （表19.3.1） （表19.3.2） （19.3.4）	22 その他	21建物銘板		材質 *アルミ既製品 *300角 450角 *60			



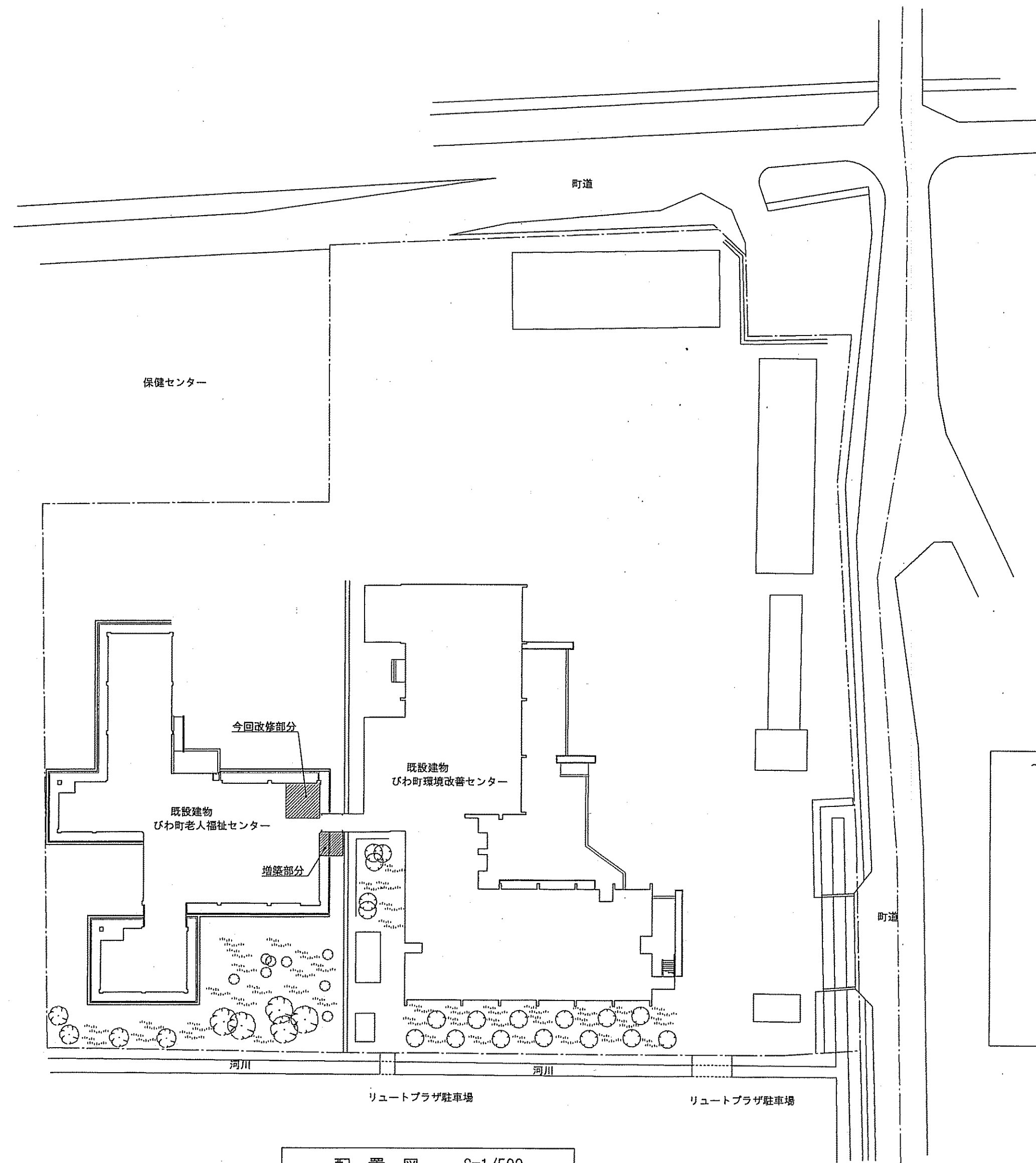




CL	クリアラッカー
FP	フタル酸ベイント
OSW	オイルステนวニス

[illegible]





- ～ 特記事項 ～
- 1、既存建物等に支障無き様留意し、仮囲い立ち入り禁止囲い等適切な処置を行う事
  - 2、特に火災及び粉塵の発生には、十分注意のこと。
  - 3、保健センター及び図書館などが隣接し利用者の往来が多いので安全に配慮する事
  - 4、工事中も施設の運営中のため施設利用者及び職員の安全確保につとめ、工程等は監督員と協議の上決定する事。
  - 5、重機搬入及び廃材搬出時においては、登下校時を避け安全に留意すること。  
前面道路は通学路につき交通に十分注意の事。
  - 6、閉館中（隣接施設を含む）は騒音など極力慎む等配慮する事。
  - 7、図面及び面積は、概略のを示すものであり、現場の状況を十分に把握すること。  
撤去等により生じる補修等は全て本工事に含むものとする。
  - 8、工程は監理者及び施設側と随時協議を行い、施設運営に支障無きよう工事を行う事。
  - 9、工事場所迄は庭園等が有り重機、ポンプ車、車両が近づけないので現場状況を十分把握し  
仮設計画を立案し監理者と協議のもと施工すること。

配置図 S=1/500



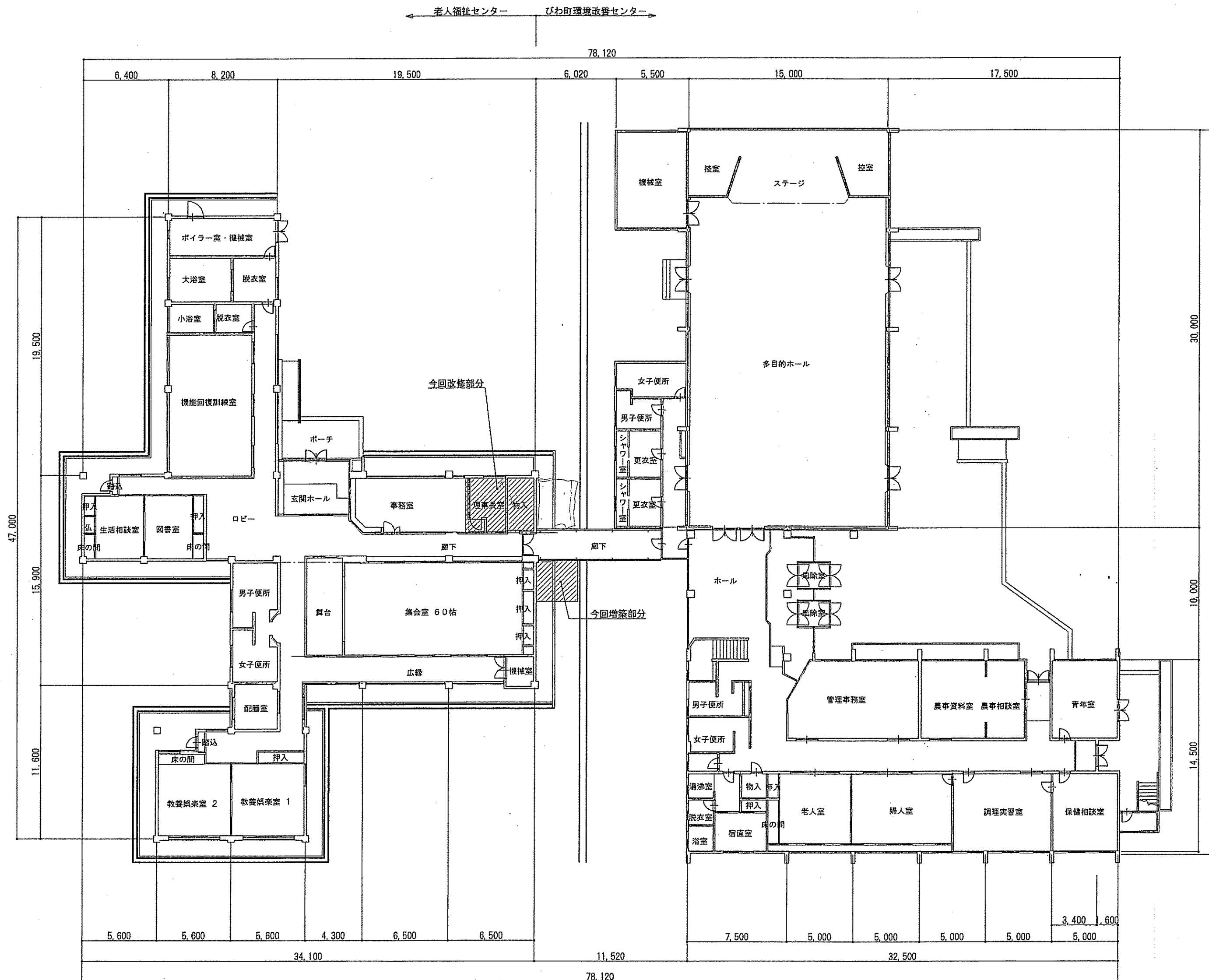
高山設計  
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (甲) 第1510号

〒526-0113 滋賀県東浅井郡びわ町南浜818  
Tel 0749-72-3357  
一級建築士登録第220934号 高山 高 広

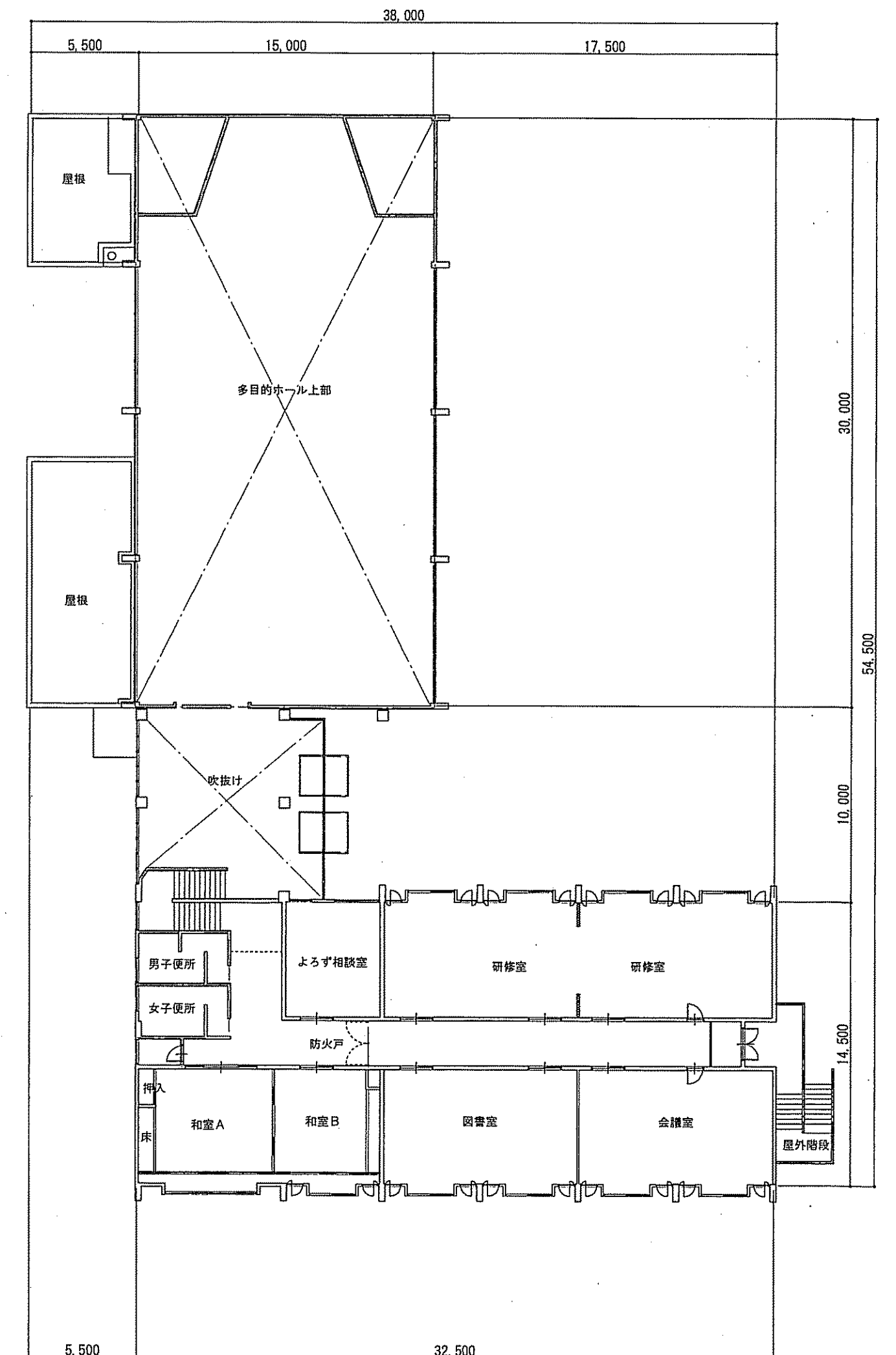
工事名称 びわ町老人福祉センター改修工事  
図面名称 配置図

縮尺 1/500

図番 8 / 26  
日付 2005(H17). 5



全館現況1階平面図 S=1/250



全館現況2階平面図 S=1/250



高山設計

設計・構造・監理

一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (特) 第1519号

〒526-0113 滋賀県東浅井郡びわ町南浜818  
Tel 0749-72-3357

一級建築士登録第220834号 高山 高 広

工事名称

びわ町老人福祉センター改修工事

図面名称

現況平面図

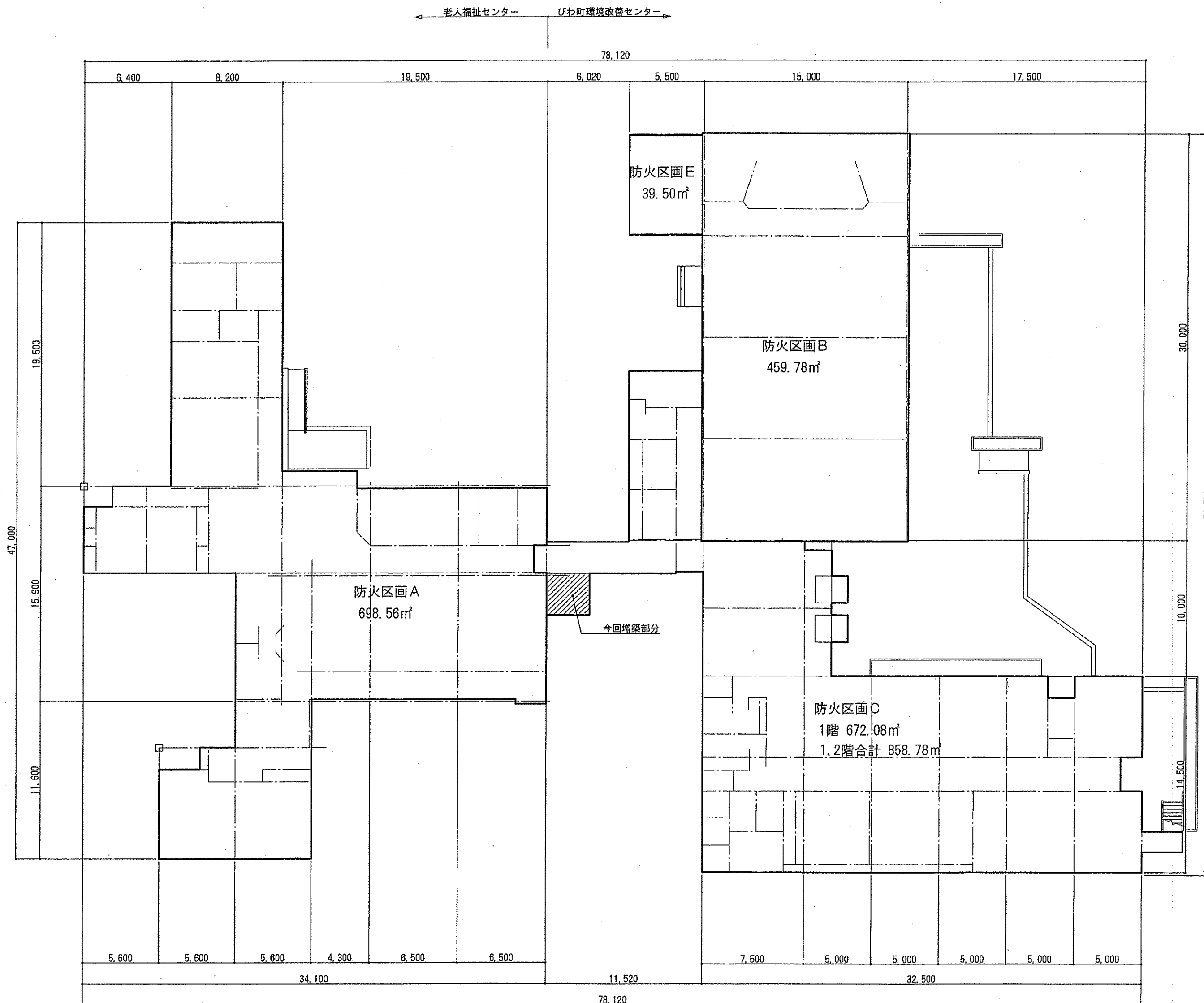
縮尺 1/250

図番

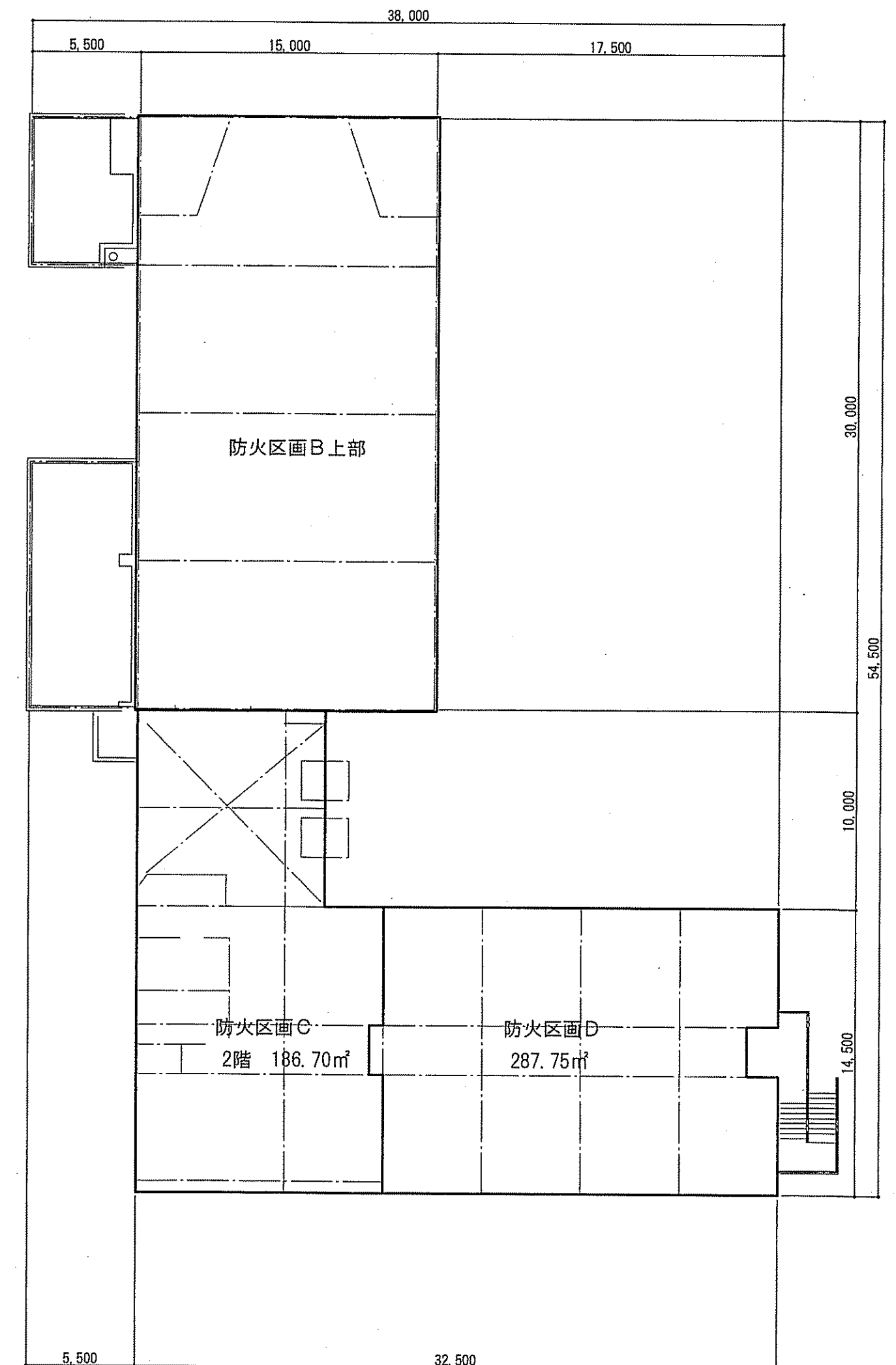
9 / 26

日付

2005 (H17). 5



1 階防火区画図 S=1/250



2 階防火区画図 S=1/250



高山設計

設計・構造・監理

一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (昭) 第1518号

〒526-0113 滋賀県東浜井郡びわ町南浜818

Tel 0749-72-3357

一級建築士登録第220934号 高山 高 広

工事名称

びわ町老人福祉センター改修工事

図面名称

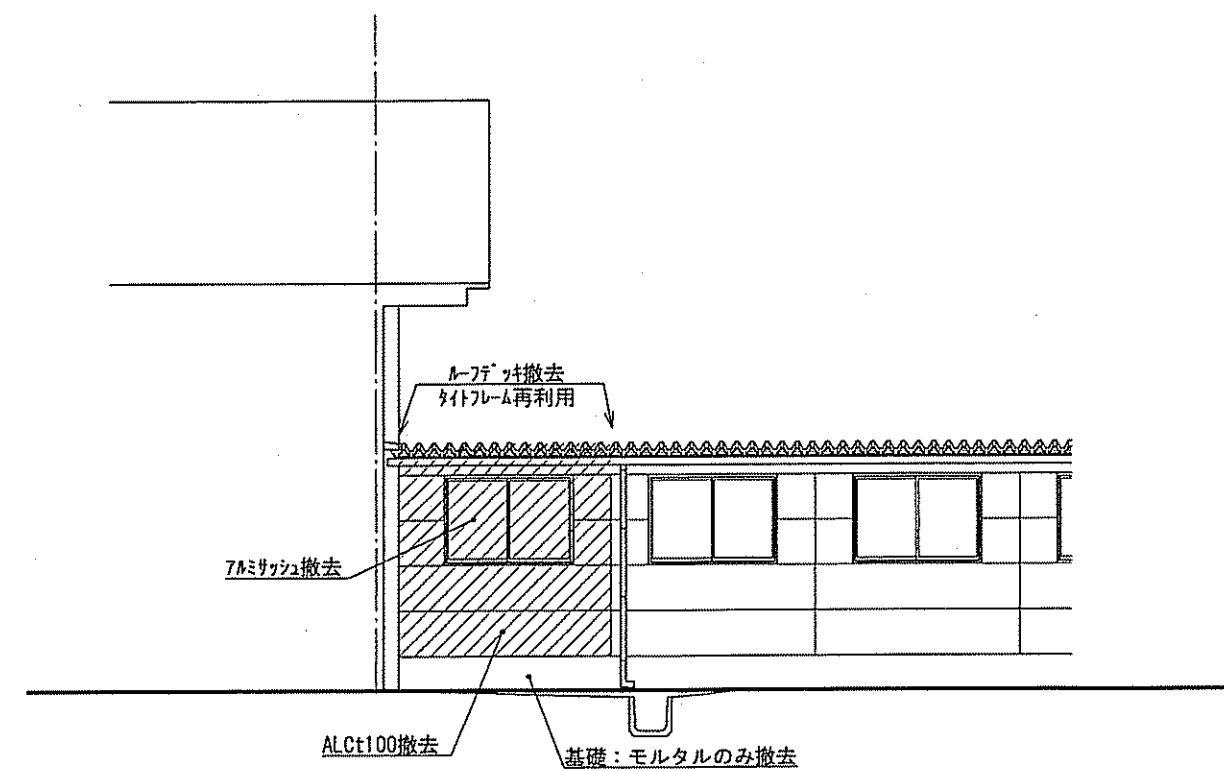
防火区画図

縮尺 1/250

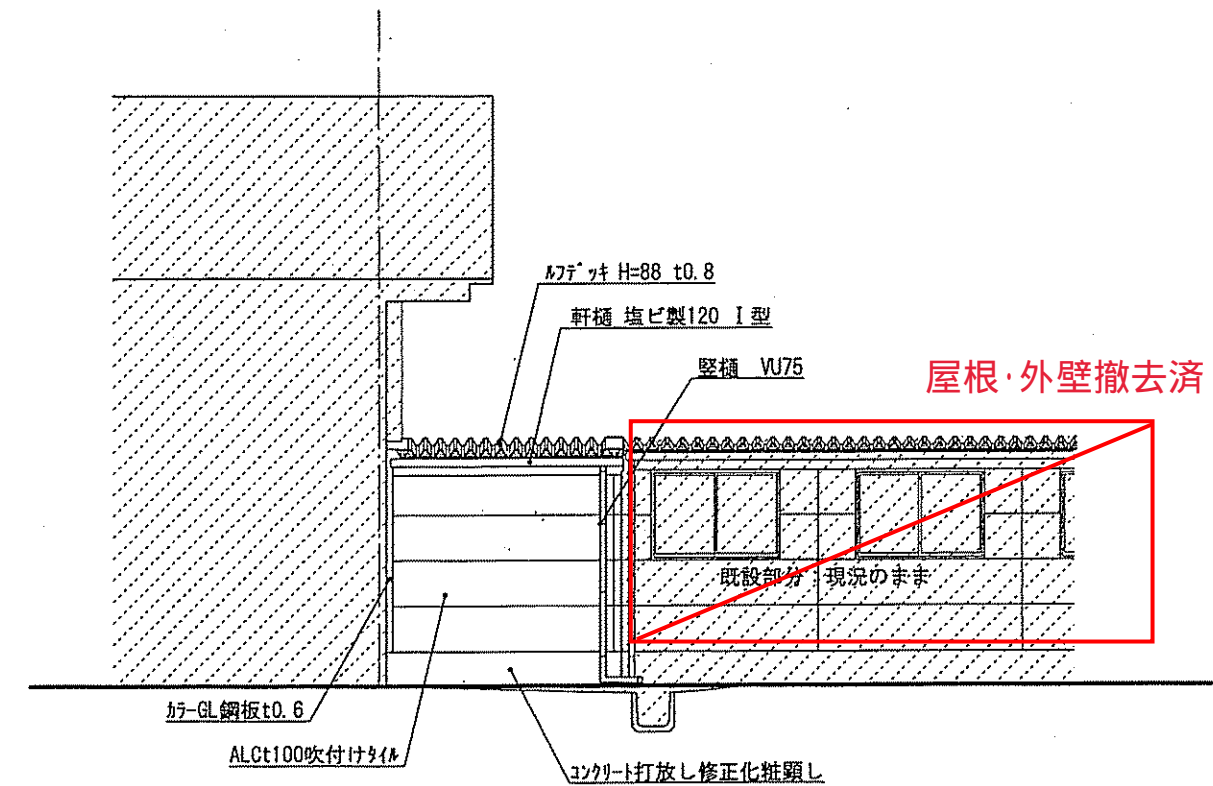
図番 10 / 26

日付 2005 (H17). 5

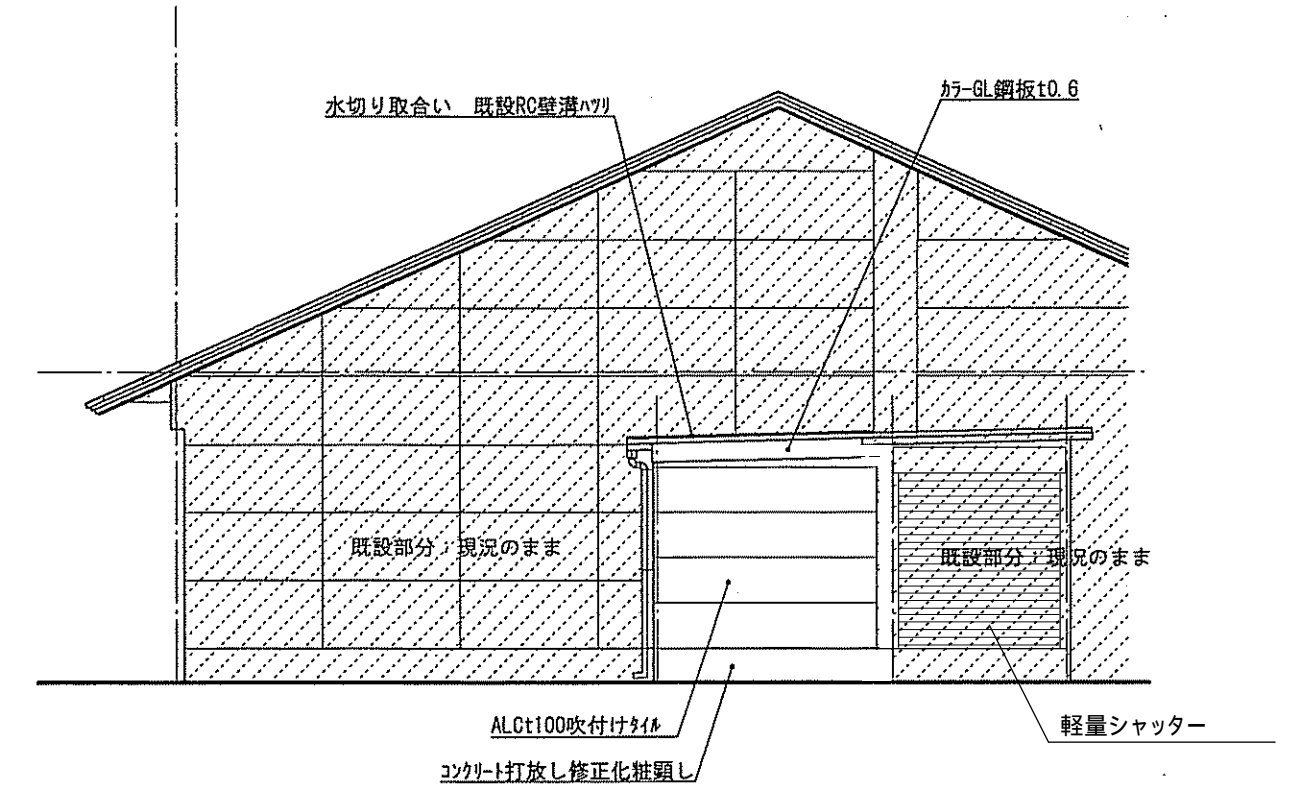




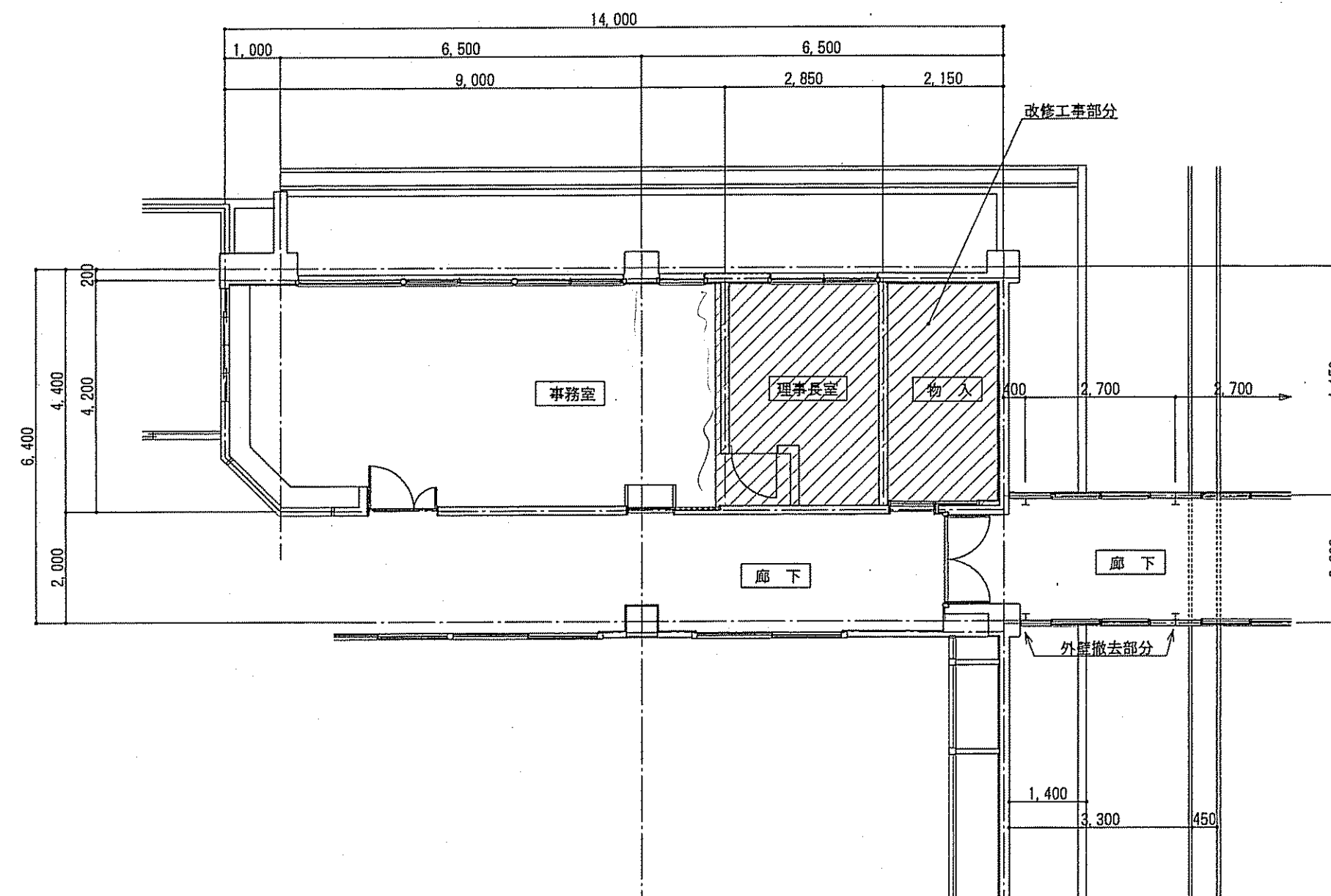
現況 南立面図 S=1/100



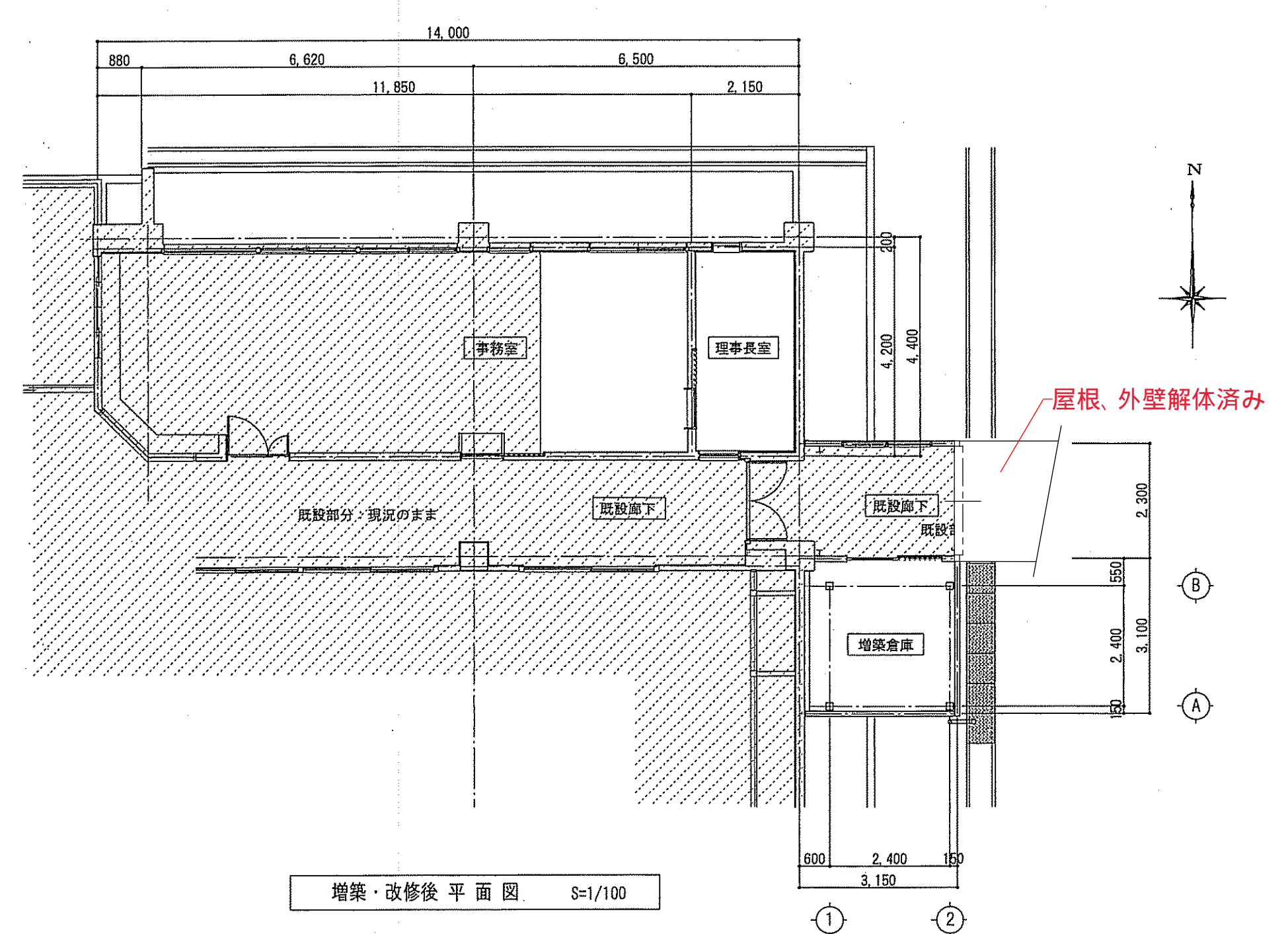
増築後 南立面図 S=1/100



増築後 東立面図 S=1/100



現況 平面図 S=1/100



増築・改修後 平面図 S=1/100



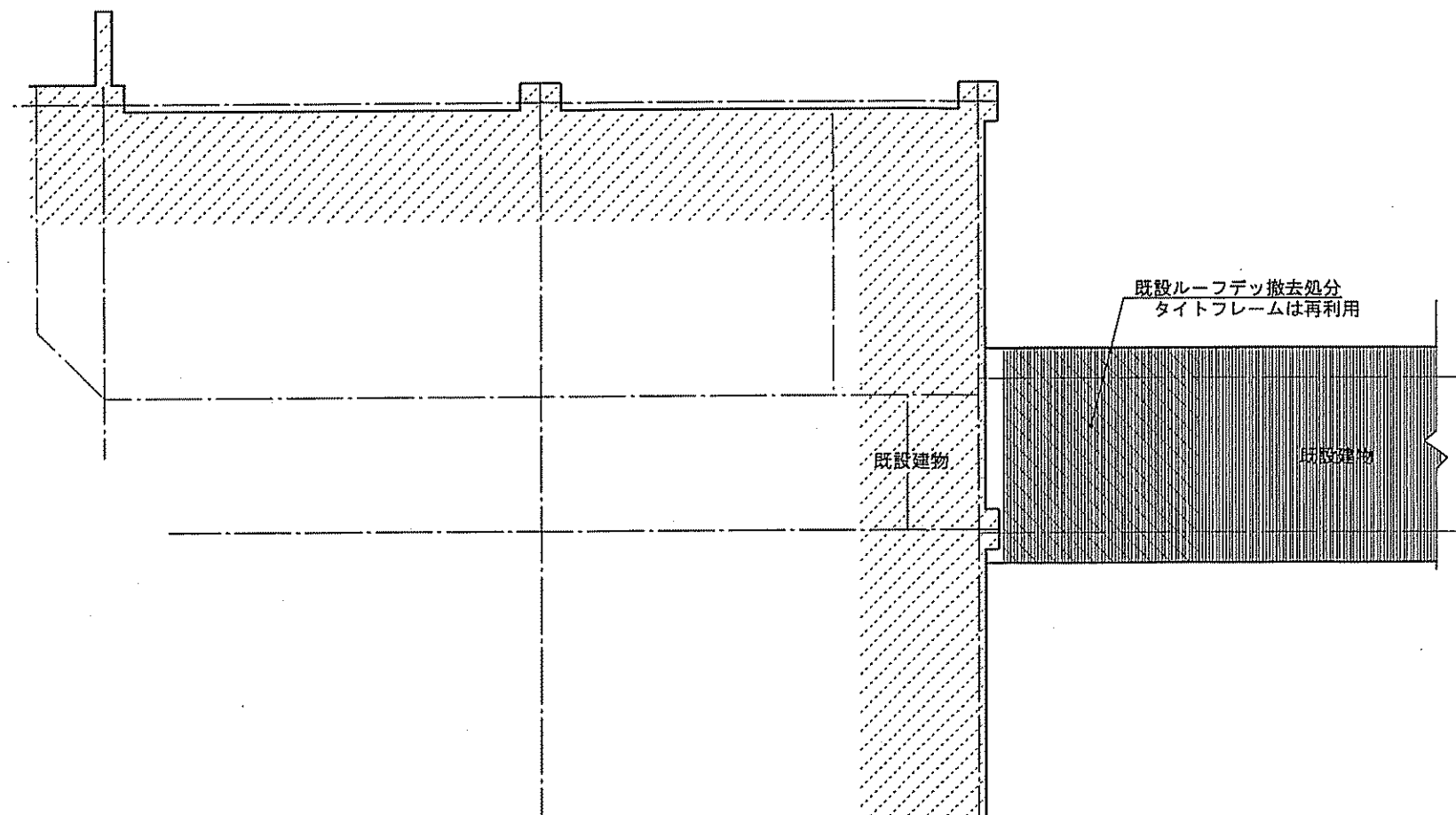
高山設計  
設計・構造・監理  
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (N) 第1519号

〒526-0113 滋賀県東浅井郡びわ町南浜818  
Tel 0749-72-3357  
一級建築士登録第220934号 高山 高広

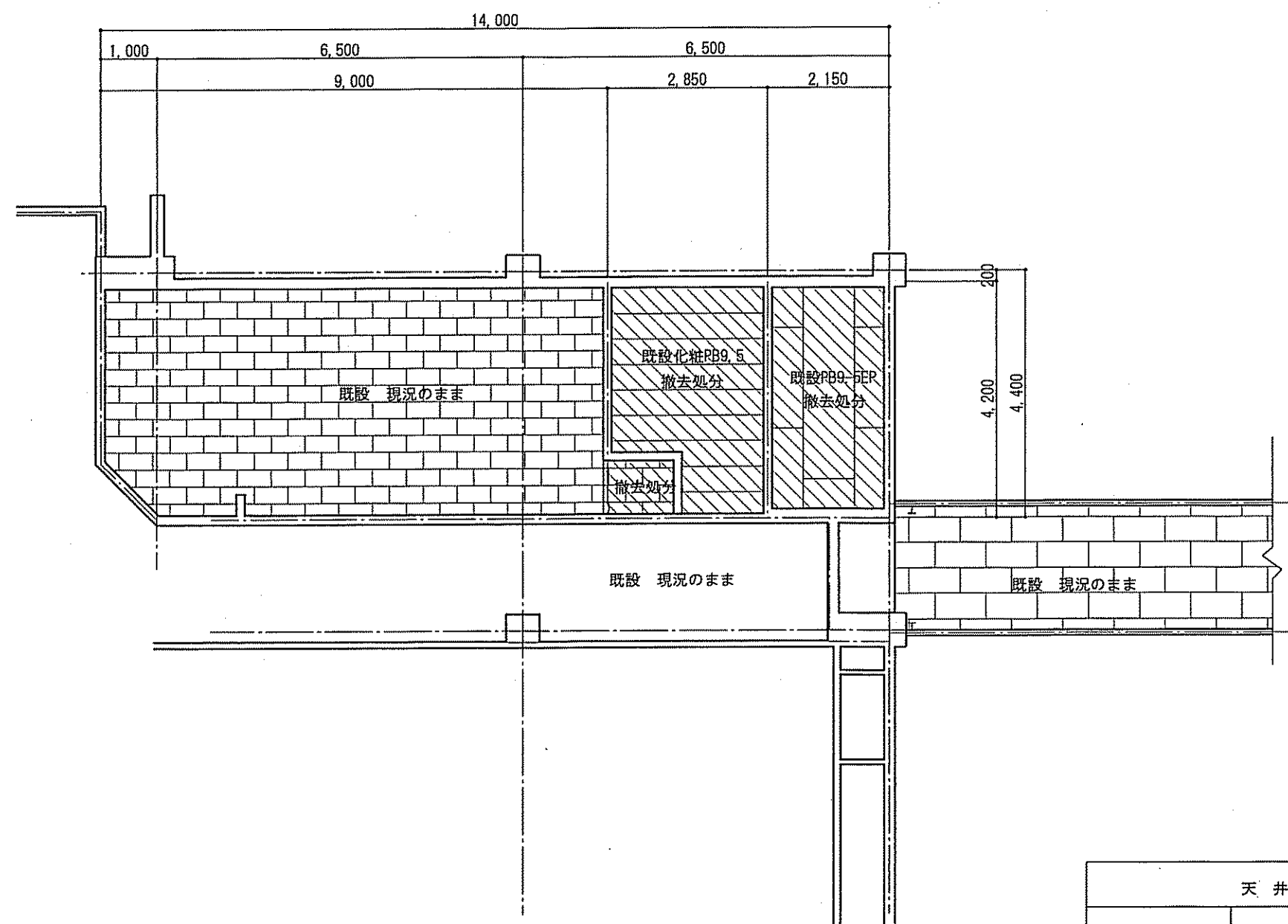
工事名称 びわ町老人福祉センター改修工事  
図面名称 平面図・立面図

図番 11 / 26  
縮尺 1/100  
日付 2005 (H17). 5



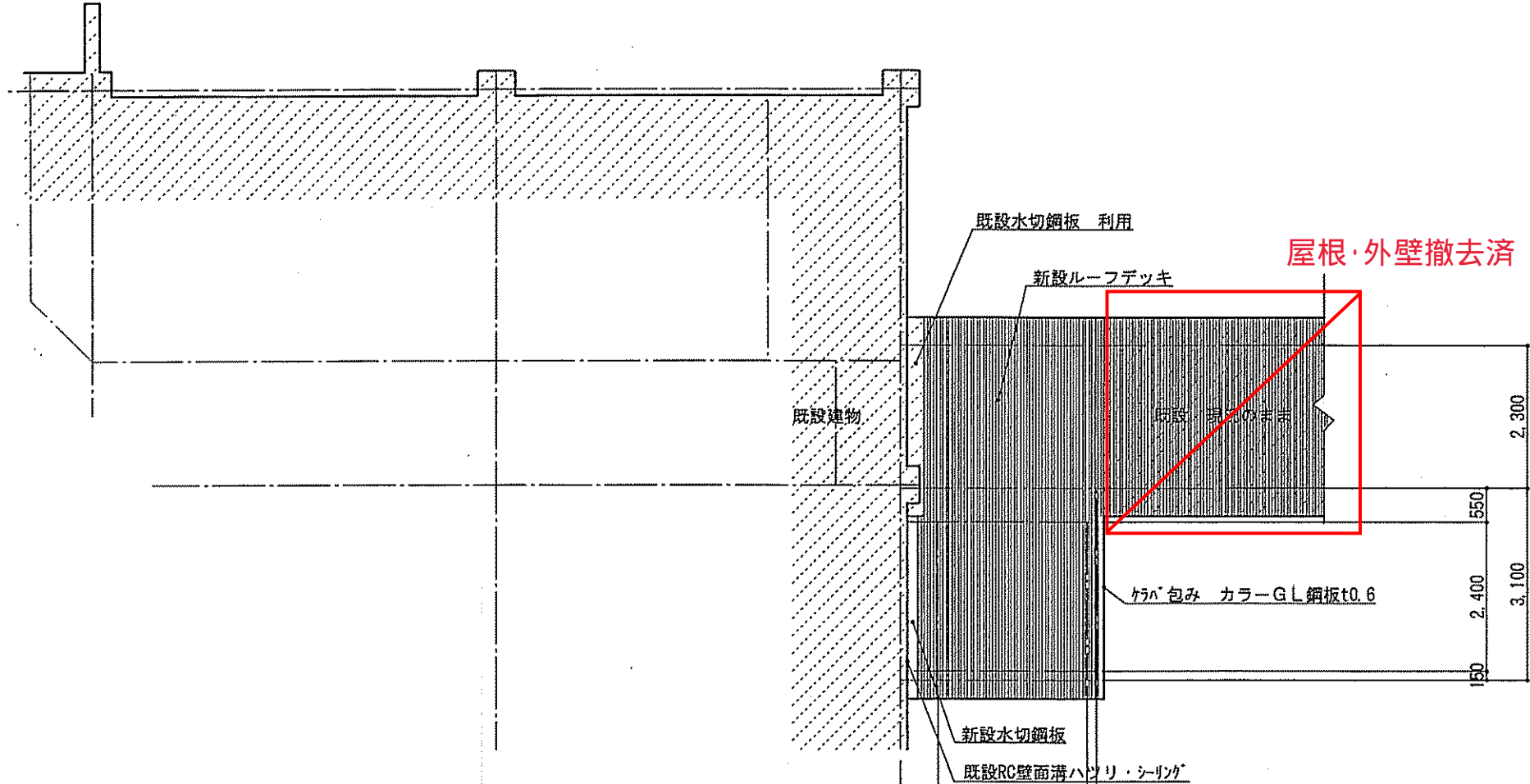


現況 屋根伏図 S=1/100

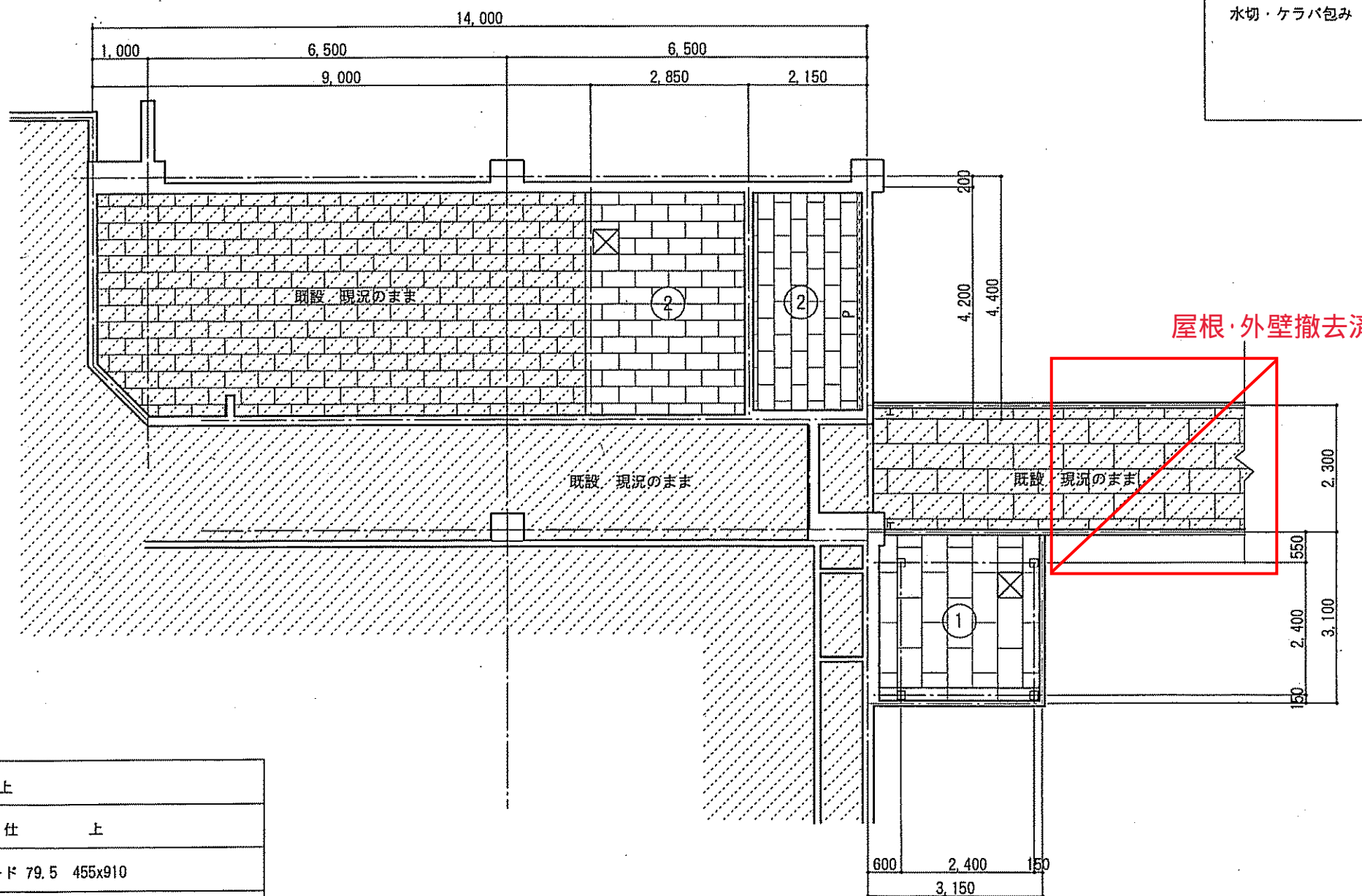


現況 天井伏図 S=1/100

天井仕上	
符号	仕上
①	化粧石膏ボード 79.5 455x910
②	PBt9.5下地ロックウール吸音板t9貼
-----P-----	ビクチャーレール フックφ300
⊗	天井点検口 アルミ製枠450x450
▨	既存天井撤去処分(下地共)を示す
▧	既存天井現況のまますを示す



増築・改修後 屋根伏図 S=1/100



増築・改修後 天井伏図 S=1/100

屋根・外壁撤去済

屋根・外壁撤去済

屋根仕様
ルーフデッキ カラー鋼板t0.8 H=88
裏面 スーパーフェルトンt5.0貼
換気面戸
水切・ケラバ包み カラーG.L.鋼板t0.6



高山設計

一般建築士事務所 滋賀県知事登録 (H) 第1519号

〒526-0113 滋賀県東浜郡びわ湖南浜818

Tel 0749-72-3357

一般建築士登録第220934号 高山 高 広

工事名称

びわ町老人福祉センター改修工事

図面名称

屋根伏図・天井伏図

縮尺

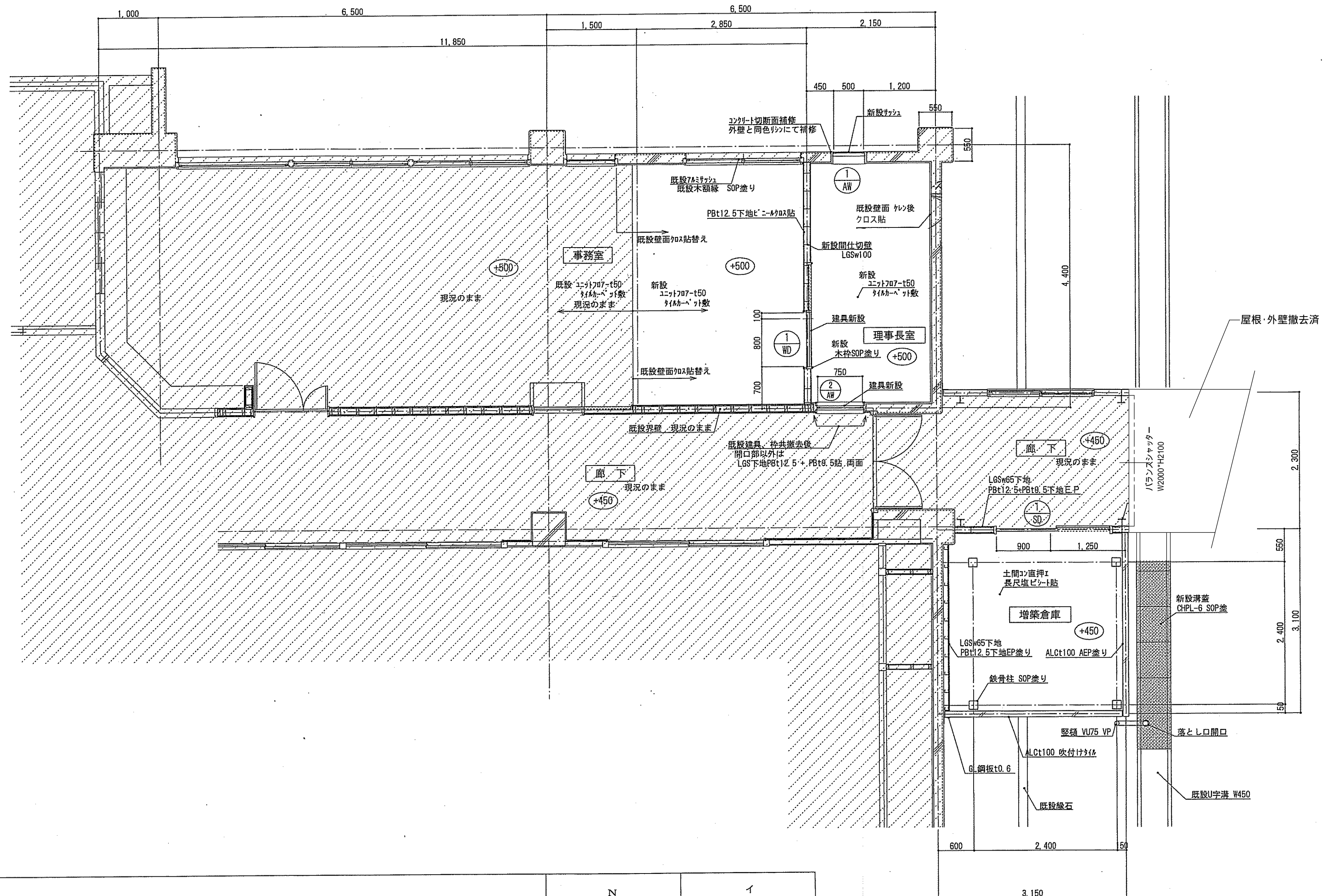
1/100

図番

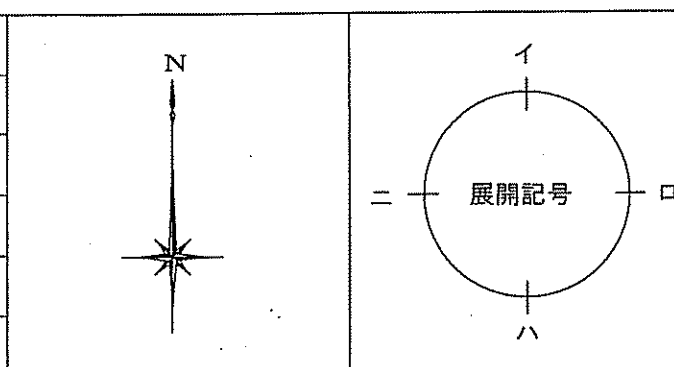
12 / 26

日付

2005(H17). 5



凡例		
	ALCt100 (新設)	(+200) GLからの床高
	LGS W65, W100 (新設)	(AW) 建具符号
	既設壁 (RC造)	
	既設壁 (木間仕切)	



高山設計

設計・構造・監理 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (特) 第1519号

〒526-0113 滋賀県東浅井郡びわ町南浜818

Tel 0749-72-3357

一級建築士登録第220834号 高山 高広

工事名称

びわ町老人福祉センター改修工事

図面名称

平面詳細図

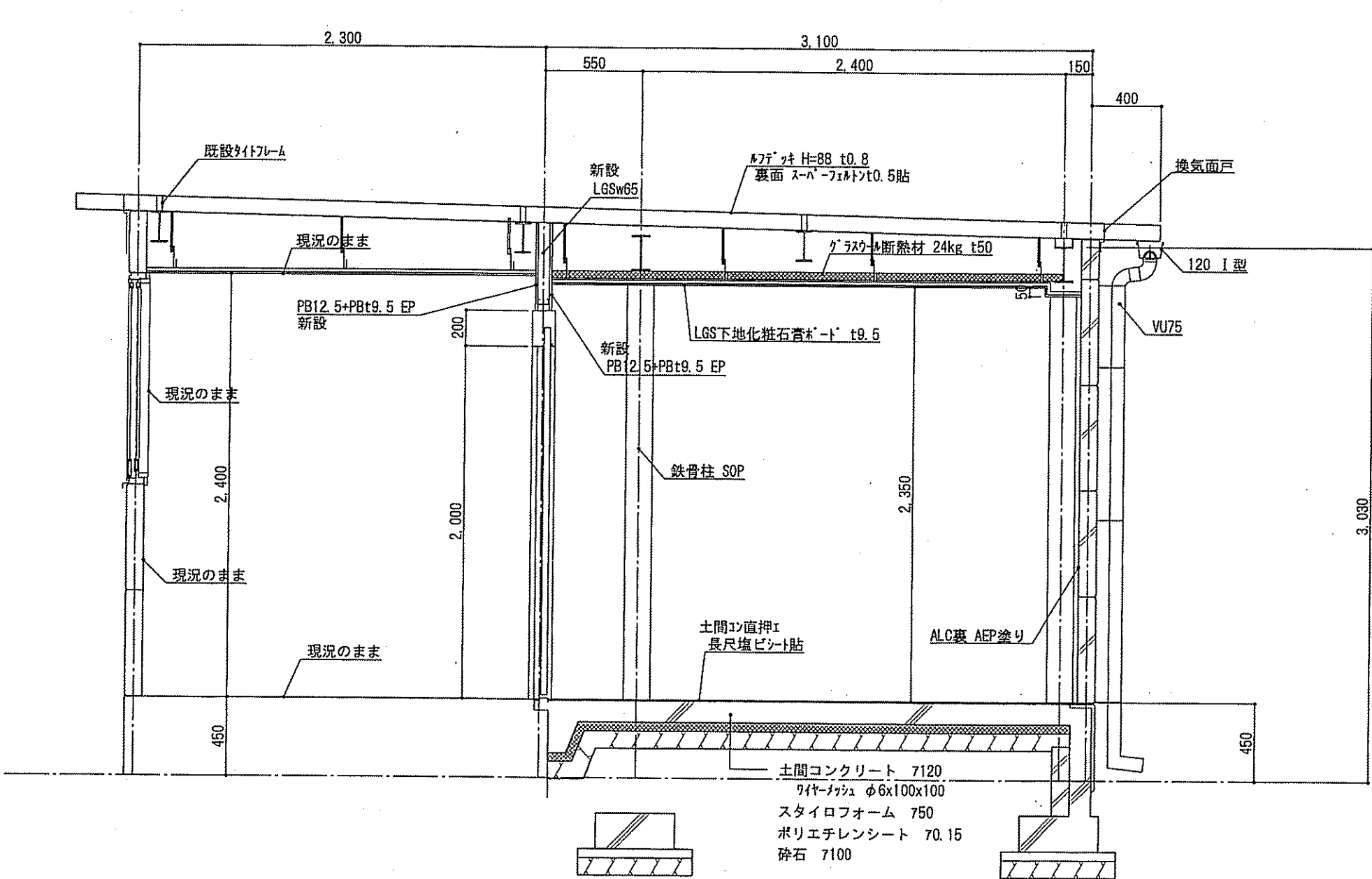
縮尺 1/50

図番 13 / 26

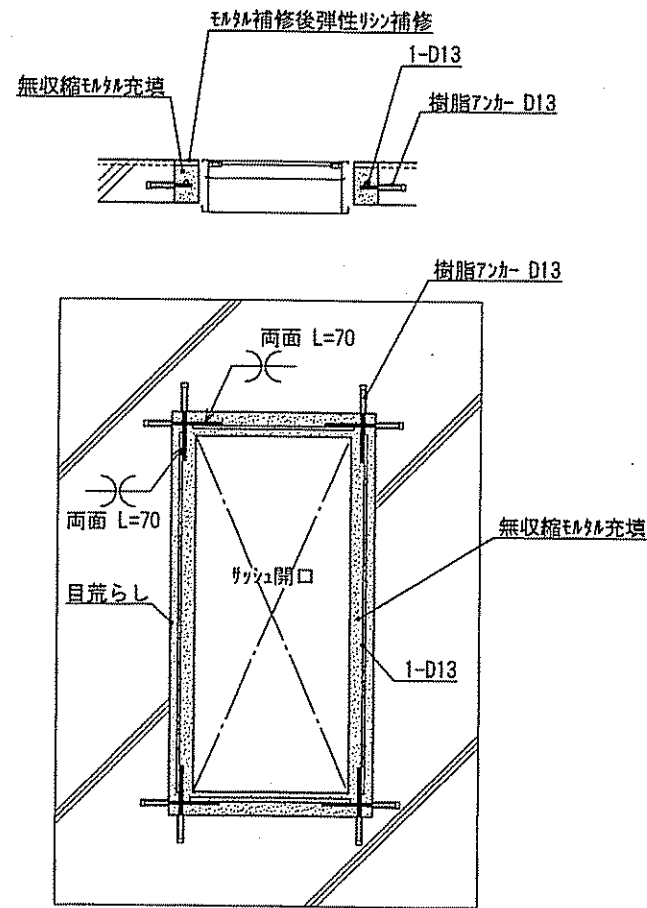
日付 2005 (H17). 5



記号 名称	1 AD 片面戸袋付きスチールハンガー戸	1 AW 堅すべり出し窓	2 AW 嵌め殺し窓	1 WD 片引戸
姿 図				
室 名	物置	理事長室	理事長室	理事長室
数 量	1	1	1	1
仕上 材質	化粧鋼板 t0.5 見込135	アルミ カラー R C同面 見込70	アルミ カラー 見込70	メラミン化粧合板フラッシュ戸 見込30
ガラス	F-4	FL-5	FL-5	F-4 木枠 SOP
金 物	SUSドアハンドル SUS番指	カムラッチハンドル SUS網戸	アルミアングル	ガラリ戸車
備 考	標準金物一式 本締め錠	アルミ額縁、附属金物一式	飛散防止フィルム貼 (乳白色)	引手 松下電工 XMJ571R3同等品



増築倉庫矩計図 S1/30



事務所窓開口補強詳細



高山設計

設計・構造・監理

一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (甲) 第1519号

〒526-0113 滋賀県東浅井郡びわ町南浜818

Tel 0749-72-3357

一級建築士登録第220834号 高山 高 広

工事名称

びわ町老人福祉センター改修工事

図面名称

矩計図・建具リスト

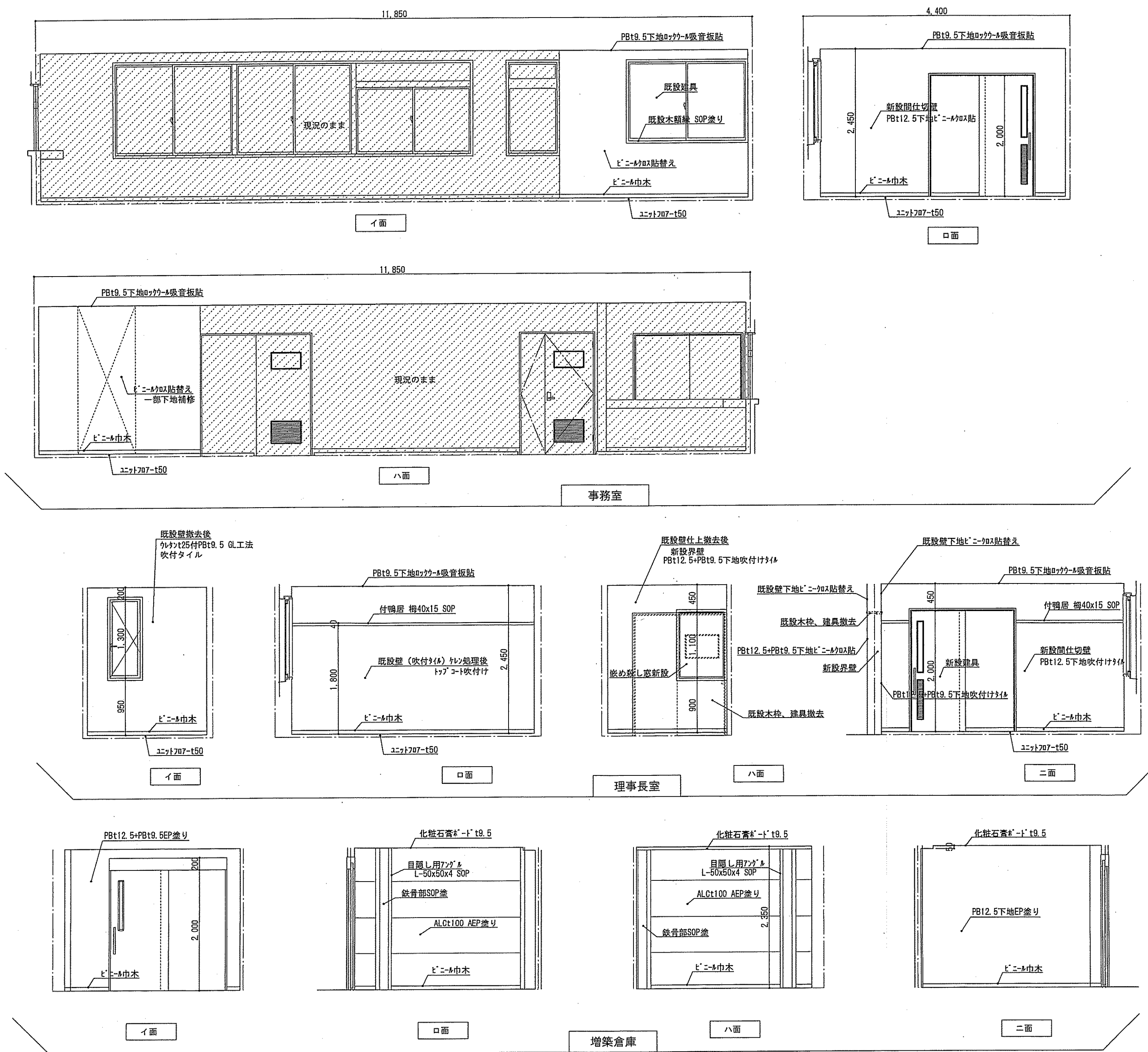
縮尺 1/30

図番

14 / 26

日付

2005(H17). 5



高山設計

一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (昭) 第1519号

〒526-0113 滋賀県東近江郡びわ湖南浜818

Tel 0749-72-3357

一級建築士登録第220934号 高山 高 広

工事名称

びわ町老人福祉センター改修工事

図面名称

展開図

図番

15 / 26

日付

2005 (H17). 5

縮尺

1/50

1. 一般共通事項

(1) 鉄筋の表示記号  
鉄筋の断面表示は下記の記号による。

呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29
表示記号	●	×	◇	●	○	⊖	⊗
最外径	11	14	18	21	25	28	33

(2) 鉄筋のかぶり厚さ  
① 一般の場合

構造部位	かぶり厚さ		かぶり厚さ
	一般	土(常時水)に接する部分	
床スラブ、屋根スラブ、非耐震壁	30	※30	50
柱、はり、耐震壁	40	※40	
基礎、基礎ばり、耐圧板	50	※50	70
地下外壁、擁壁	50	※2 40	70
煙突	50	50	

※1. 耐久性上有効な仕上げのある場合で、係員の承認を受けた時。  
※2. コンクリートの品質および施工方法に応じて、係員の承認を受けた時。  
注) 最小かぶり厚さは、上表の値-10mmとする。

1) 主筋にD29以上の異形鉄筋を使用する場合の最小かぶり厚さは主筋外端より1.5d以上とする。  
ただし土に接する部分は1.5d+20以上とする。

2) 床スラブのコンクリート仕上げ部分(床スラブの上面を、コンクリートのまま直接コナなどで仕上げる場合)の打増しは下記による。

そのまま床仕上げとなる場合		打増し15
敷物、強物などの下地の場合		a
防水層下地の場合		打増し10

(3) 鉄筋の折曲げ基準  
① 端部(フック形状)

曲げ角度	図	鉄筋の種類	内径(D)	余長(l)	備考
180°		SD295A(SD30A) SD295B(SD30B) SD345(SD35)	D16以下 3d以上 D19 D38 4d以上	4d以上	柱及び梁(基礎梁を除く)の出隅部分の隅筋の主筋
		SD390(SD40)	5d以上		
		SD295A(SD30A) SD295B(SD30B) SD345(SD35)	D16以下 3d以上 D19 D38 4d以上	6d以上 ※1 4d以上	フープ・スターラップ・壁筋端部等に使用のD10, D13
135°		SD295A(SD30A) SD295B(SD30B) SD345(SD35)	D16以下 3d以上 D19 D38 4d以上	8d以上 ※1 4d以上	U字形スターラップのキヤッチャイ・幅止め筋・スラブ筋の末端部
		SD390(SD40)	5d以上		
		SD295A(SD30A) SD295B(SD30B) SD345(SD35)	D16以下 3d以上 D19 D38 4d以上	8d以上 ※1 4d以上	
90°		SD295A(SD30A) SD295B(SD30B) SD345(SD35)	D16以下 3d以上 D19 D38 4d以上	8d以上 ※1 4d以上	
		SD390(SD40)	5d以上		

d: 呼び名に用いた数値  
※1片持スラブの上端筋の先端、壁の自由端に用いる鉄筋の数値  
※2柱、梁の出隅部分とは、下記の場合をいう。

●印は出隅部鉄筋を示す。

② 上表以外の鉄筋末端部に必ずフックをつける箇所

- 1) 最上階の柱頭で大ばり内にし、②定着長がとれない場合。
- 2) くい基礎のベース筋の先端
- 3) 片持ちばり、片持ちスラブの上筋の先端
- 4) その他設計図に特記ある場所

③ 中間部(バンド形状)

曲げ角度	図	使用箇所	鉄筋の種類	鉄筋径	内径(D)
90°以下		フープ・スターラップ・スパイラル筋	SD295A(SD30A) SD295B(SD30B) SD345(SD35)	D16以下 D19以上	3d以上 4d以上
		スラブ筋・壁筋	SD295A(SD30A) SD295B(SD30B) SD345(SD35) SD390(SD40)	D16以下 D19~D25 D29~D38	4d以上 6d以上 8d以上
		同上	上記以外	SD295A(SD30A) SD295B(SD30B) SD345(SD35) SD390(SD40)	D16以下 D19~D25 D29~D38

(4) 鉄筋の最小間隔とあき  
鉄筋相互のあきは下記のうち最大のものとする。

- 1) a ≧ 25 mm
- 2) a = l/25 x 粗骨材最大寸法
- 3) a = l/5 d (d: 鉄筋の呼び名の数値)

鉄筋の間隔 P = 4d1 (d1: 最外径)

あきの最小値——粗骨材最大寸法25の場合を示し( )内は20の場合を示す。

呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29
あきの最小値	31 (25)	31 (25)	31 (25)	31 (29)	33	38	44

(5) 鉄筋の継手基準  
① 重ね継手(D10~D16)

(注) フックなしの場合も同様とする。  
径の異なる鉄筋の場合には細い方のdによる。

② あき重ね継手(スラブ筋、壁筋のみ)

0.2L1 かつ 50mm以下

③ ガス圧接継手(D19~D32)

(注) ガス圧接後の曲げ加工は行なわない。

(6) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計 基準強度の範囲 (kg/cm <sup>2</sup> )	重ね継手 長さ (L)	定着の長さ		下筋筋(L3)
			一般 (L2)	小梁・屋根・床スラブ	
SD295A(SD30A)	360 ≧ f <sub>c</sub> ≧ 270	35d 又は 25d フック付	30d 又は 20d フック付		
SD295B(SD30B)	270 > f <sub>c</sub> ≧ 210 270 ≧ f <sub>c</sub> ≧ 210	40d 又は 30d フック付	35d 又は 25d フック付		
SD345(SD35)	210 > f <sub>c</sub> ≧ 135 210 ≧ f <sub>c</sub> ≧ 135	45d 又は 35d フック付	40d 又は 30d フック付	25d 又は 15d フック付	10d かつ 150mm以上
SD390(SD40)	360 ≧ f <sub>c</sub> ≧ 270 270 > f <sub>c</sub> ≧ 210 270 ≧ f <sub>c</sub> ≧ 210	40d 又は 30d フック付	35d 又は 25d フック付		

(注) 1. 末端のフックは、定着及び重ね継手の長さに含まない。

(7) 溶接金網の定着と重ね継手  
① 定着

150以上  
50以上

② 重ね手  
<応力伝達継手>

L ≧ 鉄線間隔 かつ L ≧ 150 mm

<ひび割れ防止用メッシュの場合>

L ≧ 鉄線間隔 かつ L ≧ 100 mm

⑧ その他  
① 打ち継ぎ

- a. 打ち継ぎ部の位置・形状などは特記による。特記のない場合、打ち継ぎ部は、梁、床スラブおよび屋根スラブでは、その中央付近に、柱および壁では、床スラブ、基礎の上端または梁の下端に設け、水平または垂直とする。
- b. 打ち継ぎ部は、レイタンスおよびぜい弱なコンクリートを取り除き、健全なコンクリートを露出させ、コンクリート打ち込み前に十分な水洗しを行う。

② コンクリート収縮(誘発)目地、他

- a. 外壁収縮(誘発)目地: 縦目地3.0mピッチ程度に設ける。
- b. 打ち継ぎ目地: 各階に設ける。その他は収縮目地に同じ。
- c. 躯体の目地: 収縮目地及び内外躯体目地は同位置とする。
- d. 壁及びスラブ内の電気配管: 埋め込み配管は極力少なくし、かつダブル配筋の内側へ配管のこと。

③ コンクリートの打ち増し

- a. 外壁の打ち増し: 外壁を形成する柱・梁・壁は、外部側に厚さ(20)mmの打ち増しとする。
- b. 床モノリシック工法の打ち増し: ( ) mmとする。

(9) 鉄筋の余長、重ね継手長さ及び定着長さの換算表 (単位: mm)

鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38
4d	40	60	70	80	90	100	120	130	140	160
5d	50	70	80	100	110	130	150	160	180	190
6d	60	80	100	120	140	150	180	200	210	230
8d	80	110	130	160	180	200	240	260	280	310
10d	100	130	160	190	220	250	290	320	350	380
15d	150	200	240	290	330	380	440	490	530	570
20d	200	260	320	380	440	500	580	640	700	760
25d	250	330	400	480	550	630	730	800	880	950
30d	300	390	480	570	660	750	870	960	1,050	1,140
35d	350	460	560	670	770	880	1,020	1,120	1,230	1,330
40d	400	520	640	760	880	1,000	1,160	1,280	1,400	1,520
45d	450	590	720	860	990	1,130	1,310	1,440	1,580	1,710

2. 杭

(1) 場所打コンクリート杭  
特記なき限り、下記に準ずる。

1. スペース FB-6x50 (平面上に4ヶ所以上) 3,000φ
2. 組立筋 D22-3,000φ
3. かぶり厚 130
4. 主筋の重ね継手およびフーチングへの定着長さは、40d 以上とする。
5. フープは正しく円形に加工し、片面 10d 以上のフレイググループアーク溶接にて接合する。

② 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

③ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

④ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑤ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑥ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑦ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑧ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑨ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑩ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑪ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑫ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑬ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑭ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑮ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑯ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑰ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑱ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑲ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

⑳ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉑ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉒ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉓ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉔ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉕ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉖ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉗ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉘ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉙ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉚ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉛ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉜ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉝ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉞ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㉟ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊱ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊲ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊳ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊴ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊵ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊶ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊷ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊸ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊹ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊺ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊻ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊼ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊽ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊾ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

㊿ 鋼管杭

- a. 杭頭が所定の位置に止まった場合
- b. 杭頭が所定の位置より深く止まった場合

3. 基礎

(1) 基礎スラブ筋の納まり

① 直接基礎

- a. 一般の場合
- b. 偏心する場合

② ベタ基礎

- a. ハンチなしの場合
- b. ハンチ付きの場合

③ 杭基礎

- a. 一般の場合
- b. 杭が2本となる場合

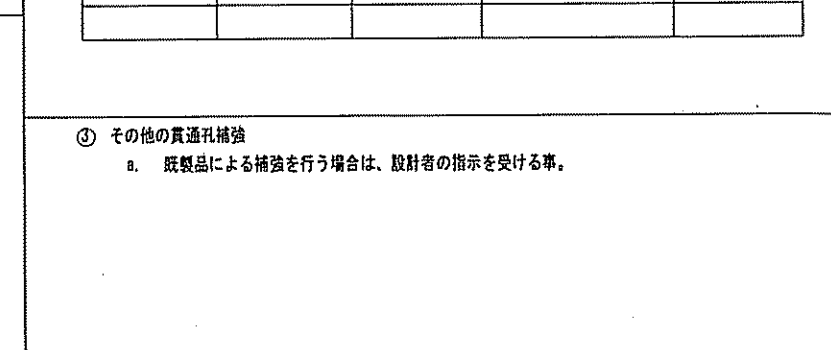
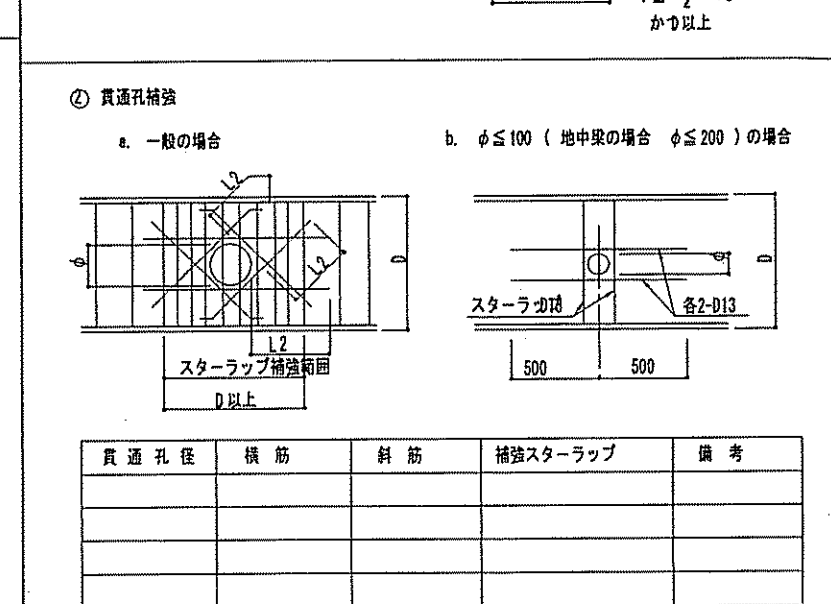
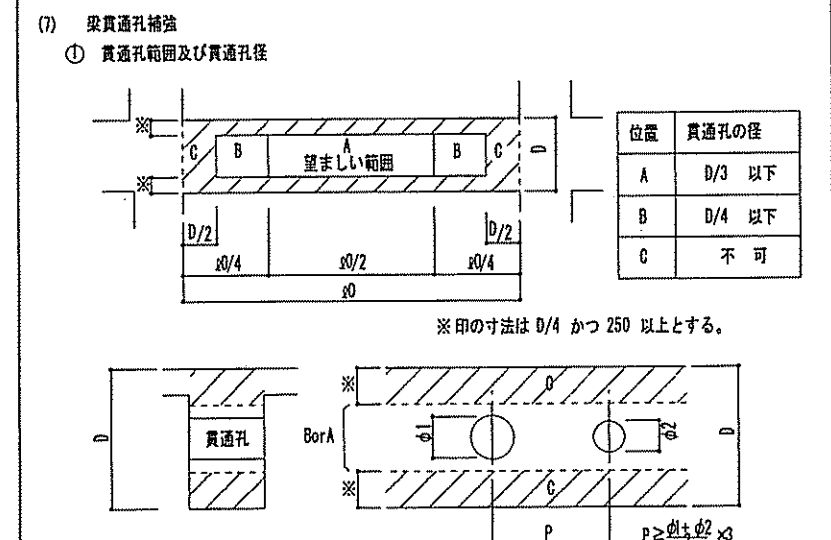
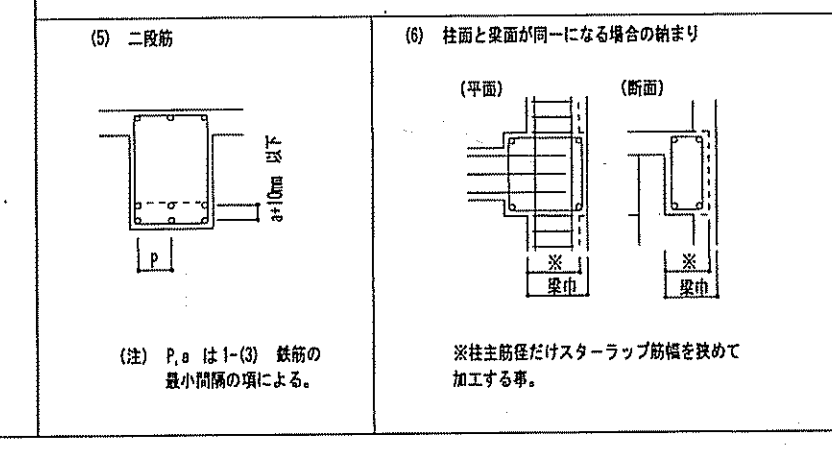
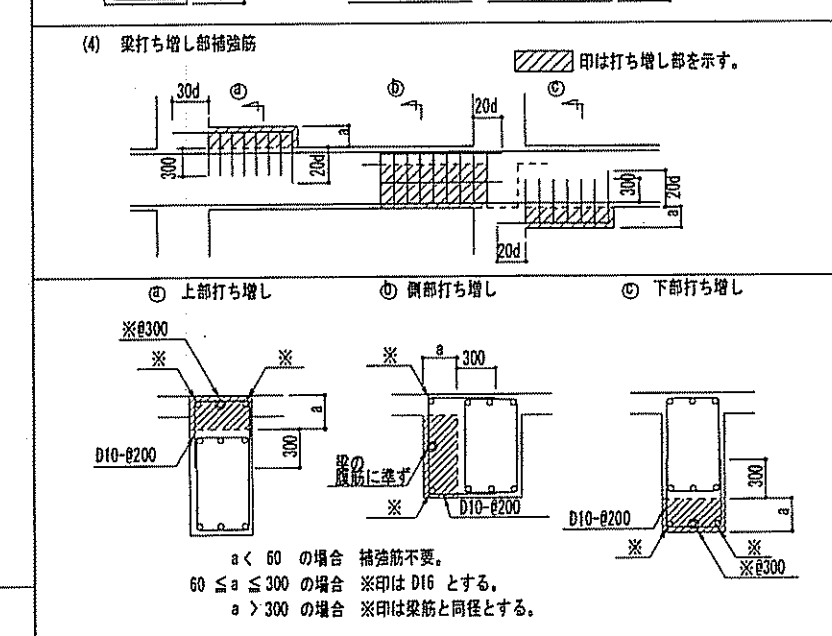
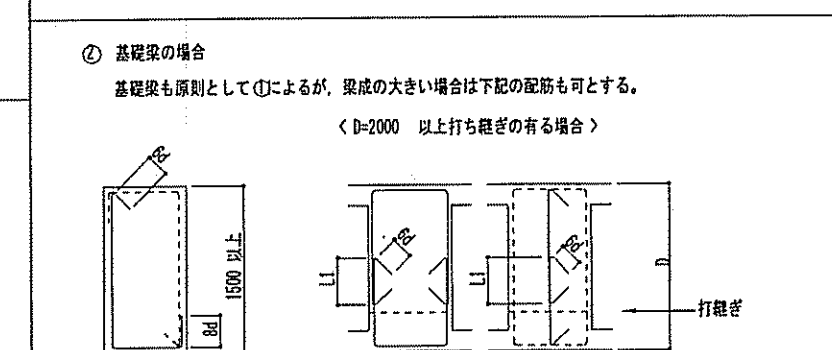
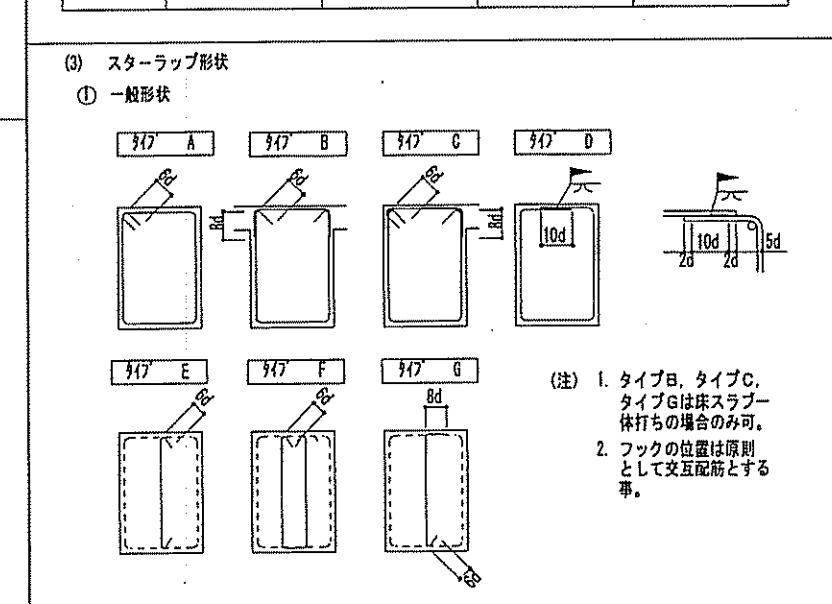
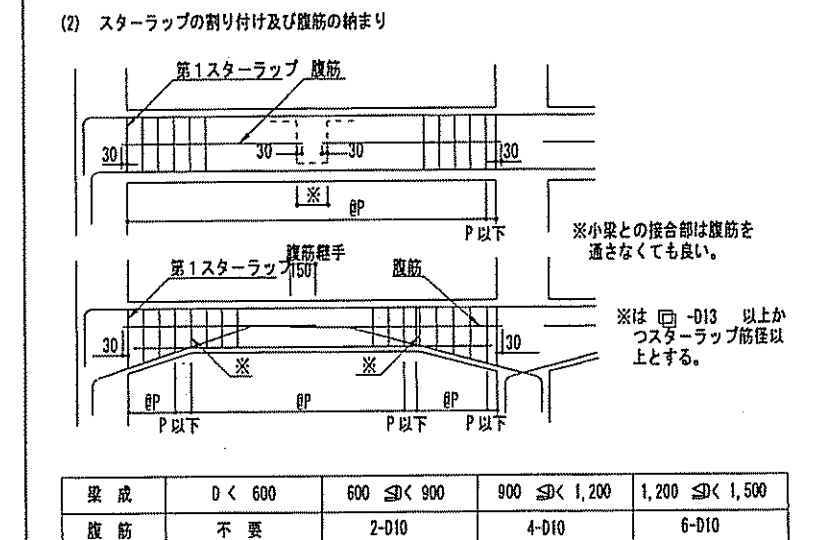
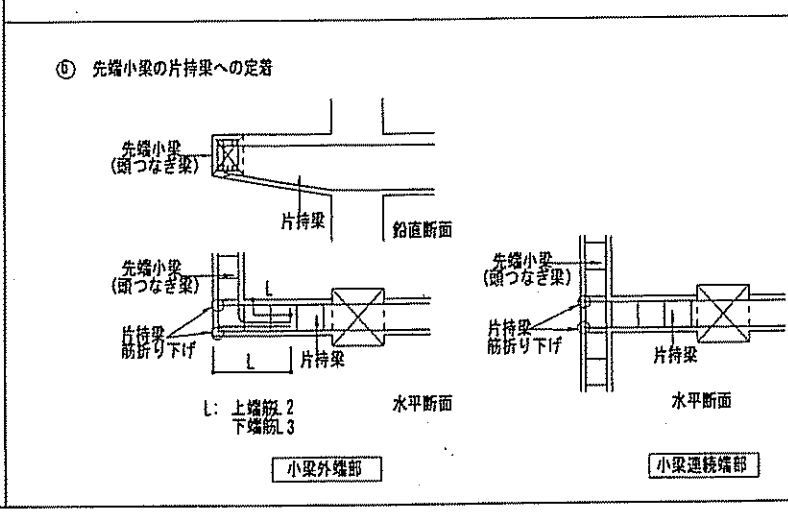
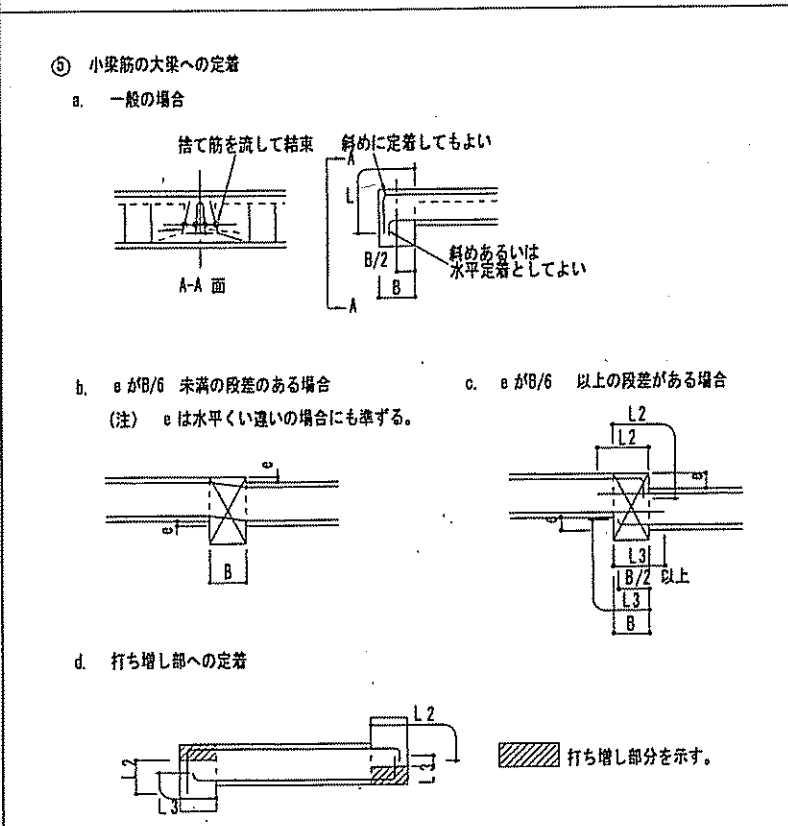
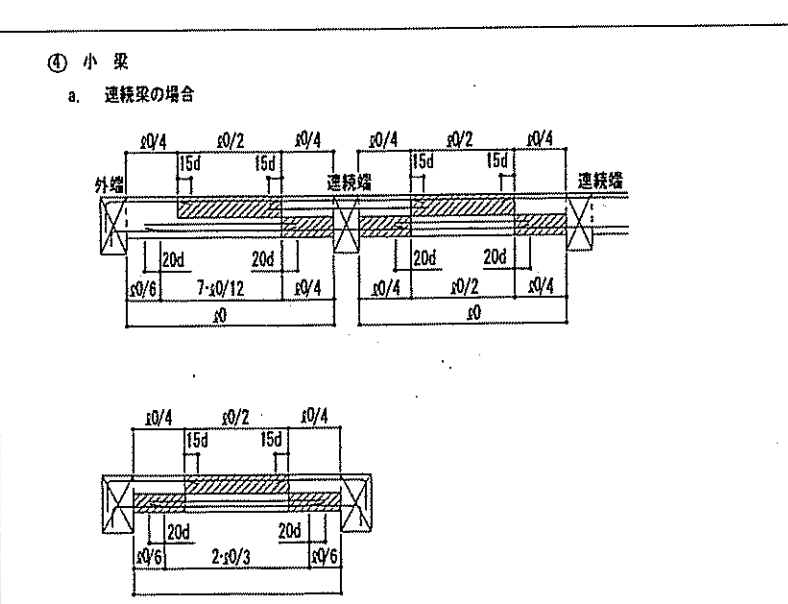
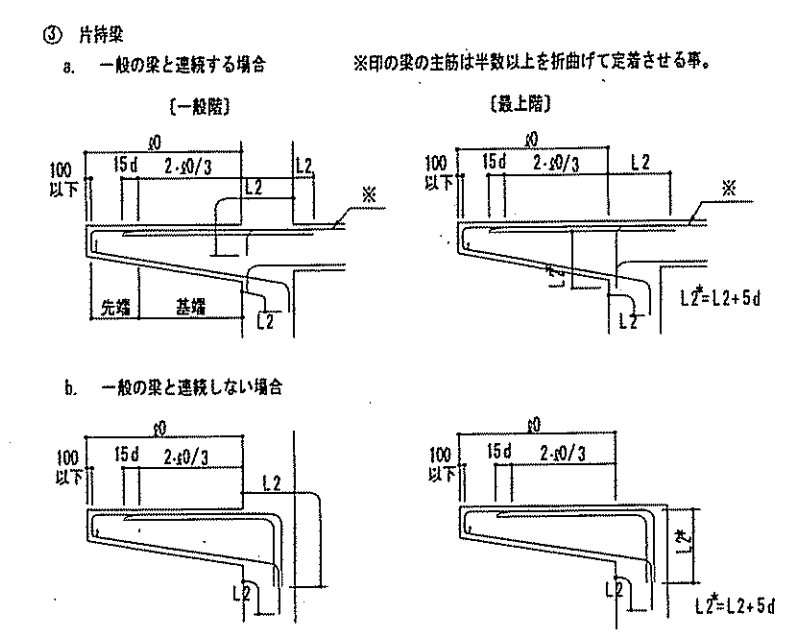
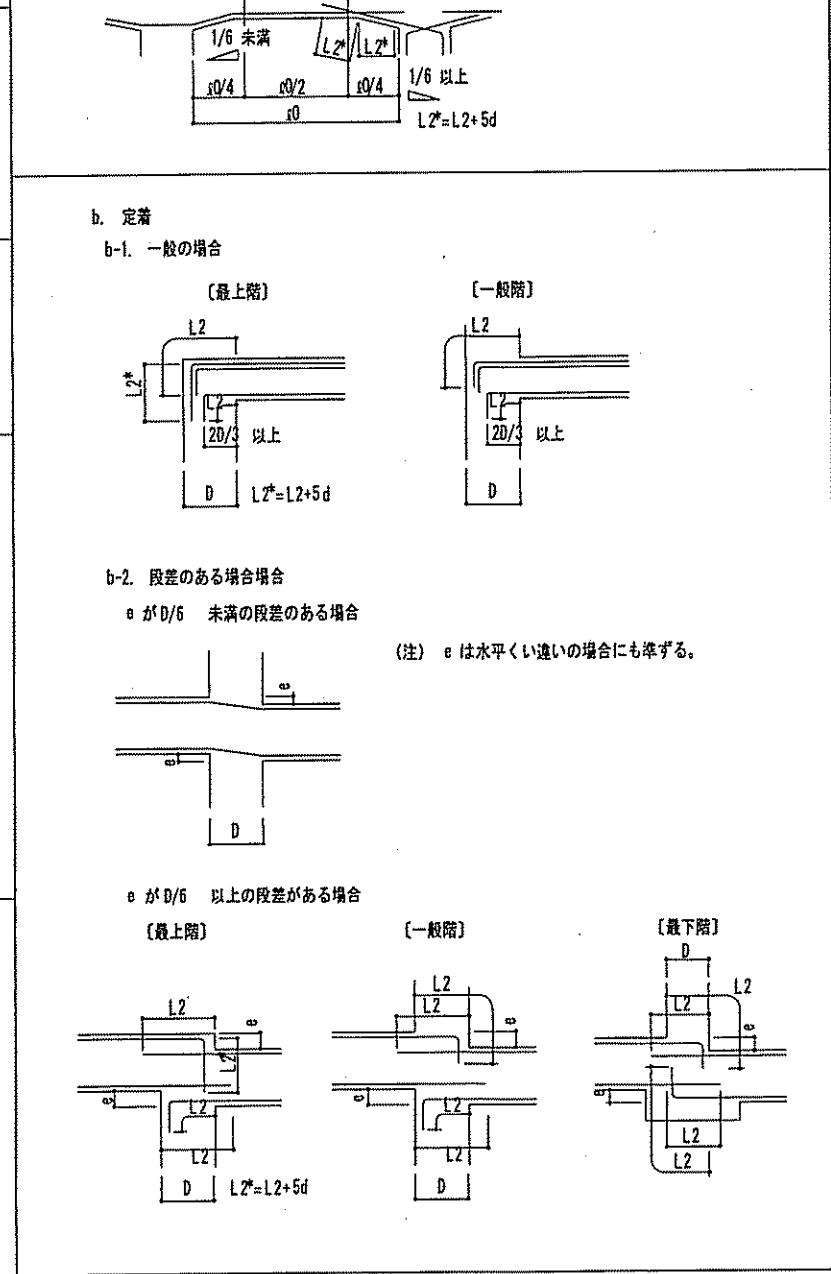
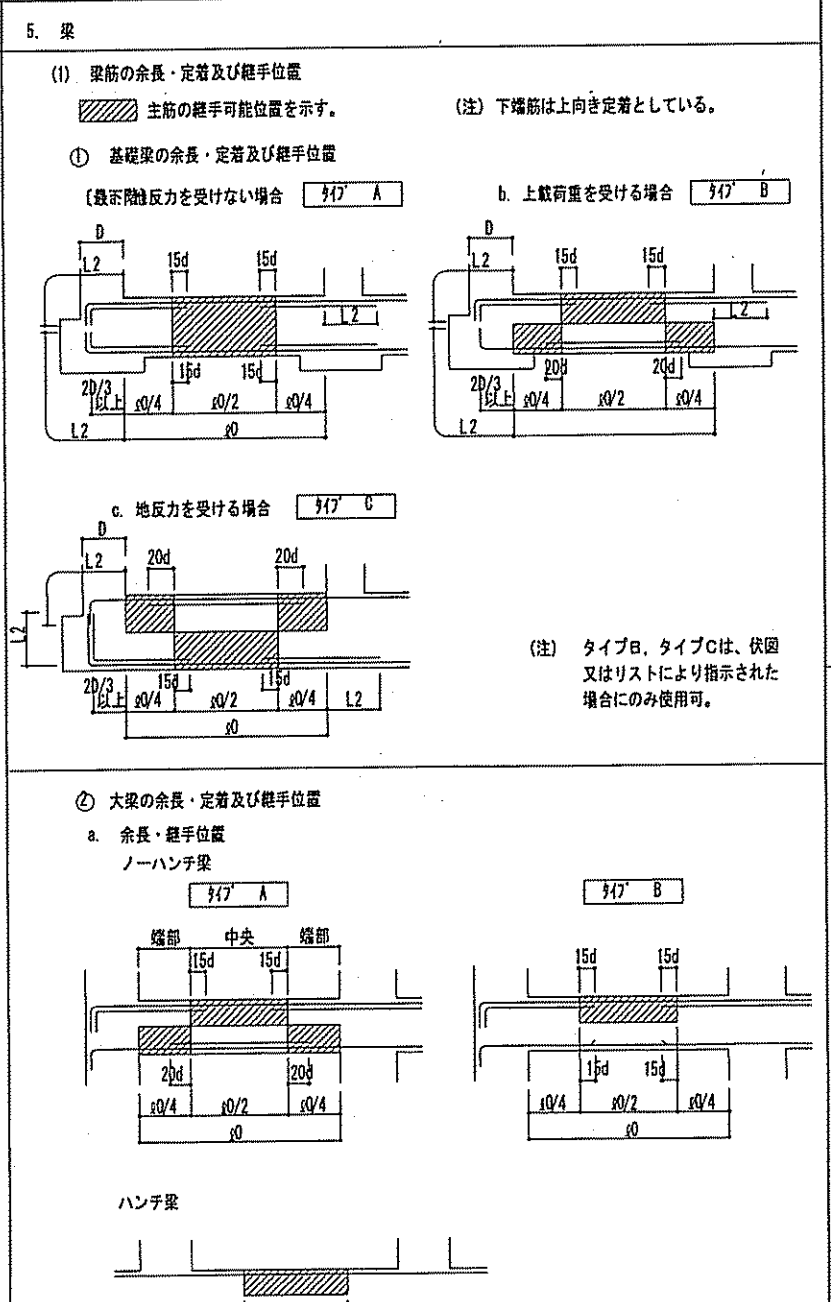
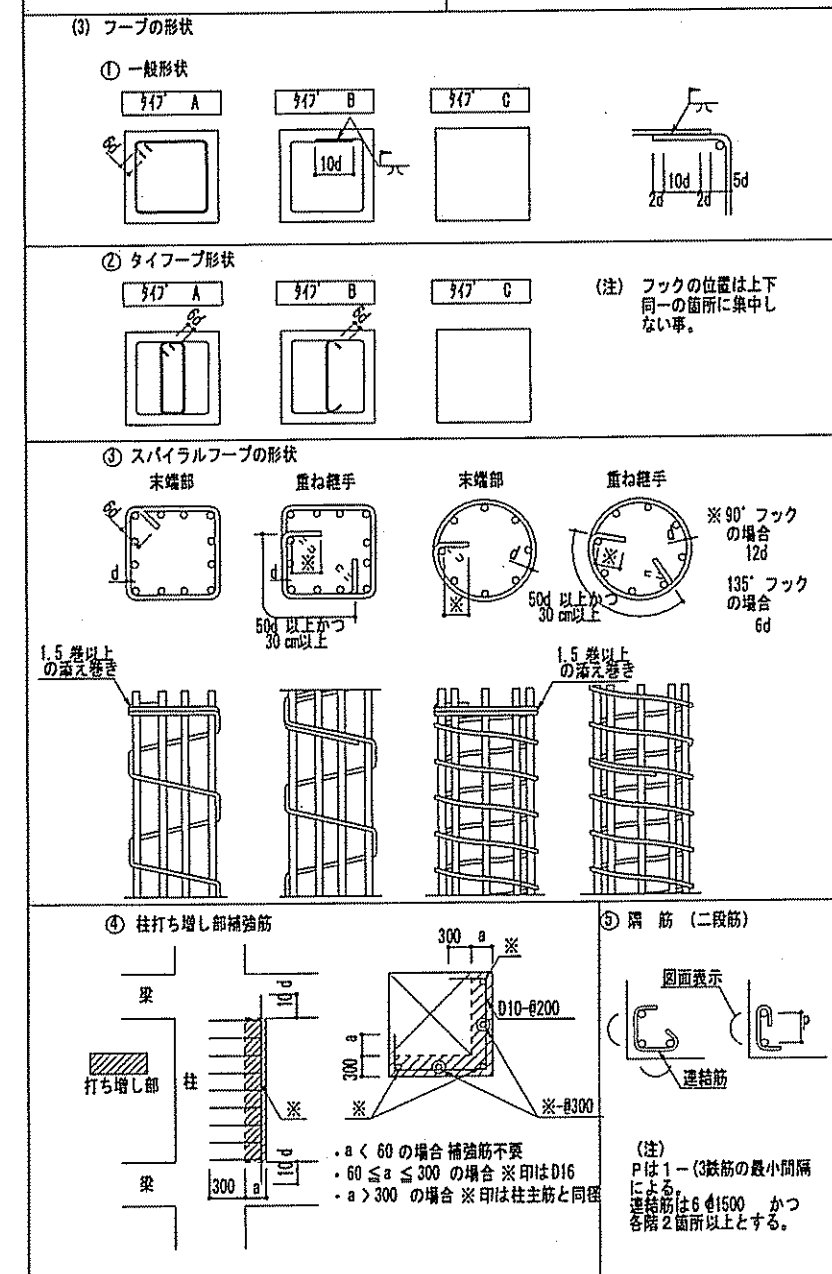
④ 偏心する場合

- a. 偏心する場合

(注) 柱コンクリート面とフーチング上端面の交点から2:1の勾配の中に杭が納まる場合の基礎

(2) 基礎と地中梁の納まり



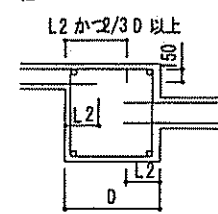


## 6. 壁

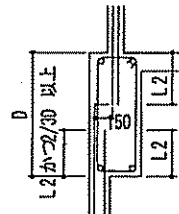
## (1) 壁筋の定着

## ① 柱・梁への定着

## a. 柱

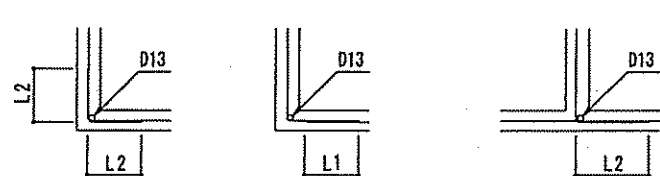


## b. 梁

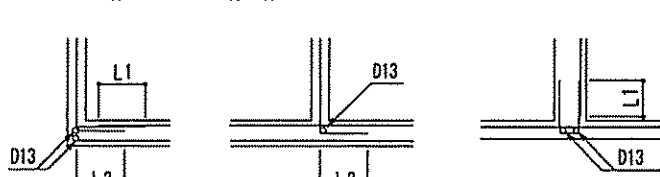


## ② 非耐力壁の隅角部、交差部の定着

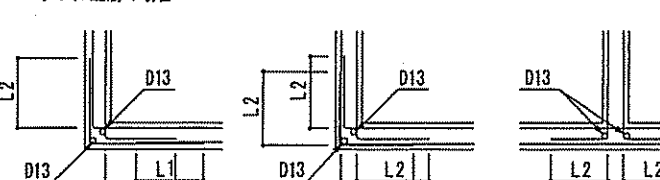
## a. シングル配筋の場合



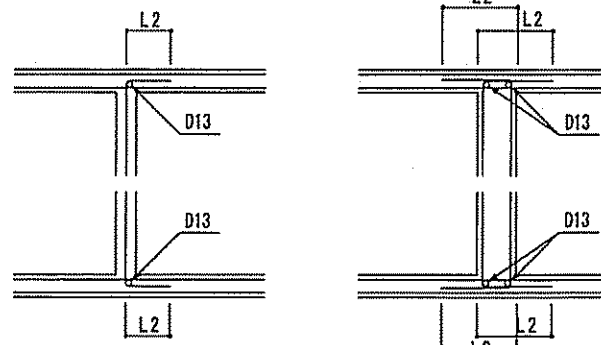
## b. ダブル配筋とシングル配筋の場合



## c. ダブル配筋の場合

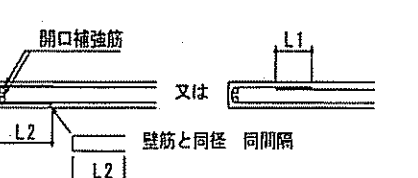


## ③ スラブへの定着



## ④ 壁端部の定着

## a. 耐力壁の場合

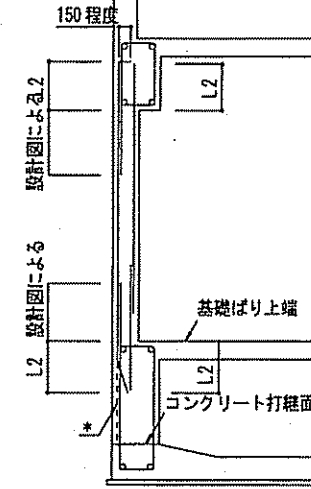


## b. 非耐力壁の場合



## ⑤ 地下外壁の定着及び継手位置

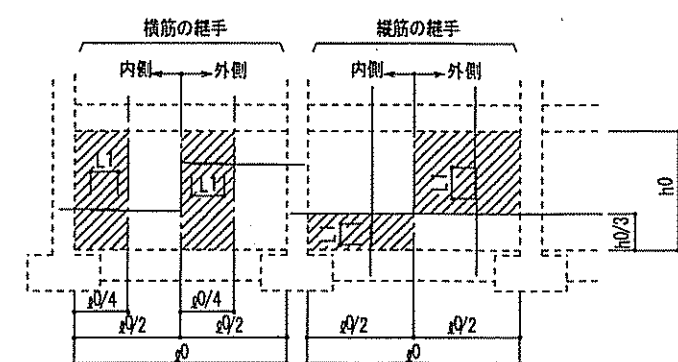
## a. 梁への定着



\* 地下外壁の外側鉄筋を地中ばりに定着する場合、定着長さは規定長さでよいが、約1mごとに耐圧スラブの上端まで下げて鉄筋位置を確保する。

## b. 地下外壁の継手位置

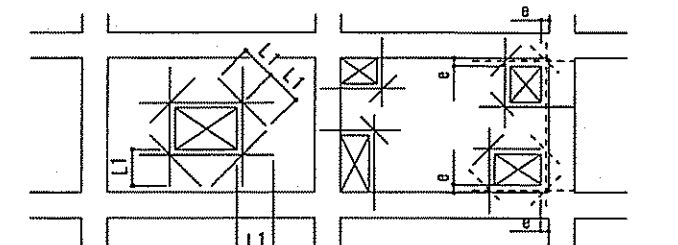
継手の位置を継手可能位置を示す



## (2) 壁開口補強

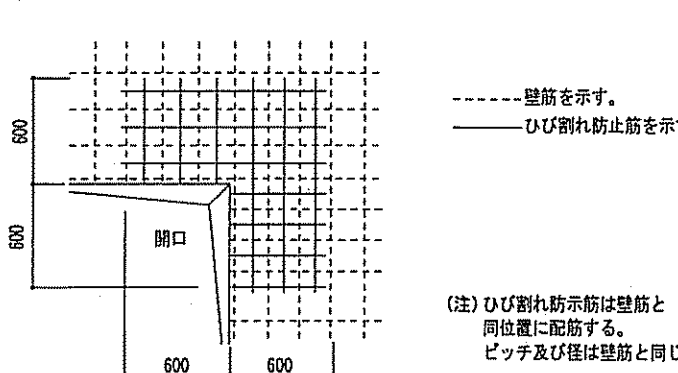
## ① 耐力壁の開口補強

(注) ひび割れ防止筋は別に配筋する事。



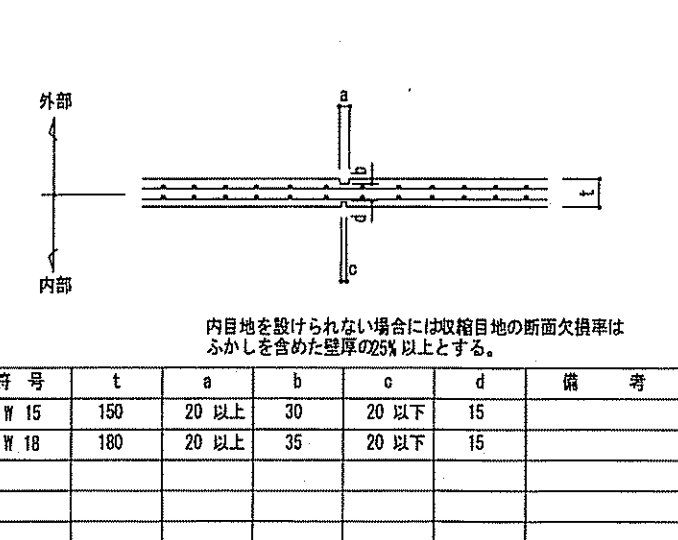
e ≤ 200 の場合  
破壊 (→) で示めた  
補強筋は不要

## ② ひび割れ防止筋



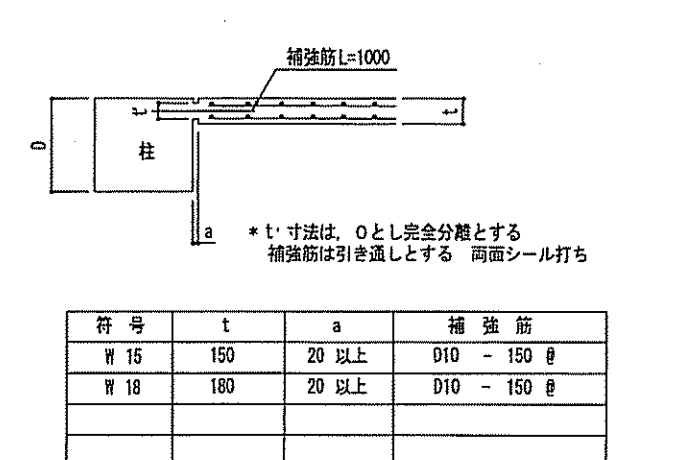
(注) ひび割れ防止筋は壁筋と  
同位置に配筋する。  
ピッチ及び径は壁筋と同じとする。

## (3) 外壁収縮 (誘発) 目地



内目地を設けられない場合には収縮目地の断面欠損率は  
ふかしを含めた壁厚の25%以上とする。

## (4) 構造目地



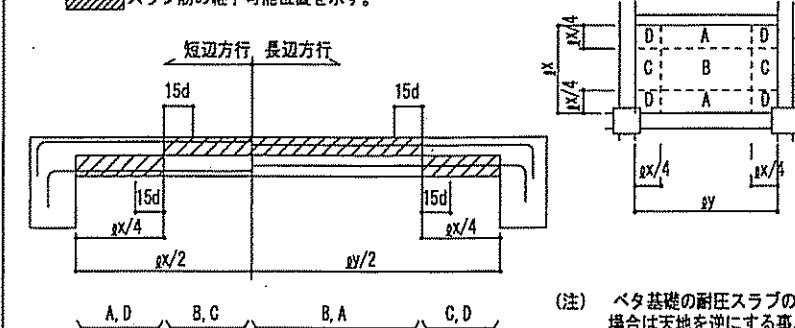
\* t' 寸法は、Oとし完全分断とする  
補強筋は引き通しとする 両面シール打ち

符号	t	a	補強筋
W 15	150	20 以上	D10 - 150 e
W 18	180	20 以上	D10 - 150 e

## 7. スラブ

## (1) スラブ筋の余長及び継手位置

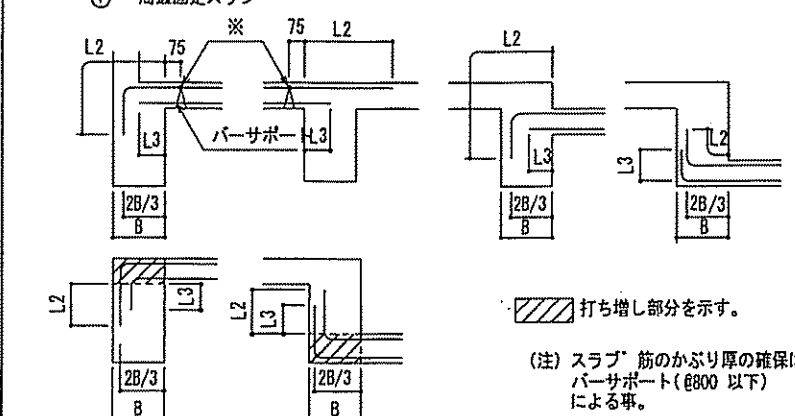
スラブ筋の継手可能位置を示す。



(注) ベタ基礎の耐圧スラブの  
場合は天地を逆にする事。

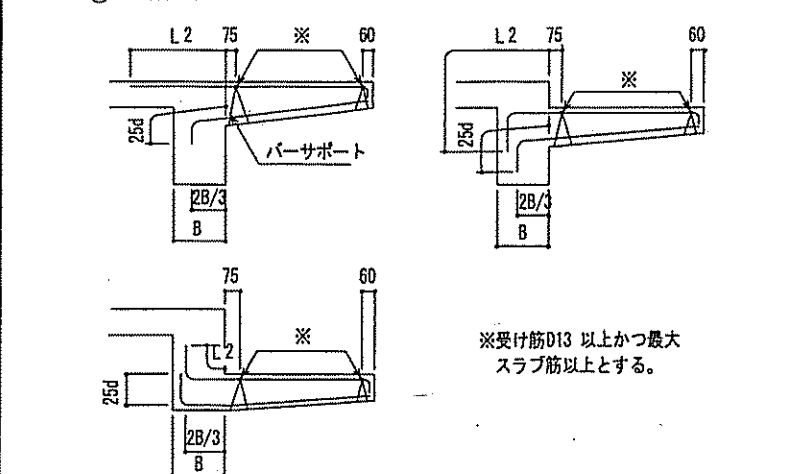
## (2) 定着

## ① 周辺固定スラブ



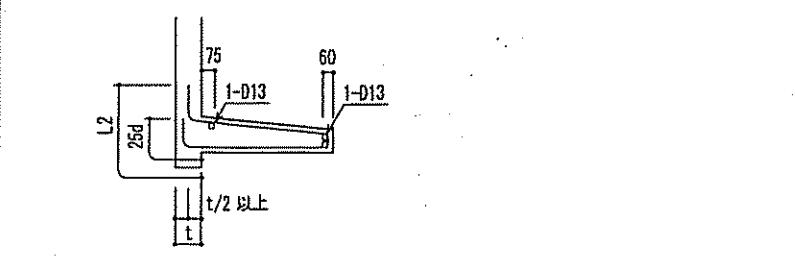
(注) スラブ筋のかぶり厚の確保は  
バーサポート (e800 以下)  
による事。

## ② 片持スラブ

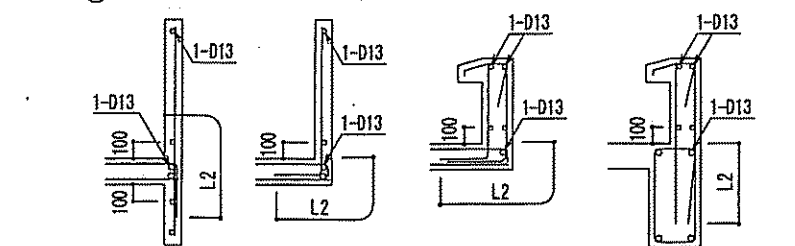


\* 受け筋D13 以上かつ最大  
スラブ筋以上とする。

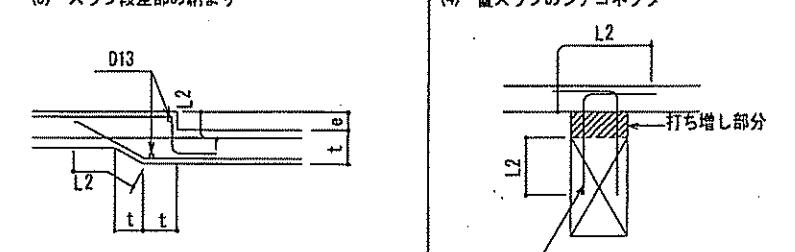
## ③ 底



## ④ 片持スラブ先端の手すり、パラベット

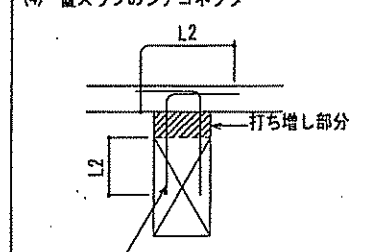


## (3) スラブ段差部の納まり



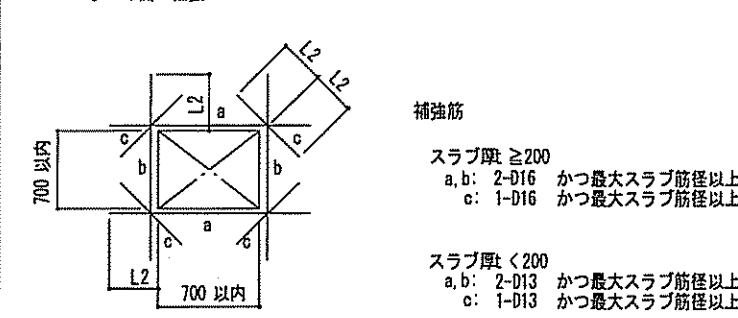
(注) 上記はa' t の場合に適用し、  
e の場合は設計図による。

## (4) 壁スラブのシアコネクタ



(注) D10-D13 e200  
土間コンクリートの場合には、  
土間コンクリートの配筋と同径・間ピッチ

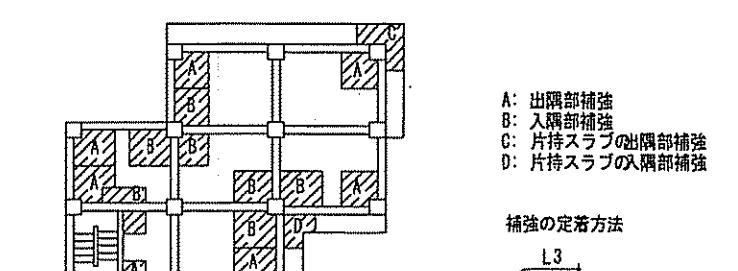
## (5) スラブの開口補強



補強筋  
スラブ厚 ≥ 200  
a, b: 2-D16 かつ最大スラブ筋径以上  
c: 1-D16 かつ最大スラブ筋径以上

スラブ厚 < 200  
a, b: 2-D13 かつ最大スラブ筋径以上  
c: 1-D13 かつ最大スラブ筋径以上

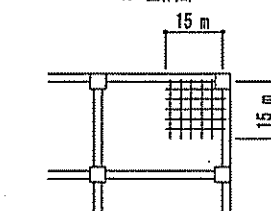
## (6) スラブの出隅入隅部補強 (各階共通)



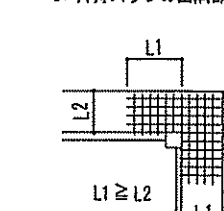
A: 出隅部補強  
B: 入隅部補強  
C: 片持スラブの出隅部補強  
D: 片持スラブの入隅部補強

補強の定着方法

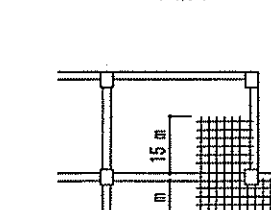
## A: 出隅部



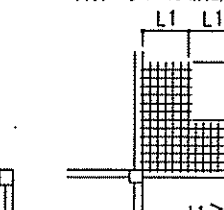
## C: 片持スラブの出隅部



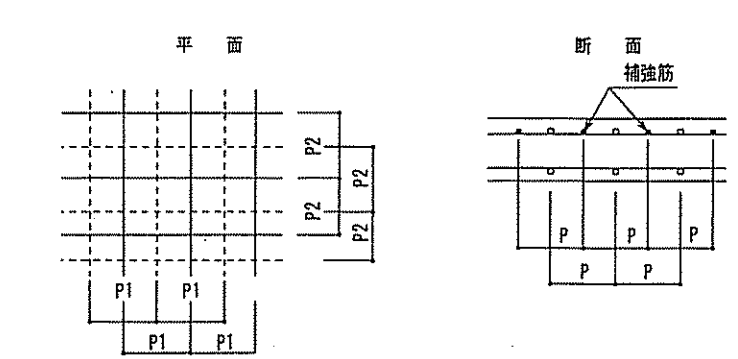
## B: 入隅部



## D: 片持スラブの入隅部



## スラブ補強筋共通事項

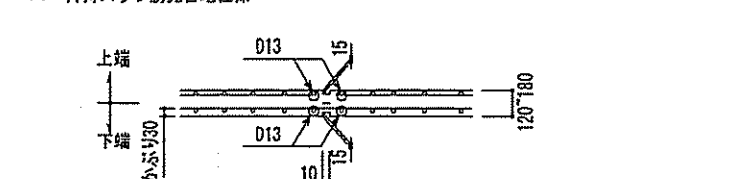


----- スラブ上端筋を示す。  
----- 補強筋を示す。

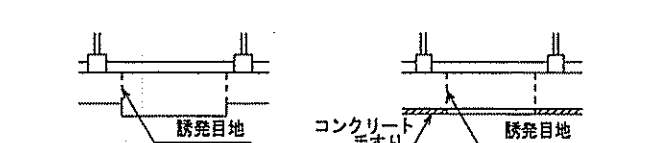
P: スラブ上端筋のピッチを示す。

補強筋はスラブ上端筋と同径とする。

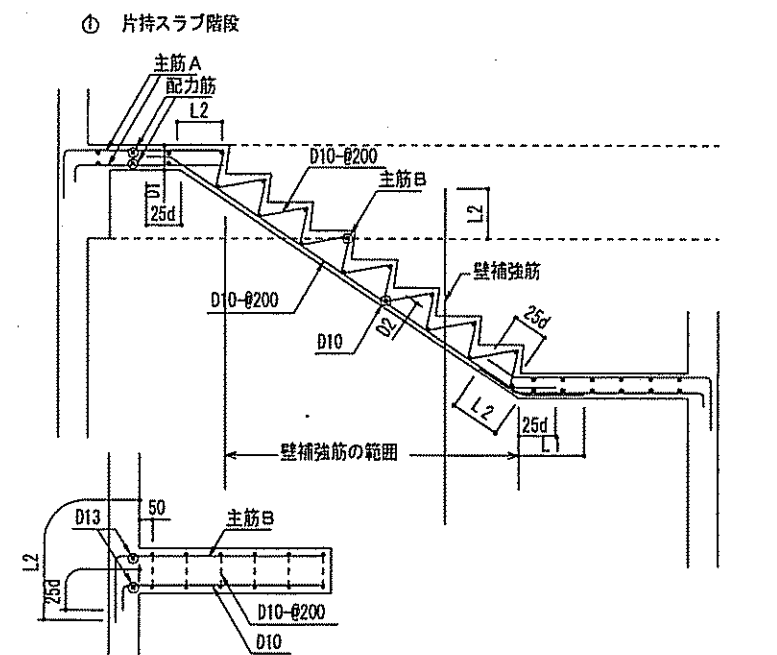
## (7) 片持スラブ誘発目地仕様



1. 誘発目地ピッチは、7,000 以下とする。
2. 片持スラブの出寸法が変わる場合には、その位置にものけること。
3. コンクリート手すりのある場合には、ある部分とない部分の境にものけること。



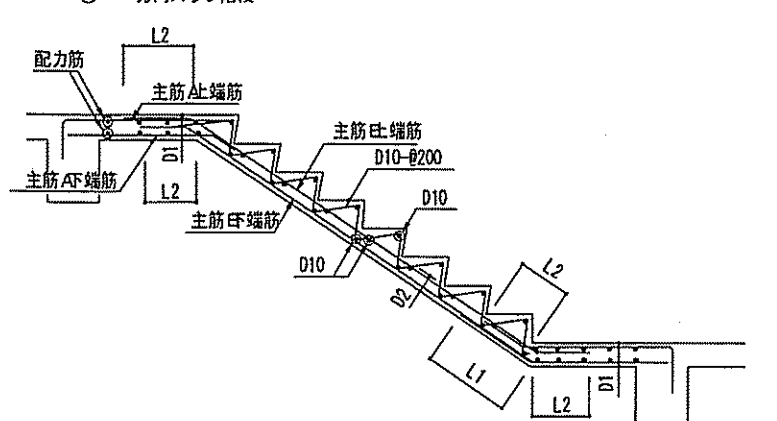
## (8) 階段



階段種別	厚さ D1	厚さ D2	配筋 主筋A 主筋B 配力筋	壁補強筋

(注) 壁補強筋は、上下層の図1で定着させる。

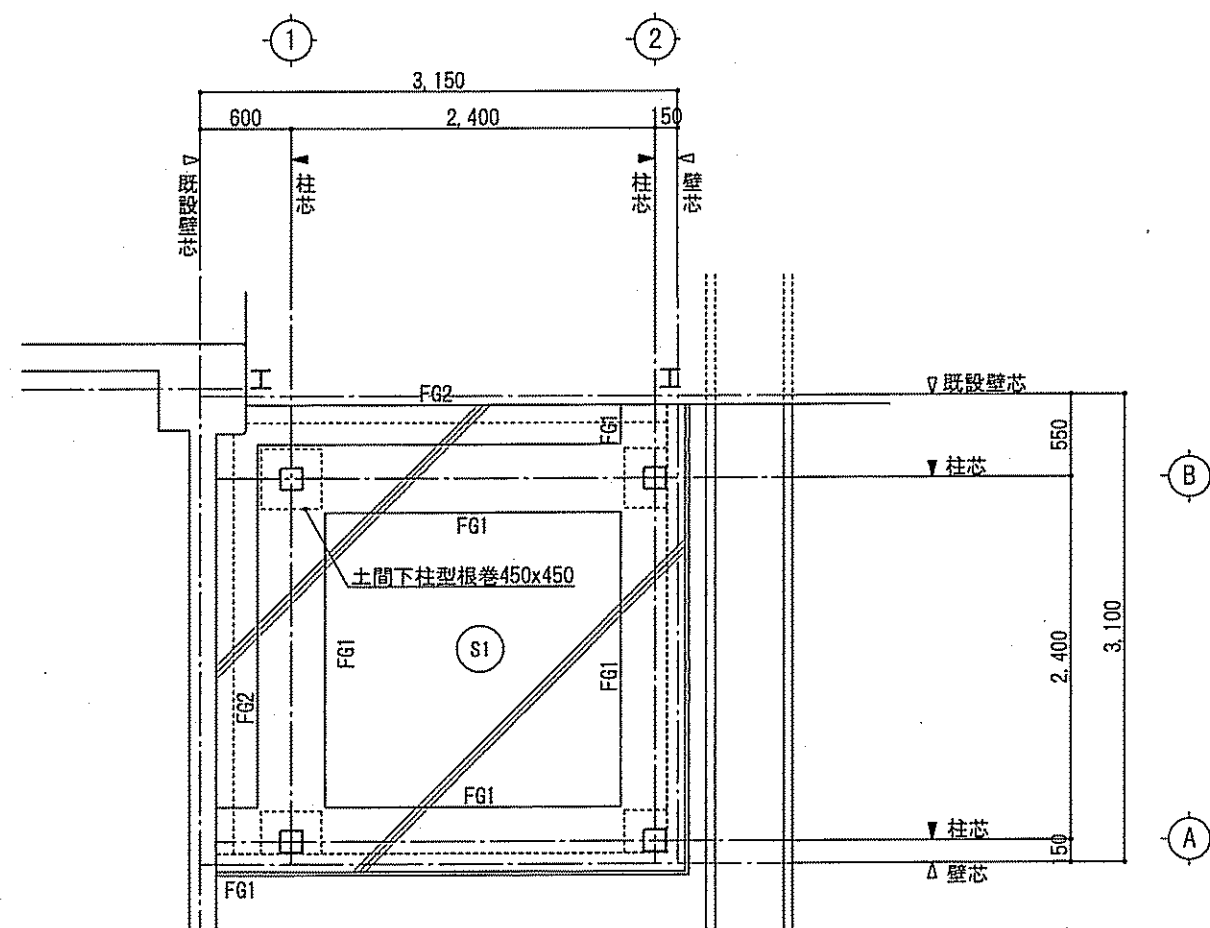
## ② 一方スラブ階段



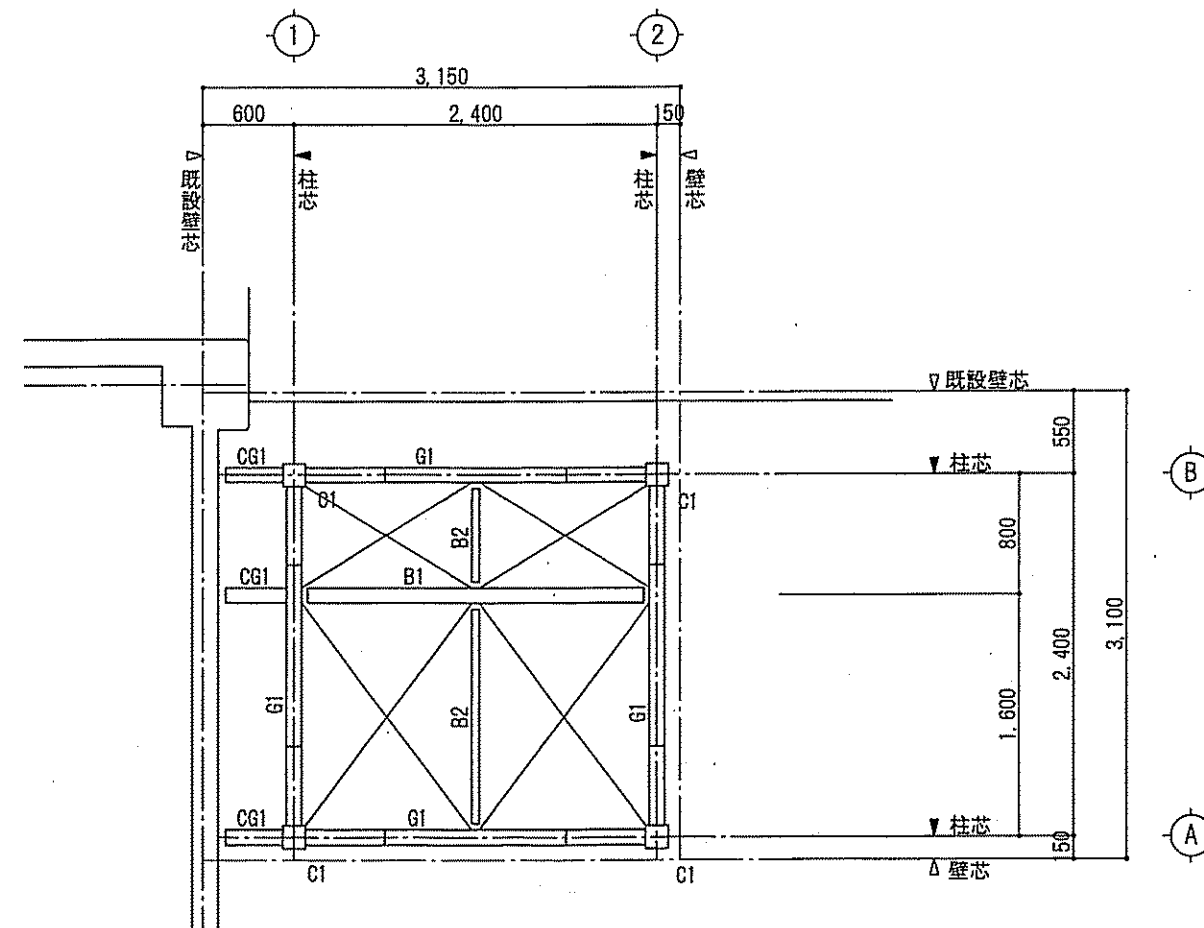
階段種別	厚さ D1	厚さ D2	部位 上端筋 下端筋	配筋 主筋A 主筋B 配力筋



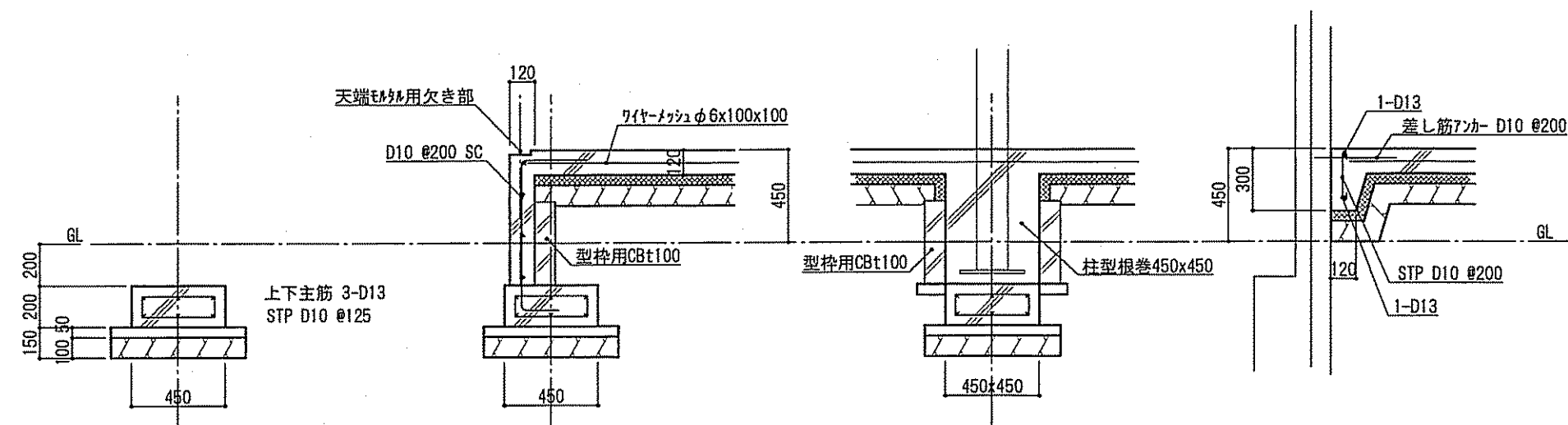




基礎伏図 S=1/50



梁伏図 S=1/50



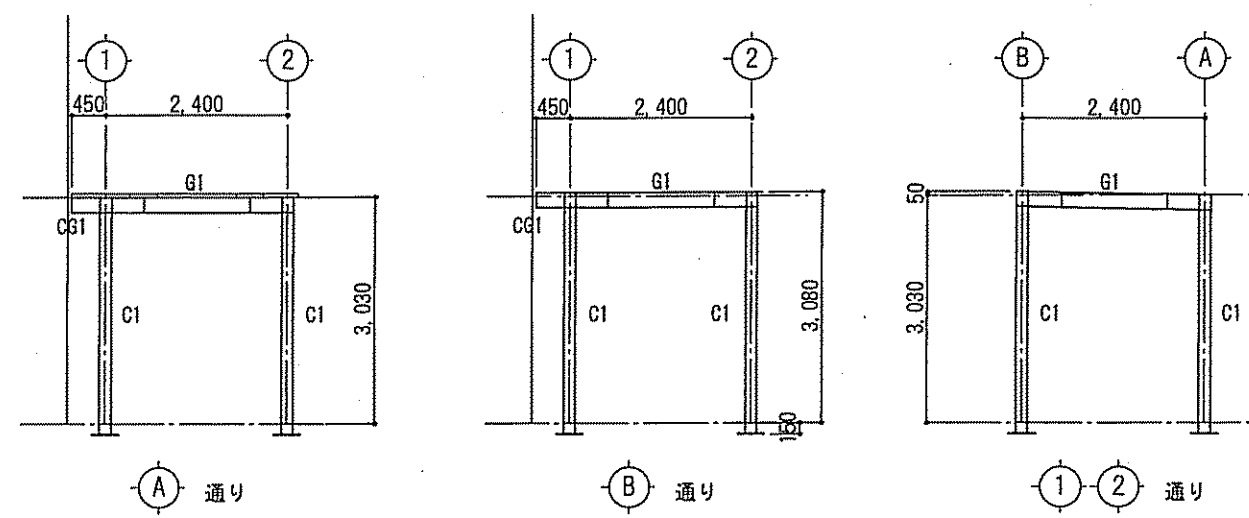
FG1詳細図 S=1/30

立上り詳細図 S=1/30

柱根巻詳細図 S=1/30

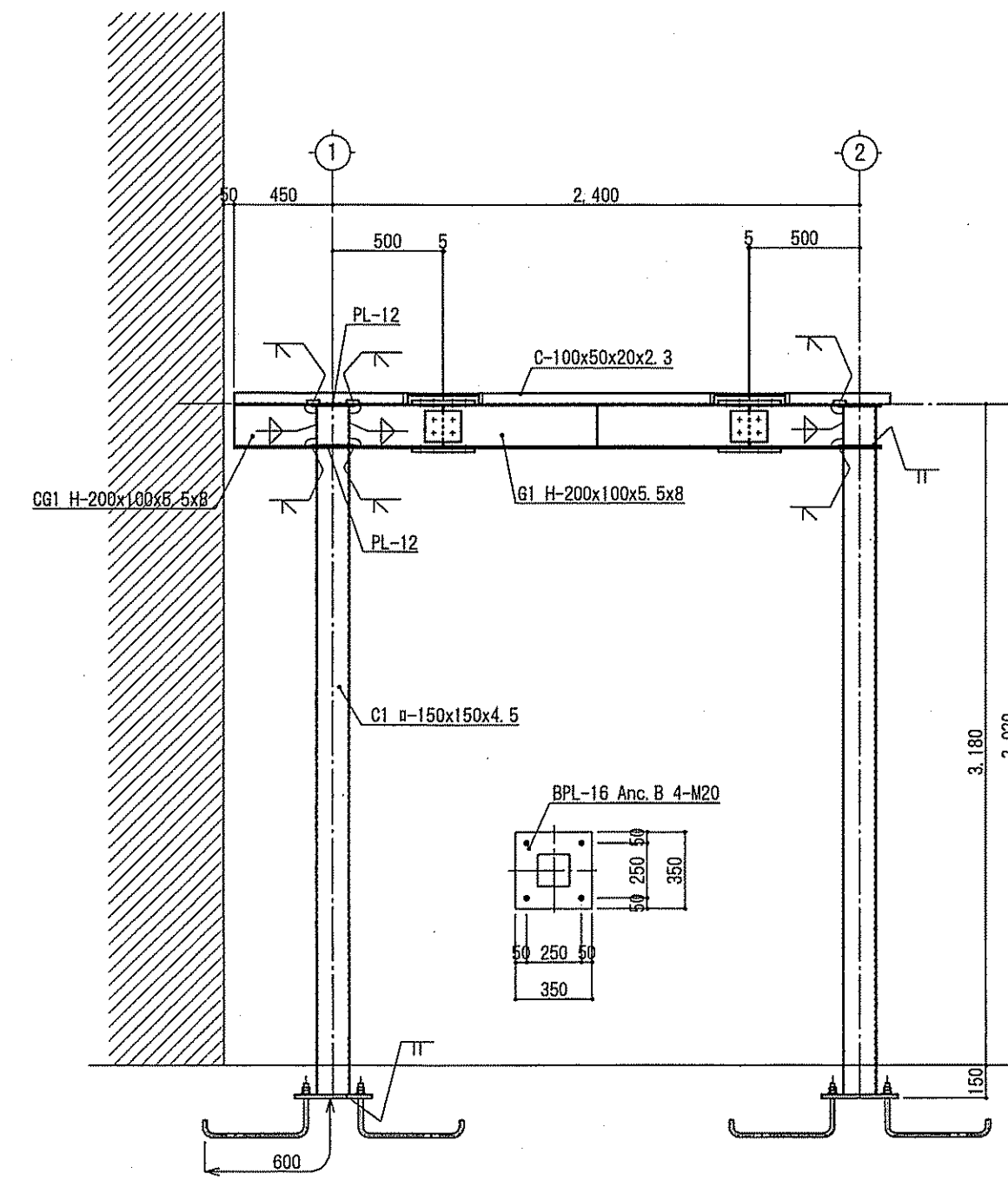
FG2詳細図 S=1/30

符号	部材	備考
S1	土間コンクリート t120 ワイヤーメッシュφ6x100x100 スタイロフォーム t50 ポリフィルム t0.15 砕石 t100	内部土間



軸組図 S=1/100

符号	部材	材種	備考
C1	φ-150 x 150 x 4.5	STKR400	
G1・CG1	H-200 x 100 x 5.5 x 8	SS400	GJ1
B1	H-200 x 100 x 5.5 x 8	"	BJ1
B2	[75 x 40 x 5 x 7	"	BJ2
水平プレス	M16 ターンバックル締め		



架構詳細図 S=1/30



高山設計

設計・構造・監理

一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (甲) 第1519号

〒526-0113 滋賀県東浅井郡びわ町南浜818  
Tel 0749-72-3357  
一級建築士登録第220934号 高山 高広

工事名称

びわ町老人福祉センター改修工事

図面名称

増築倉庫構造図

縮尺 1/50

図番 20 / 26  
日付 2005 (H17). 5

図番 21 / 26  
日付 2005(H17). 5

※1～5 移設

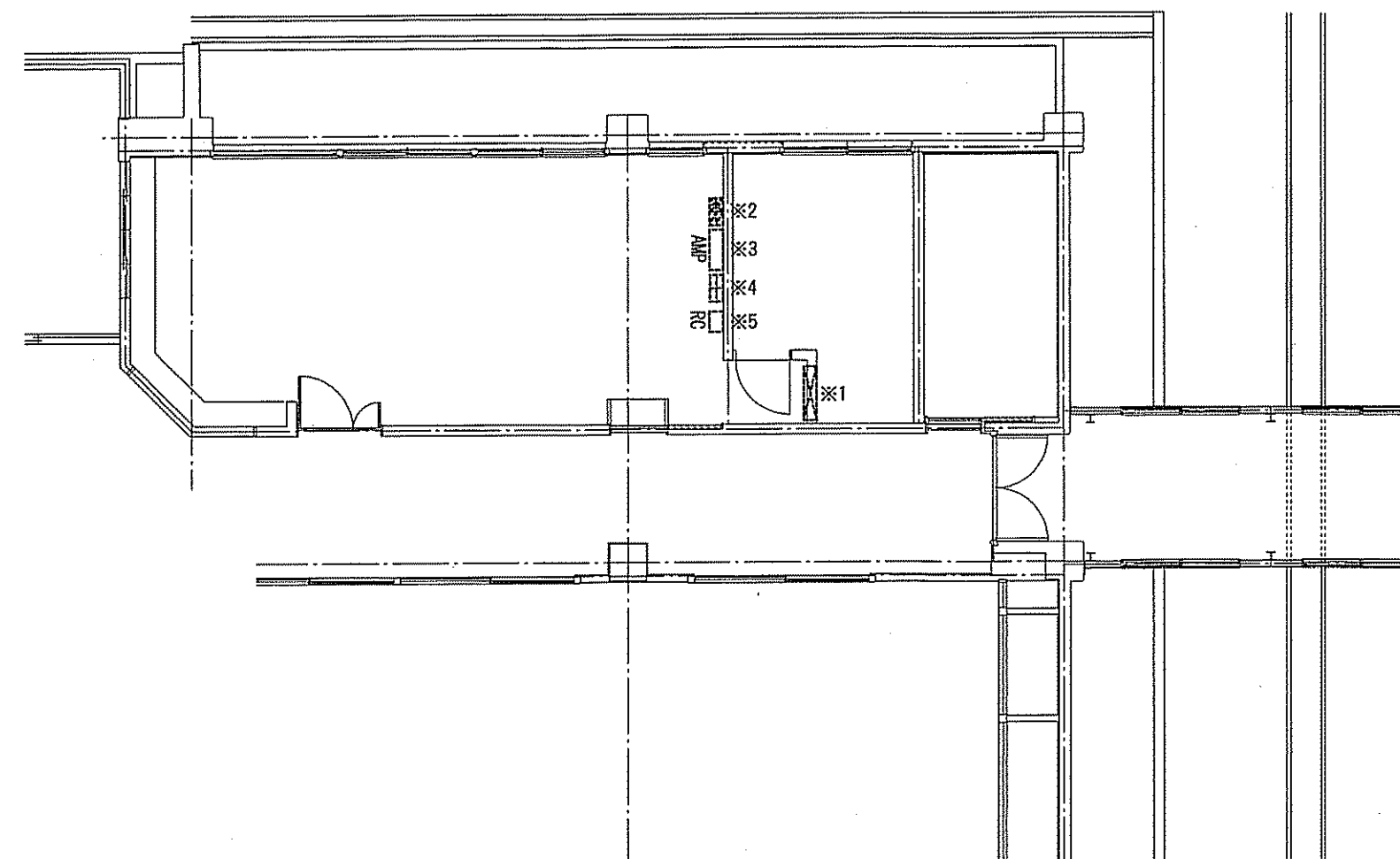
※1 電灯動力分電盤 H:2450 W:800 D:200

※2 複合盤 P型2級 火報3L 防火扉3L

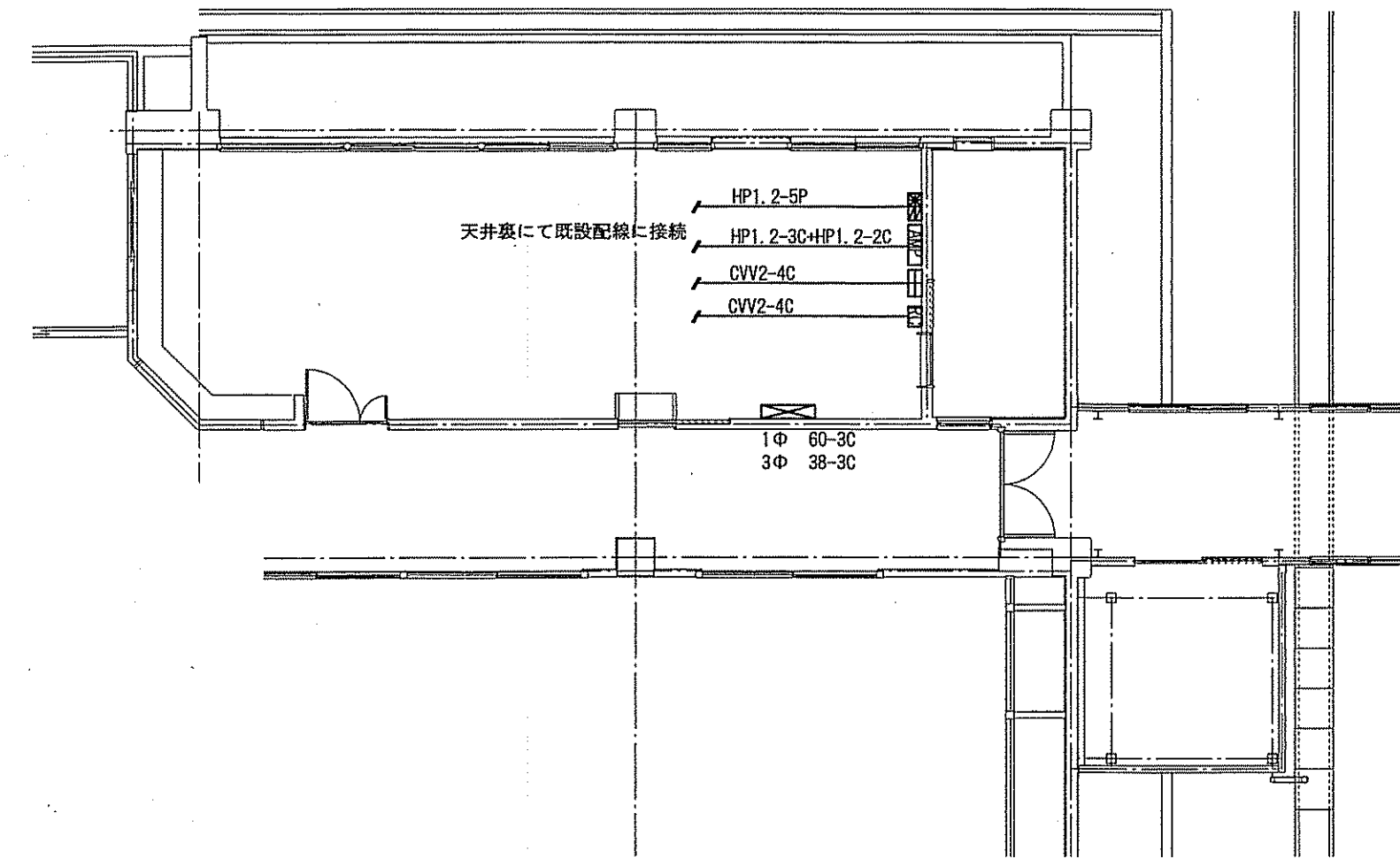
※3 防災アンプ

※4 警報盤

※5 リモコン操作盤



現況平面図 S=1/100



増築・改修後平面図 S=1/100

各種盤移設工事



高山設計

設計・構造・監理 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (甲) 第1519号

〒526-0113 滋賀県東浜郡びわ湖南浜818  
Tel 0749-72-3357  
一級建築士登録第220934号 高山高広

工事名称

びわ町老人福祉センター改修工事

図面名称

各種盤移設図

縮尺 1/100

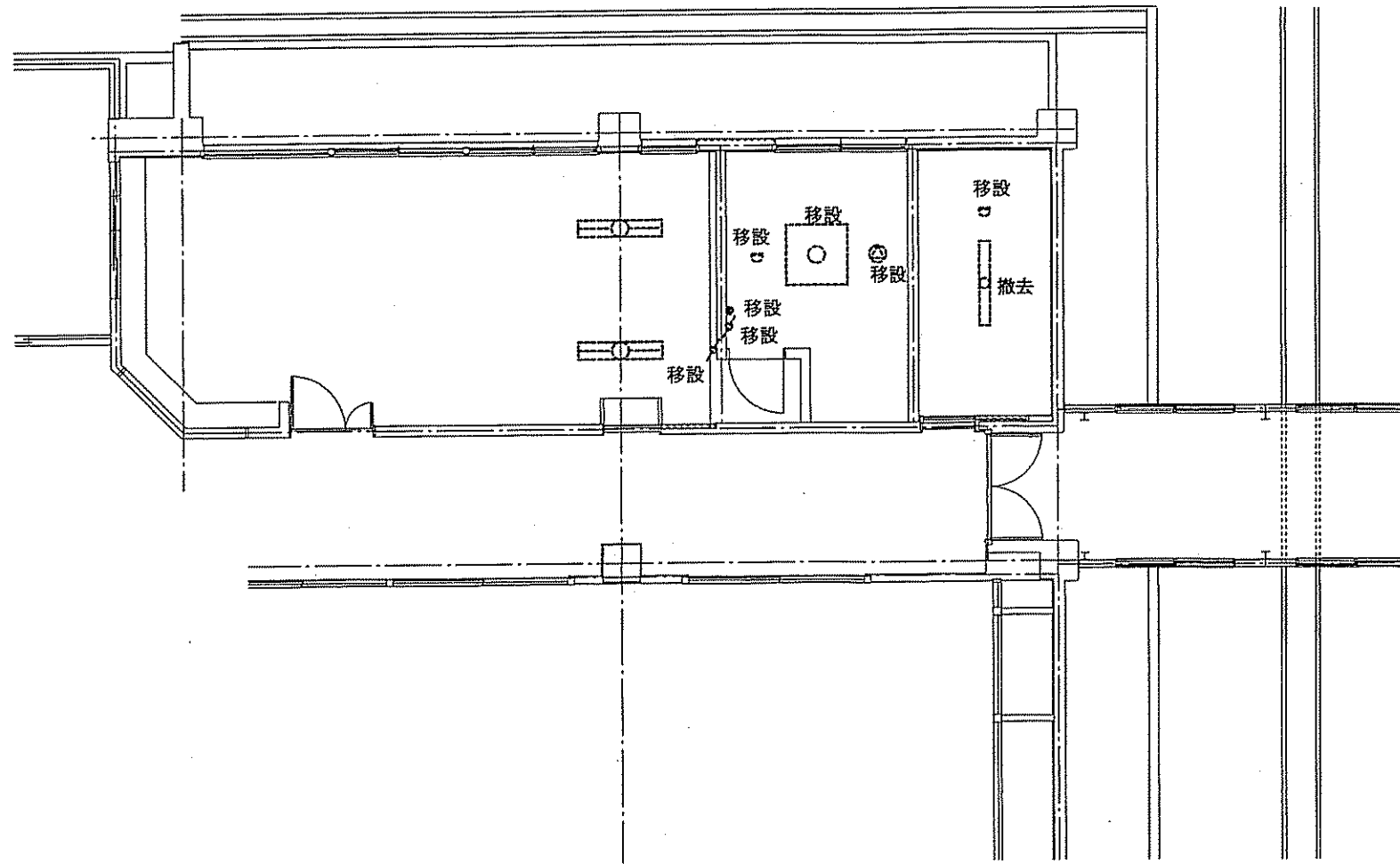
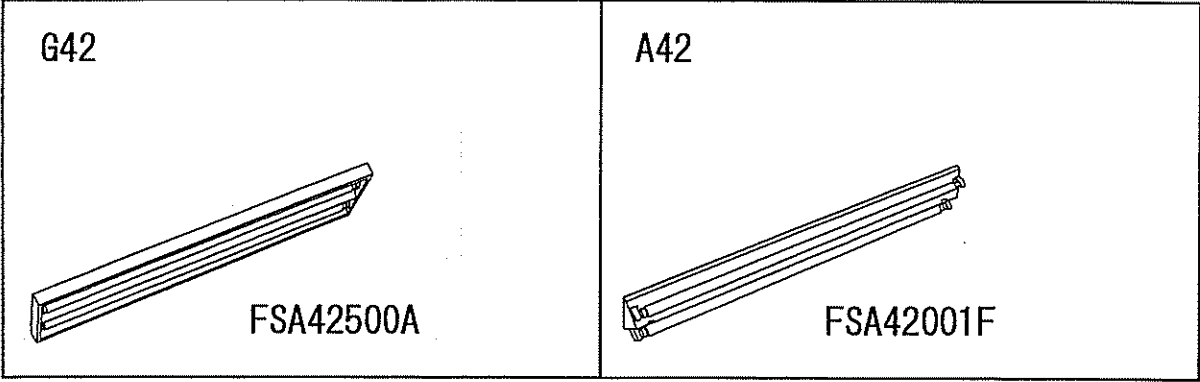
図番

22 / 26

日付

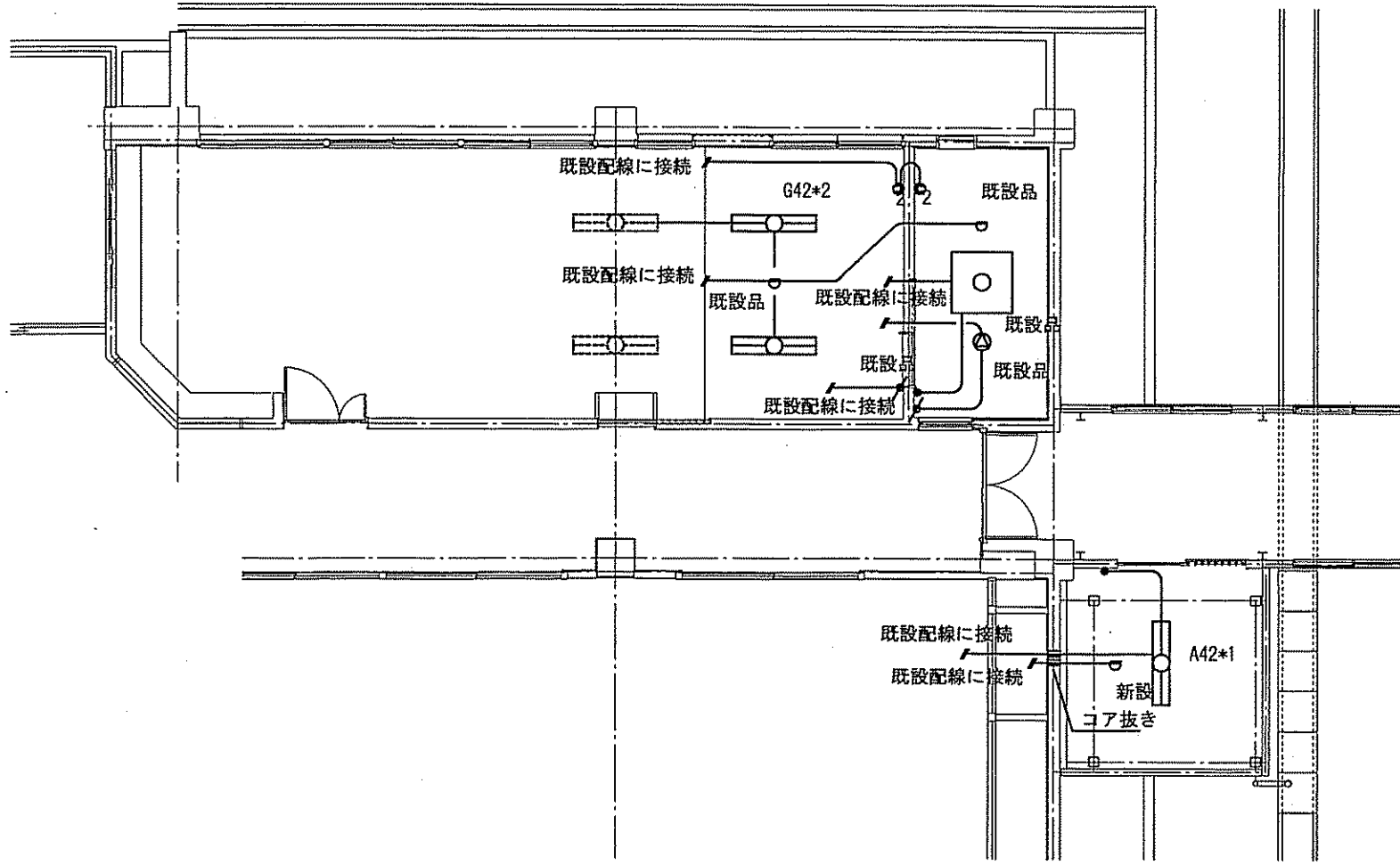
2005 (H17). 5

照明器具姿図



現況 平面図

S=1/100



増築・改修後 平面図

S=1/100

改修電気設備



高山設計

一般建築士事務所 滋賀県知事登録 (a) 第1519号

〒526-0113 滋賀県東浅井郡びわ町南浜818  
Tel 0749-72-3357  
一般建築士登録第220934号 高山 高 広

工事名称

びわ町老人福祉センター改修工事

図面名称

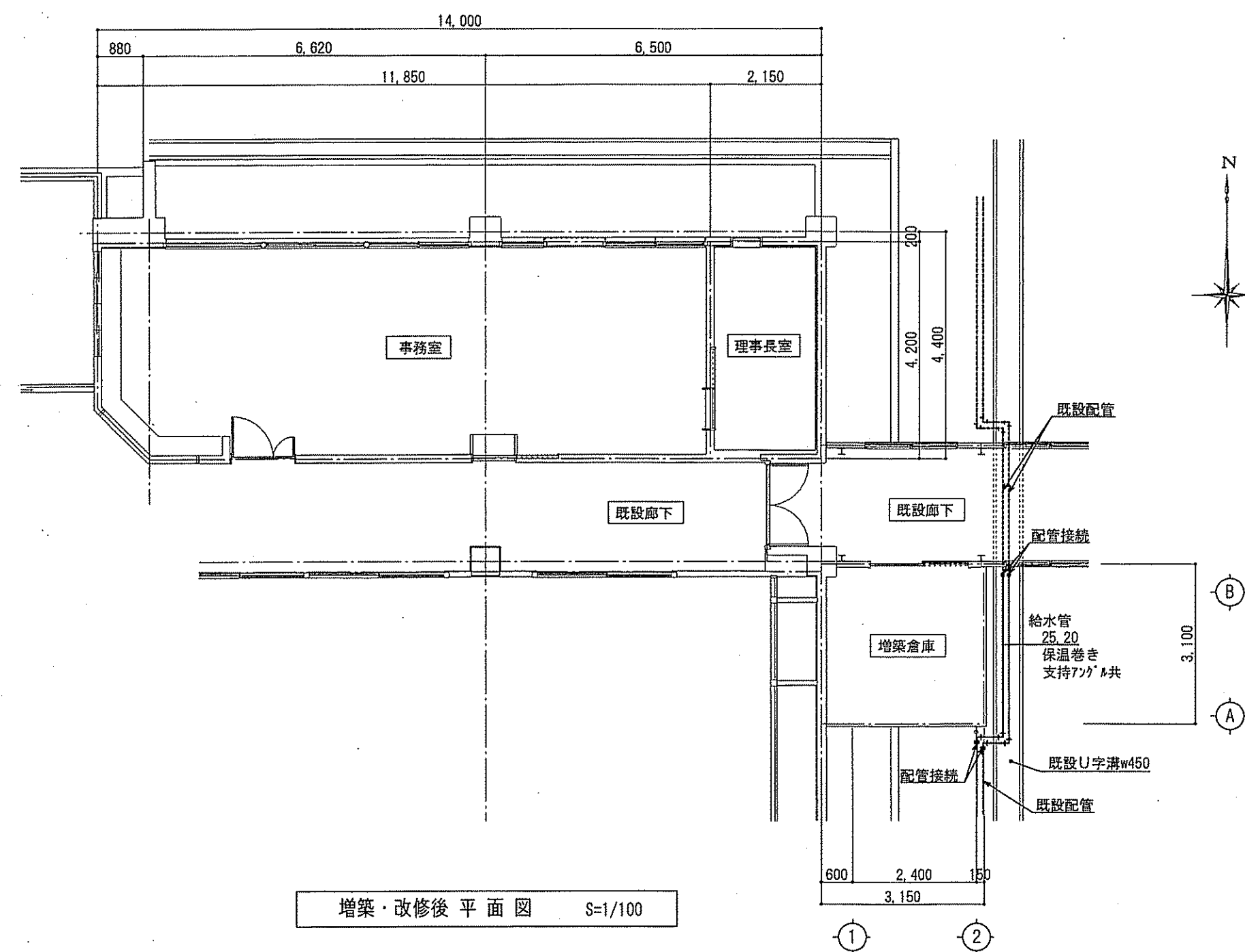
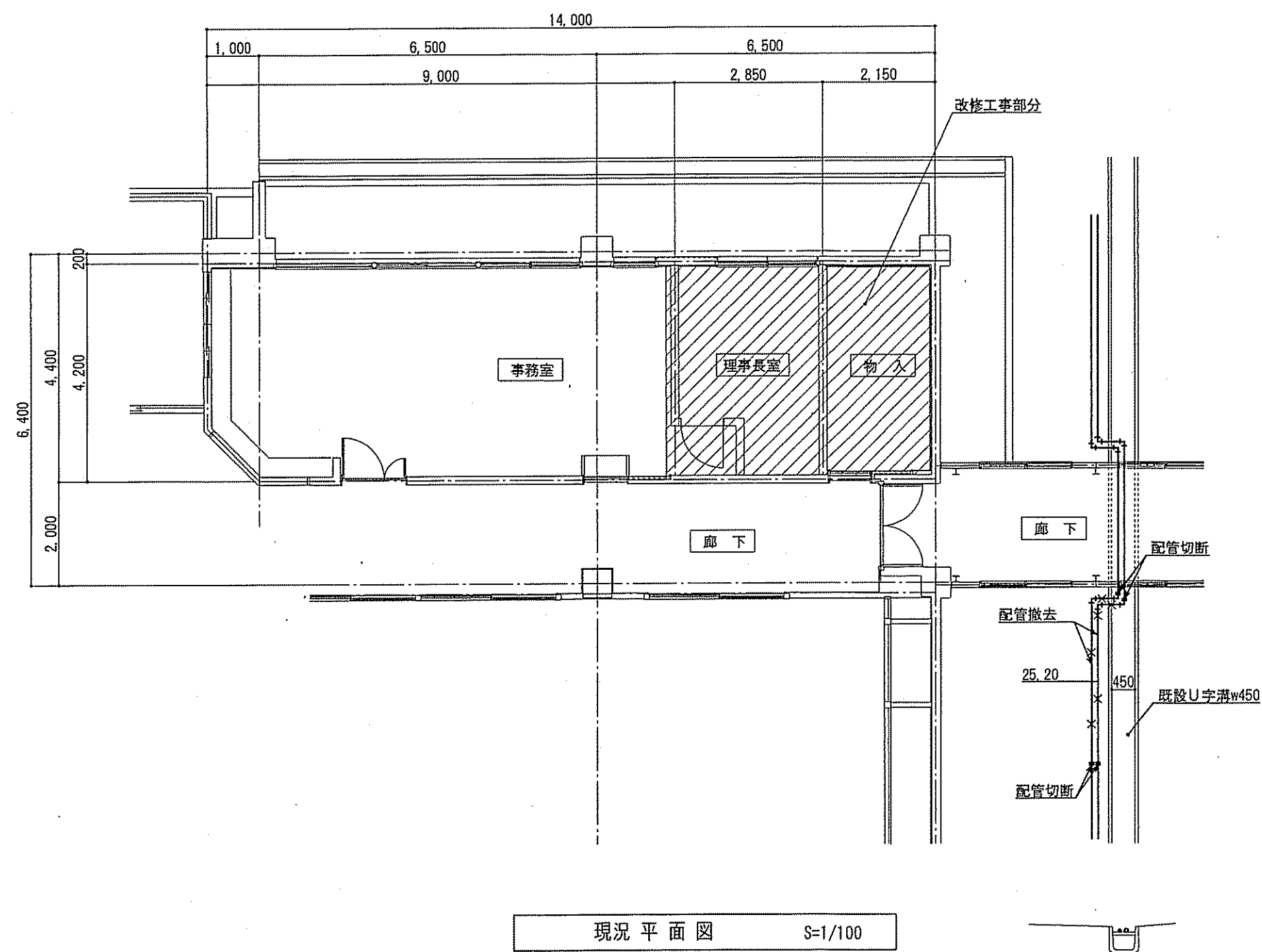
改修電気設備図

縮尺 1/100

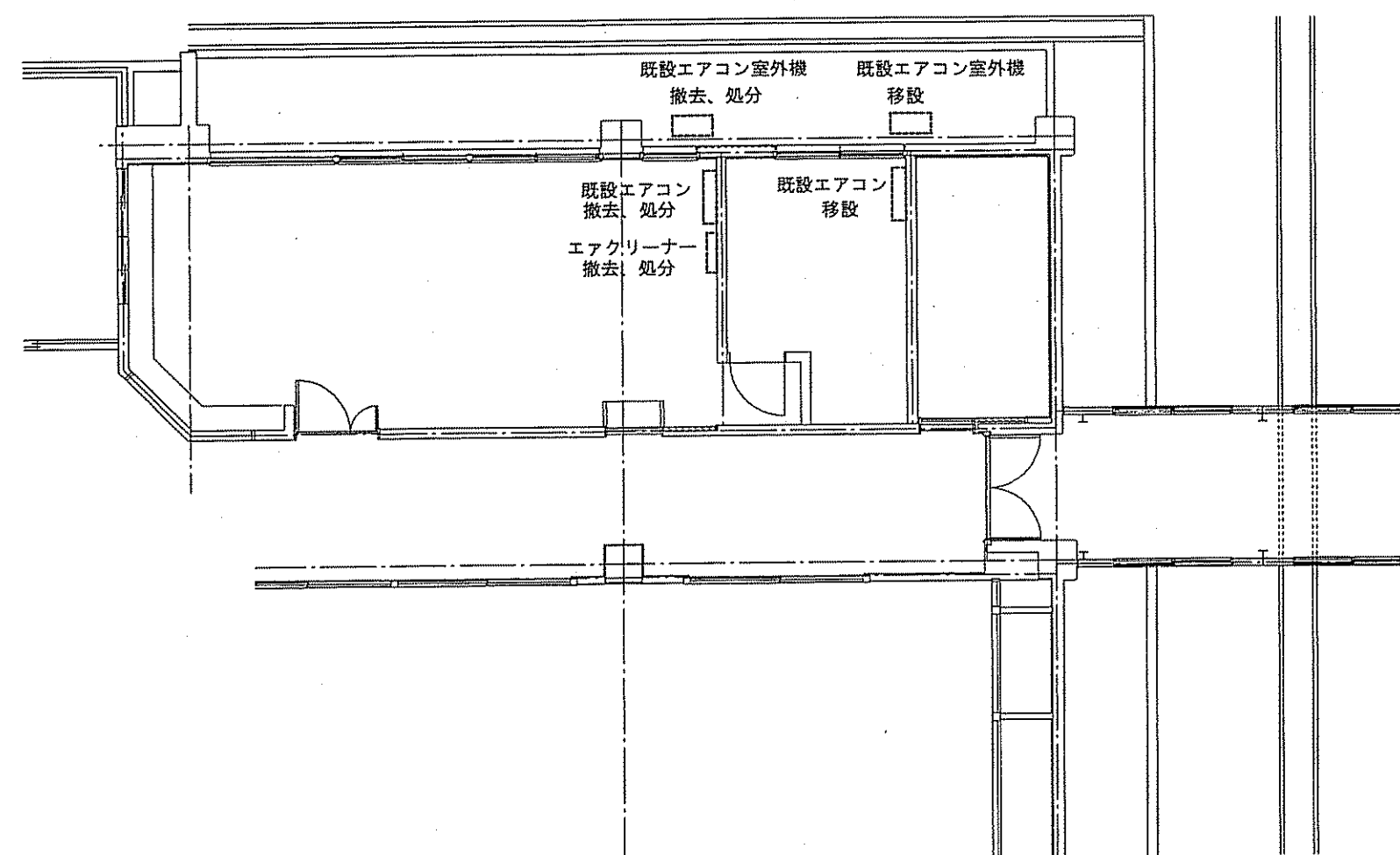
図番 23 / 26  
日付 2005 (H17). 5



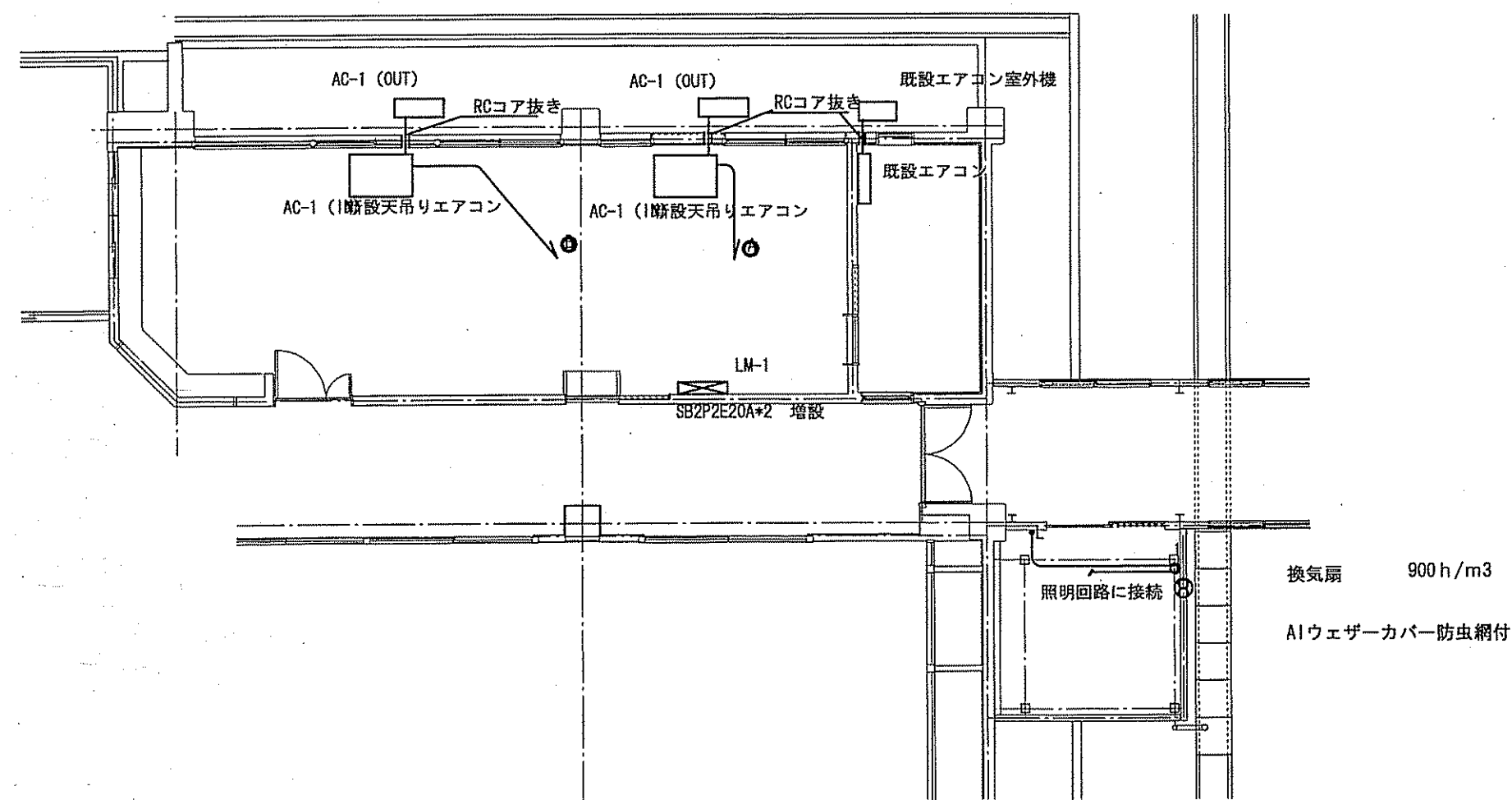
[illegible]



注記	
AC-1	天吊リエアコン 5.6KW 冷暖
室外機架台	ブラロック
電源、渡り配線	冷媒配管に共巻き (スリムダクト工事)



現況平面図 S=1/100



増築・改修後平面図 S=1/100

空調、換気設備



高山設計

一般建築士事務所 滋賀県知事登録 (D) 第1519号

〒526-0113 滋賀県東浅井郡びわ町南浜818  
Tel 0749-72-3357  
一般建築士登録第220934号 高山 高 広

工事名称 びわ町老人福祉センター改修工事  
図面名称 空調換気設備図

縮尺 1/100

図番 26 / 26  
日付 2005(H17). 5